

DIRECTFORCE

# 活躍するシニア集団



ディレクトフォース 15年の歩み



2017年8月発刊  
一般社団法人 ディレクトフォース

 **DIRECTFORCE**  
Since 2002

## 発刊の辞：DF 15周年記念行事企画・運営委員会委員長 浅野 応孝氏



現役リタイアーの後どのような日常生活を行うかを考えていた時に、退任後も社会とつながって活動ができる団体が設立されたと、ディレクトフォースを紹介された。早速入会して以後15年、ディレクトフォースは充実した時間を私のリタイアー後の日常生活に与えてくれた。

それまでの会社生活では出会えなかった、多数の魅力あるメンバーとの出会いによる交歓、個人ではできない社会貢献の活動、ゴルフやカラオケなど楽しみ場の場など枚挙にいとまがないほどである。

今回、設立15周年を節目として、記念誌を発刊する運びとなった。

ディレクトフォースはメンバー間の懇親場の提供、対外的な活動組織体の形成、趣味を共有する同好会など、設立時から多くのメンバーの手を借りながら、苦勞を重ねて今日の形を築きあげて現在に至っている。

しかし、設立時のメンバーも年齢を重ね数も減少し、一方で新加入の会員との年齢差、意識の違いも芽生えてきている。それぞれの部会など活動を始めたときの動機や経緯など、記憶から少しずつ遠くなりつつある。

これからディレクトフォースが、さらに未来に向けて発展していくためには、15年前の考え方を見直し、新たな知恵を加えて新たなやり方が必要になっている。

記念誌を発刊するにあたり、失われていく過去の記録をまとめて、ディレクトフォースの歴史の区切りとしておきたい。さらにはこれが、今後の新しいメンバーに対する新たな指針の参考になることを期待し、組織として充実した活動の場を会員に提供し続けられるような、魅力あるディレクトフォースの発展を願っています。

## 一般社団法人ディレクトフォースの概要

## 1. 沿革

2002年9月24日 有限責任中間法人ディレクトフォース設立

2004年2月19日 株式会社DFマネジメント設立

2009年10月1日 有限責任中間法人から一般社団法人へ移行

## 2. 設立の目的

一般社団法人ディレクトフォース（DF）は、企業・団体の役員 Senior Executive の経験者を組織化し、その知見・人脈を活かして社会貢献することを目的とする。

## 3. 活動の理念

- (1) 社会貢献を通し、価値ある生き方を求める
- (2) 自己研鑽に励み、高みのある生活を求める
- (3) 交友の輪を拡げ、人生を楽しむ

## 目次

発刊の辞 .....	1
第一章 ディレクトフォースの「今」.....	3
第二章 ディレクトフォース創立 15 周年 記念座談会 .....	7
第三章 一般社団法人ディレクトフォースの歩み .....	15
第四章 株式会社 D F マネジメントの歩み .....	24
第五章 会員からのメッセージ（これからのディレクトフォースに思う） .....	27
第六章 「外」から見たディレクトフォース .....	33
おわりに =新たな展開を目指して=.....	40
編集後記 .....	40

## 第一章 ディレクトフォースの「今」

ディレクトフォース事務局長 保坂 洋氏



### 1. はじめに

D F の各部会・研究会、同好会および D F M の活動については別項に記されているので割愛し、D F の活発で幅広い活動の一端を少し整理して述べてみたいと思います。

オフィスの一部を借りての創設時、徐々に機能を拡大して移転 4 度目となる現在の日本ビルのオフィスにある 4 つの会議室は、活発なミーティングが連日行われ、広い共用会議室では研究会などの催しが開かれています。

カレンダーに D F 公式イベントの印を付してみると、週に 3 - 5 日マークが付きます。同好会と D F M の活動は記していませんので、ほぼ毎日何らかの活動が行われていることが分かります。

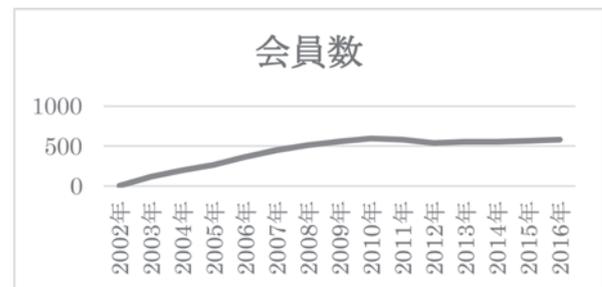
### 2. 組織

D F は、一般社団法人ディレクトフォースと株式会社 D F マネジメントの両輪で成り立っています。構成員はどちらも D F 会員です。D F は主にボランティアによる社会貢献、自己研鑽活動などを担い、D F M は主にビジネスによる社会貢献活動を通して D F 全体の財務基盤を支える役割を担っています。その収益と会員の皆さまの年会費で会の運営費を賄っていますが、ボランティア活動の源泉となる補助、ビジネスの成功報酬など、会員の皆さまへ直接還元している金額は、毎年収入総額の 40% を占めています。両組織が調和した健全な運営に務めています。

### 3. 会員の構成

会員数は、時に変動はありますが順調に伸長し、600 名近くになりました。入会者のほとんどは会員の知人です。在籍期間をみると、会員番号 800 番（2010 年入会）までのメンバーは入会者の 30 ~ 40% が、それ以降は 70 ~ 90% の方が現在まで在籍されています。また、ほとんどが男性会員で女性は 13 名と少数です。役員経験者という入会資格を取り払い、門を拡げて募集しているのですが・・・。

入会時の平均年齢は 65 歳（直近 2 年間平均）です。15 年前に平均 63 歳（創立 2 年目）のメンバーで創立した D F ですが、時の経過と共に会員の平均年齢は徐々に上がり、今期 70 歳を越えました。最高齢は 86 歳ですが、



**登山同好会（粹山会）**：当会は 2005 年 2 名の会員で発足し、現在、27 名の会員（最高年齢 79 歳）からなる同好会です。会員相互の懇親と健康維持を目的とし、月 1 回近隣の山から日本アルプスと幅広い山 登りを楽しんでいます。是非入会をされますようにお待ちしています。

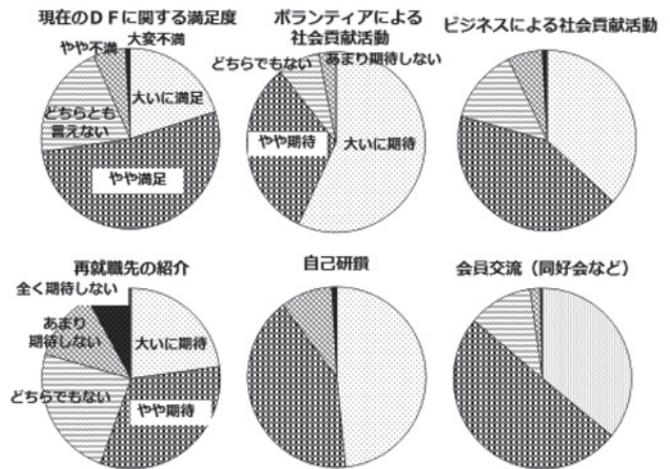
まだまだお元気で、これからも平均年齢の高まりは続きます。今後益々広がる年齢構成と共にニーズは多様化し、会員に満足していただける新たな場の提供が課題と考  
えていきます。

## 4. 会員のニーズと対応

会員の活動状況を会員データベースで調べると、82%の会員がD Fの何らかの活動に直接参加して  
いて、29%の会員がD F Mで活動しています。さら  
に全員が活動できるよう、一歩踏み出すための気軽に  
仲間作りができる場を増やす企画を進めるつもりです。

昨年（2016年）から今年にかけてアンケートによる  
会員意識調査を行いました。現在のD Fに対する  
満足度に関しては、73%が満足していると好意的な

回答でした。D Fに期待する分野を尋ねたところ、ボランティアによる社会貢献活動が89%、ビジネスによる  
社会貢献活動が79%、再就職が56%、自己研鑽が90%、会員交流が85%となっています。会員の皆さま  
はどれかに偏るのではなく、様々な形で併行して活動に参加したいという積極的な姿勢が伺えます。総合的に  
満足と回答いただいた会員が多いとはいえ、D Fはこれら会員の幅広いご要望に応じていかねばなりません。新  
たな社会貢献の場の創出と共に、ビジネスによる社会貢献を希望する会員は若い会員だけではなく、ベテランの  
希望者も少なくありません。元企業戦士達のこの要望に応えるには、益々の工夫と努力が必要と認識しています。



## 5. 会員総会と講演・交流会

D F 全体を統括して行う唯一の行事として、講演・交流会  
があります。外部から講師をお招きしての90分の講演会、そ  
の後1時間の軽食パーティーの懇親会を組み合わせ、年  
間10回ほど学士会館で開催しています。新旧のメンバーが一  
堂に会える絶好の機会なのですが、かつて100名を超えた参  
加者が、近年は70名程と減少傾向が続いており腐心してい  
ます。委員会を作って対策を練り、「勉強会」という名称を変え  
たりしましたが効果は認められません。講師の魅力が低いとい  
う声もありますが、全て会員からの紹介で、知人あるいは講演  
を聴いてD Fに相応しいと推薦された方々で、日本をリードす  
る素晴らしい講師陣です。出席者には毎回好評です。

出席者の減少傾向は、イベントの数が増加して活動の場が  
分散化しているためという理由が優勢ですが、出席すれば、  
心に響く話、予期せぬ様々な出会いが生まれます。是非多く



2016年10月13日会員総会



**将棋同好会（盤誦会）**：将棋同好会は2010年5月に発足し、現在の会員は10名です。月例会、合宿等、活  
発な活動を行っております。シニア層にとって将棋は手軽なゲームながら奥が深く、脳の活性化促進、棋友との  
親睦等、多くの効能があります。

の会員に味わっていただきたいと望んでいます。

10月には年に一度の会員総会を兼ねて実施します。真瀬代表からDF、DFMについて、そして各部会代表者から部会活動について前期1年間の実績と来期の計画を発表、少し豪華な立食パーティーで締め括り、毎年大いに盛り上がります。

## 6. 勉強会（旧称：ミニ勉強会）

会員が得意分野で講師となって会員のために行う勉強会です。2013年「相続と遺言」（常信伊佐夫氏、行政書士）が初回で、確定申告、年金問題、超高齢社会への対応（東松文雄氏、弁護士）、パワーポイント入門など、ニーズに即したタイムリーな講座が主に行われてきましたが、最近「心の講話」としてスタートした「仏教を考える」



2014年9月19日仏教を考える

（茶野浄蓮（善作）氏、元新日鉄、退職後得度）が2014年から始まり、現在までロングランを続けています。2016年に始まった「一神教のもつれた糸はほぐせるか - 新旧約聖書、クルアーンは何と言っているか -」（秋山哲氏、元毎日新聞、日本イスラエル親善協会代表理事会長）も大盛況で7回シリーズの講話を終えました。

2015年から大阪でも勉強会が3ヶ月に一度の頻度で現在まで計6回行われています。関西地区には18名の会員がいて、谷口擴朗氏が中心となり、関西支部設立の下地作りとして頑張っています。

## 7. 新入会員情報交換会



2014年10月2日

会員として定着してもらうには初めが肝心、5 - 10名の新入会員を一堂に会しての「新入会員情報交換会」を2013年からスタートしました。冒頭の自己紹介では全事務局員の前で、DFへ期待するところ、得意分野を語ってもらいます。会員のニーズを知り、事務局として応えるためです。次にDFとDFMの活動、各部会・研究会の活動報告を行い、新入会員に興味を惹く活動を知ってもらいます。そして、居酒屋での懇親会と続きます。毎回楽しく盛り上がり、中には同期会を3ヶ月に一度開いているグループもあるほどです。

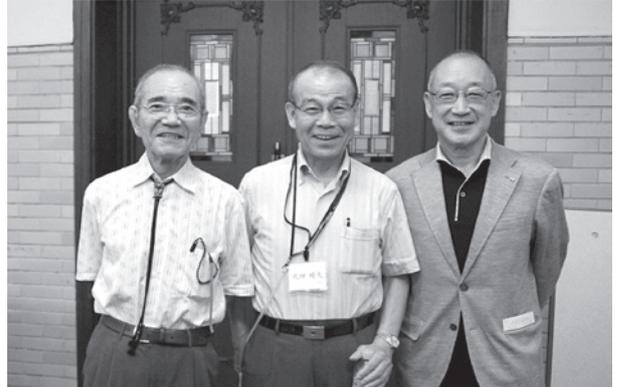
2015年から講演・交流会では、懇親会の前に自己紹介をしてもらい、胸にマークを付けて壁の花にならないように工夫をしました。

**テニス同好会：**DFの事務所が竹橋に移った頃、合田さん・砂川さんと近藤の3人が発起人となって、テニス同好会を立ち上げました。当初15人ぐらいの同士が集まり、春秋を中心に元気にプレー会を続け、現在メンバーは25人となっています。

### 8. エピローグ

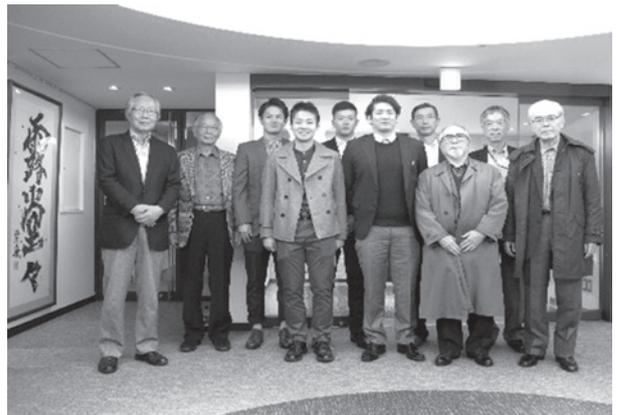
D F 創立時の決めごと「病気と孫の話をしない」があったそうです。15年経た現在はどうでしょうか？

まず病気の話から始めます。2015年初夏、武田晴夫氏から「狭心症の治療のため退会する」と連絡がありました。難病を克服して元気に復帰された様子を記した跡部浩一氏（169号）と守山淳氏（191号）のメンバーズエッセーをお送りしました。さらに先輩の牧野守氏が近々類似の治療をされることを聞き、勇気を得て退会を撤回、今ではすっかりお元気になり、大活躍されています。武田氏はメンバーズエッセー（207号）で以下のように述べています。「普段は元気で病知らずの方であればあるほど、罹病時の感性は敏感だと思います。そんなときは、D Fのメンバーズエッセーでご自分を客観視すると救われます。私は、病院で「肉体」を救われ、D Fで「精神」を救われたと感謝しています。」



病を克服した笑顔の3ショット  
牧野氏、武田氏、跡部氏

次は孫の話です。「孫や若者と語るのを整える懇談会」というグループ活動があります。この懇談会は、18歳選挙権がスタートをしたことを機に「シニアの知見を若者たちの的確な判断力養成に役立たせる」ことを目指して、相澤安輝氏が提唱者&進行係となって呼びかけて実現したものです。まず考えたのが相澤氏の孫と友人達と意見交換をすることでした。20歳代前半の若者達と自由な意見交換は初めてですが、時間の経過と共にリラックス、予想以上に若者達がしっかりした考えを持っていることに一同安堵しました。



2016年11月16日若者との対話

病気と孫の話を避けるのではなく、逆に積極的に活用して活路を開いた事例としてご紹介しました。

今のD Fには、5部会、4研究会、21同好会があり、D F Mのビジネスによる社会貢献活動と合わせると多くの活動の場があります。どの活動にも当てはまる基本は「楽しいから参加する」ということです。しかし、何を楽しく感じるのかということになると、人様々なのです。ボランティアによる社会貢献に生甲斐と楽しさを求める人もいれば、ビジネスに貢献してこそ自身の得意な社会貢献であると楽しみを見出す人もいます。その両方をバランス良く楽しんでいる会員もいます。会員達は自分と異なる楽しみの方向を批判することなく、お互いに理解し尊重し合うことが重要と認識しています。それぞれが、志を同じくする仲間達と適度な刺激を受けながら和気藹々と活動に勤しんでいます。

会員の皆さまが既存の活動へ参加するだけに留まらず、「この指とまれ」式に自由闊達に提案して有志を募り、活動の範囲を拡げていくことが、今後の豊かなD F ライフの未来へ繋がると考えています。



~~~~~  
**ワイン同好会**：「ワイン愛好家」を結集して第1回例会を2006年1月に立ち上げ、その後、隔月ペースで絶え間なく実施している。例会は、場所の選定と共に幹事役が常に手薄なのが悩みだが、今後は年間4回の開催に減らし、更なる維持発展を期する。

## 第二章 ディレクトフォース創立 15 周年 記念座談会

2017年6月2日(金)14:30より、DF共有会議室にて、初代表理事水野勝氏、初代監事高橋湊夫氏、初代事務局長横井時久氏、初代アカデミー事業担当合田隆年氏、初代コンサル事業担当河村肇氏、初代サーチ事業担当坪井莊一郎氏(発言順)の6名の方にお集まりいただき、ディレクトフォース発足前史と初期の活動に関する座談会が現代表理事の真瀬宏司の司会で開催されました。

### 《ディレクトフォース発足前夜》

**真瀬：**今年がディレクトフォース創立15周年という節目にあたるので、創業時にご苦労された皆さまにお集まりいただきました。最初に水野さんからDF発足の端緒をお話下さい。



水野 勝氏

**水野：**最初は南部靖之さんが、長富祐一郎さん、給田英哉さんたちと3人で食事をしながら、シニアのOBを集めて再活用することを考えたらいいねとなったのです。長富さんは退任した官僚の生かし方を考え、給田さんは外務省とは親しかったこともあって共感を持たれたようです。一方、南部さんは、パソナの仕事に結び付けられるような組織ができないかなというイメージをお持ちだった。それぞれの思いは別々で、全然焦点が絞れていない訳です。私が南部さんにお会いしたのは2002年の4月です。私自身はアメリカのAARP\*<sub>1</sub>のような団体が日本には何故ないのだろうという素朴な気持ちを持っていました。

\*<sub>1</sub> AARP：アメリカ退職者協会 (American Association of Retired Persons)

### 《有限責任中間法人としてスタート》

**水野：**何回かお話しするうちに、とにかく何かやりましょうかということになりました。但し、「任意団体」のままでは銀行口座が個人名義となる等の制約があり、うまくいかないなど分かりました。そうこうするうちに夏頃になって、高橋先生がこの組織にぴったりの法律(中間法人法)が4月にできたと教えてくれました。説明をお聞きしたら、これはいいなと感じました。8月末頃に中間法人でいこうと決めてから横井さんも参加され、ずいぶんスピードが上がり、いろいろなかたちが見えてきました。一人ずつ集めていって、最後に勝ち上がったのが「七人の侍」になったという黒澤映画がありますけど、あんな感じです。



高橋 湊夫氏

**高橋：**当時、民主党代表の前原誠司議員が中間法人の設立に熱心で、この法案がまだ国会審議される前に、議員立法で検討されていました。善意でいろいろなことを始めても、結局お金が続かず立ち消えになってしまう。組織は稼ぐことをまず考えて、稼いだ金を自前で運用して公益の仕事をするのが本当ではないかと、議員立法で作った訳です。これはぴったりだということになって、6月でしたね、はっきり姿が見えてきたので、早速活用しようではないかと考えたのです。当時、横井さんが非常に勉強されました。中間法人第一号でしたよね。

座右の銘

○ 横井時久

駄目と思えば駄目 できると思えばできる

△ 安藤 武

Ever green、ever on-ward

(会員 No お名前：以下同じ)



横井 時久氏

**横井：**水野さんに引きずり込まれたかたちで関係ができたのですが、水野さんは当時、赤坂の事務所で秘書とデスクを与えられて何したらいいか考えているわけです。私がそこを通り掛かったら、「手伝えよ」と言われてまず中間法人の登記に取り組みました。法人登記するには定款がないと話になりませんから浜松町にある公証人役場の公証人の方に手伝っていただき定款を用意しました。登記しようと麻布十番にある法務局に行ったのですが、中間法人が何かを、わからないのです。一緒に手引を見ながら、何回か“てにをは”を直して、正式に受理されたのが9月24日、それが登記日になったのです。

**水野：**NPO 法人というのは、条文だけを読んでも訳が分からないのです。稼いでよいのか悪いのか。Non-Profit Organization だけど、読み方によっては Not Profit Only とも読める訳です。最後の一押しは高橋先生の提案が決め手だったということでした。中間法人というのは、なんぼ儲けてもいいのです。税金は儲ければ払わなきゃいけないが、利益が上がっても配当はしてはいけないのです。配当以外のことは自由だというフリーハンドの幅が、NPO に比べたらはるかに分かりやすいということで、これはいいやということになったのです。

## 《創業直後》

**水野：**まずは会員集めをしなければいかんということです。効果的だったのは、日経新聞に載った DF のパブリシテイ\*2です。\*2 記事タイトル「企業の役員経験者 VB や大学に紹介」

**合田：**今もスクラップ持っています。これが10月17日に出た。電話番号も何も書いてない。ただ、丸紅とあるので、丸紅の秘書に電話して、「水野さんというのはあの水野さんですか」と聞いたら、「そうです」との答えがあって、11月6日に訪ねていきました。

**河村：**私は、新聞を見ていたら、あ、水野さん、こんなことやっているのだと。それが11月です。1月の初めにある会合で水野さんと会って「いいことやっているのだね」と言ったら、「いいことやっていると思うならお入りよ」とこう言うわけです。ついでに事務局もやったらというので、事務局員になったのです。

**合田：**当時の手帳を見ると、入会してしばらくは音沙汰なし。12月13日に水野さんから電話があって、「26日に大学での講義チームができそうな会があるから出てこないか」という話です。当日、会の最後に「誰か手伝ってくれないか」と言われたので、水野さんとは現役の時からの長い付き合いですから、僕が手を上げた、ぱっと、敢然とね。それが DF との最初の縁です。手伝ってよかったです。

## 《アカデミー事業》



合田 隆年氏

**合田：**大学の最初のお客さまは横浜市大でしたね。各大学へはいろいろな人脈をたどってアプローチしました。DF という組織自体が新鮮で、次第に会員の出身業界が増えてきて、例えば自動車業界の人がいてくれるとすごく話のタネになりやすい。一人1コマのシリーズ講義の内容が充実してきて、即、話が決まるということもありました。当初は、「皆さんは論文を書いていますか」と質問されることがあり、先生がわれわれをライバル視されるのかと、驚きました。

**横井：**DF 会員が講師で行く前段がありました。最初の講師は元日産自動車の社長

の埴さんをお願いをした。日産自動車がつぶれかけて、再生は日本人じゃできない、外人のドライな考えで思い切ってやらなければいけないということで、ゴーンを連れてきてやらせたという話をしてもらい、ものすごく好評だったのです。

**合田：**埴さんには2回やっていただきました。最後は拓大の「経営塾」は、地下鉄丸の内線にポスターを出して募集しました。相手は社会人ですから、講師陣を揃えなければいけないということで、埴さんにぜひともお願いしました。あと帝人の安居さんとか、いろいろな方に出させていただきました。経営塾の講演集というのは本の形で残っています。多摩大からは、ディレクトフォースでしかできない授業をやってくれということで、グループディスカッションを導入しました。4、5人のグループ毎に会員が一人つくので手間がかかりますが、学生には人気がありました。

**水野：**2004年9月3日に「ディレクトフォースの行方を考える」という演題で私が総会でプレゼンテーションをやった資料の活動報告によれば、アカデミーではこの頃「模擬取締役会」をやったのですな。

**河村：**あれは面白かったね。

**横井：**あれは素晴らしかった。

**坪井：**好評でしたね。

**水野：**あれは合田さんの力作よ。あれはちょっとした力作やった。

### 《コンサルティング支援》



河村 肇氏

**河村：**私が入ったときはDFとしての収入は大学の講義の収入しかないわけですよ。これじゃいかんということで、チームを作りました。私がコンサルを引き受けました。しかし、何をしていたか、どこに行っていたかが分からないので、法律事務所、監査法人、ベンチャーキャピタル、コンサル、ファンド、役所、総合研究所等、考えつく所全部に行きました。DFの売り込みです。こういう組織なので、こういうものを活用する方法はありませんかということです。そのうちに、事務局員だけでは回り切れないので、9つのタスクフォースを作り、会員全員に所属していただいた。必ず1社でもいいから回ってくださいをお願いをしました。1カ月2回の報告会を行いました。

ましたが、ノルマを果たせないからだんだん出席者が少なくなりました。そのようなところから始まったわけです。

**真瀬：**そのとき相手を説得するポイントっていうのは、どんなことを挙げておられたのですか。

**河村：**水野さんが新聞で出したようなことです。こういう精神で企業の役員OBの集団です。きっとお役に立てると思います。ともかく社会貢献したいのだと。売りは「きっとお役に立てますよ」というところですよ。

**真瀬：**社会貢献したいというと、じゃあ無料でやってくれますかっていう話にならなかったのですか。

**水野：**それは絶対に、初めからお断りです。はっきりしているのです。有料です。

**合田：**大学の授業でも無料はいかん。今よりは高いのだけど、比較的安い大学を引き受けてきたら、水野さんに何を言われたか。合田さん、それは安いねって言われました。

**水野：**苦労して取ってきたのにね。

**河村：**水野さんから、コンサル部門のノルマはいくらだと言われた。水野さん、それって現役の課長時代に戻った気分でしょう。当時何にもないのですから、とっても無理だと思った。

**水野：**でも、楽勝で突破してしまうのだから。

**河村：**決して楽勝ではなかったですけど。多くの会員の皆さんに随分とお願いして活動していただきました。

**水野：**創設の翌年の6月の世話人会議をやっていたときに毎月1回、報告の中で、需要開拓チームを組成しましたとあります。考えられるところを何か仕事ありませんかと言って歩き回っていました。

### 《エピソード：当時の事務所の思い出》

**河村：**初めの頃は、椅子が3つ位しかなく全員座れないのですし、コンピュータも2つしかありませんから、ずっと待っているわけです。一番困ったのはトイレです。居候させていただいたイーディーワン\*<sub>3</sub>は女性ばかりの組織でトイレが1つあるのだけど、使うわけにいかないです。使ってくださいって言うてくても使って欲しくないというのがみえみえですから。トイレはアジア会館や山王病院が近くにあったので全部外に行っていました。

\*<sub>3</sub> パソナGの研修事業を担う会社

**合田：**僕はパソコンがまだできなかったから、初めは専用の机がいらなかった。当時の手帳を見ると、現役の時と同じくらい、ものすごくあちこちに行っていますね、びっくりするぐらい。

**水野：**大体みんな会ってくれましたね。

### 《発起人の皆様》

**合田：**一つありがたかったのは、発起人の方々です。皆さんエースです。例えばアフラックの大竹さんやドコモの大星さんには、一橋の大学院でやっていただきました。それからイトーヨーカ堂の伊藤さんにもやっていただきましたね。良いお話しでした。

**横井：**今考えたら当時は、よくやったなと思うのですが、相当すごい人たちなのだけでも、厚かましくお邪魔して報告し、相談して、しかもパーティーまでやりましたね。

**水野：**最初は設立記念日の3日後の9月27日渋谷の東急エクセルでした。2回目はその年末に丸ビルの35階のフレンチで。

**横井：**2度ほどやりました。当時は福井さんも来てくれたのです。福井さんが日銀の副総裁を終わって、富士総研の理事長だったのかな。その後日銀総裁になったから発起人は辞められました。大蔵省の元事務次官の保田さん、運輸省の元官房長の棚橋さん、イトーヨーカ堂創業者の伊藤さんなどいろいろな方が来てくれたですね。

**合田：**さわやか財団の理事長の堀田さんのところへも行きましたね。

### 《監査役部会とサーチ事業部》



坪井 莊一郎氏

**坪井：**副頭取(当時富士銀行)へ退任の挨拶に行った時、水野さんが作った会社で人集めをしていると聞いていると言って、目の前で副頭取自ら水野さんに電話して、坪井が来ているので、すぐ行くから会員にしてくれってという訳です。それから2日ぐらいして行って、その場で入会金2,000円\*<sub>4</sub>を払い入会しました。

\*<sub>4</sub> 発足当時の入会金は2,000円

今は講演・交流会と呼んでいる勉強会にお互い知らない者ばかりが60人位集まるのですが、勉強会後の立食懇親会で酒を飲みながら話していると、平均年齢63

歳位だからまだ何か仕事したいねなどと言っていました。丁度、DF発足前年の2001年に商法が改正され、監査役権限を強化する動きが出てきた。上場企業エグゼクティブOBの活用にぴったり合うのは監査役だと考え、先輩の吉永貞夫さん(退会)と水野さんに、当時は、監査役が閑散役と呼ばれた頃なので、研修会を作って、知識装備して売り込む絶好のチャンスなので、事務局で監査役部会を作ったらどうですか、法律の趣旨がこう変わって、ガバナンスがこう変わると言っていますよと説明して、これを売り込むにはこの組織が絶対いいですよと提案をしました。水野さんからは、この組織は言い出した人間がやることになっていると言う訳です。それで坪井さんは事務局に入って勤務は週一日でも二日でもいいから早くやってくれと。ところが、一日二日じゃできっこない。気が付いたらフルタイムの月から金になってしまいました。先程より河村さんや合田さんも水野さんは非常に厳しかったと言われましたけど、やはりこれは事業として赤字は許されない。私は銀行時代の人脈ルートで、投資ファンド等を回りました。あるところからは入会金30万円をもらって、11人に入ってもらいました。初年度はとんどの黒字だったのに、2年目から110万円の黒字が出たのです。私が担当した8年間全て黒字を出すことができました。いい話をされた場合は、神田の製本業者へ原稿を持って行って、小研究グループ研究発表だとか、監査役部会の基礎編や応用編を本にして、会員に1,000円で購入してもらいました。

監査役部会を作ると同時に、当時の厚生省の研修会に参加して、有料職業紹介事業の免許を取得し、会員を監査役、顧問他、8年間で延べ150名強の再就職につなぐことができました。

**横井：**どっちが先だったかな。監査役部会を提案されてスタートしたのと、ディレクトフォース自身が人材紹介の資格を取った時期は。それ以降、DFに入ったら紹介してもらえると勘違いして、再就職と思って入ってくる人もだいぶ増えたのだけど。

## 《株式会社DFマネジメントの発足》



司会 真瀬代表

**真瀬：**当初の基金800万円が大体2年ぐらいでなくなり、ご苦労されたことと、その後の(株)DFマネジメント設立に至る経緯をお話下さい。

**水野：**2002年の9月の末に発足して、使えるお金は基金の800万円しかないのです。発足当時は、南部さんも、経費で落とさなければならぬのなら相談してくださいよということをごささっていたのだけれども、現実には仕事をしていくと、食事代とか、パーティー代というものが出てくるもので、瞬間にお金がなくなってしまったのです。翌年には、事務局員にわずかながらのサラリーをお支払いしようにもできなくなってお借りました。2004年の初めに、お金の出し入れが自由な、責任をはっきりさせた上でやっというので、増資かつ改組を行い、(株)DF

マネジメントをつくらうということで南部さんのご了解を得ました。「水野さん、あなたもちょっと出してよ」と言われ、私が100万円を出しました。南部さんの方からの1,900万円と合せて2,000万円で株式会社を設立し、ここから再スタートしました。

いわゆるアカデミーが大学で稼いでくるお金は、運営の基金にはちょっとベースにはならない。これは社会的にアピールするときに宣伝効果としては非常に効果あるのですが、経営の基盤づくりにはならない。有料職業紹介資格を取ったのが2005年の9月です。それまでは、コンサルのあがりというのがベースにあったのですね。2005年に許可を取得してからは人材紹介料がそっくり収入になった。紹介してくださった方にはそれなりの

## 活躍するシニア集団

DIRECT FORCE 15th ANNIVERSARY

礼金を払うけれど、このあたりからコンサルと人材紹介が非常に大きな収入の柱になったということが言えます。2005年度にはDFとDFMの合計で売上総利益6500万円となりました。売上総利益ではコンサルとサーチがほぼ半分ずつの貢献です。

**横井：**水野さんが「2階建て構造」という言い方をして、パンフレットにディレクトフォースとDFマネジメントを記載しました。ディレクトフォースは会員を中心とした活動と会員のバックアップ。DFマネジメントは企業支援を中心とする営業活動という意味合いでの2本立ての構造です。ディレクトフォースとDFマネジメントとの間で業務委託契約を結び、こっちの人材にこちらで活躍してもらおうという割り切り方ができたと思うのです。



記念座談会の様子

**水野：**2004年9月の総会の報告で、コンサルティングは、ファンド会社、監査法人のコンサル部門、ベンチャー育成会社、金属加工メーカー等より受注。セラミックスメーカーからは経営分析受注。ベンチャー企業の販促に協力する案件等々ですね。140名が活躍したと報告している。サーチは有料職業紹介の許可を取得した。初年度は2名だったけど、2年目は12名に伸びて来た。

**高橋：**ディレクトフォースは中間法人としてスタートしたのですが、まだ甘さが残っていた。そこで、水野さんがお話しになったように、株式会社にしてちゃんと責任を持った経営というかたちを取る。DFとDFMの役割を明確にすることで成果に結び付くと私は思っていました。

**横井：**設立5年目位に余裕ができて、千代田区に桜の木を寄贈できるようになりました。

### 《 DF に対する期待と希望 》

**真瀬：**最後に一言ずつ皆さんのDFに対する期待や希望を何でもよろしいのでお願いいたします。

**合田：**ひとつに限定します。あの頃は会員と事務局が一体でした。この組織をどうやって活性化して楽しい団体にするか、自分たちでつくる、という強い意識が全員にありました。今は、一応組織はできあがっています。ビジネスモデルも結構あります。何しろ500人を超える会員数なので、事務局との一体感はほとんどないように思います。どうやって一体感を持つかというのは難しいが、事務局が仕掛けてゆくしかない。会員は財産です、会員を生かしていない、生かし切れてないと思います。事務局はもっとアグレッシブでよい、と思います。会員もそれに応じて頑張れば、今のマンネリ的な状態から何かブレークスルーできるのではないかと、という気がしております。

**横井：**合田さんの言われたことと非常に似ていることなのですが、折角これだけの組織ができて、ライオンズクラブとか、ロータリークラブとか、そういうシニアの集まりと全く違う、もっとアクティブな組織なのですよね。折角できたから、やっぱり持続可能、存続するような努力が必要だということで、一体感というか、やっていることをもうちょっとみんなで共有するようなことが必要じゃないかと思います。最近また始めたと言ったのですが、以前は、同好会の世話役同士、半年に1回程度、情報交換会をやっていました。全く違うことをやっているのだけど、何か共通性が出てくるというか、共有する意識が必要だということです。

それから、今の流れから言うと、労働力不足で、シニアパワーをもっと活用する場はいっぱいあり、例えばディレクトフォースの中で日本語を勉強するチームを作って、日本語を外国人に教えることを考えたい。ものすごく日本人の教師が不足しているそうです。インドネシアやタイで教えてもらってきても、日本でもっと習う必要がある。誰かがリーダーになって日本語教育のプロジェクトにすれば、仕事が出てくるかなと。

**真瀬：**最後に言われた、日本語を教えるっていうのは確かに……。人手不足の下で、シニアと外国人の活用をもっともっと今まで以上に考えていく必要があるし、それを支援できるのは確かにDFの一つの大きなポイントだというふうに思います。

**河村：**私がまだいたころにもそういう兆候が見え始めていました。番号で言えば、古い番号と若い番号で相当ギャップもありました。古い方も相当やめていかれているわけです。これは年齢だからしょうがないと思うのです。確かに、もう少し一体感が出るようなかたちが出ればいいのだらうなと思います。私が、実際やっていたころは、とにかくお金を稼ぐのに精いっぱい、同好会にあまり賛成でなかったのです。とにかく金を稼がなければ、この組織は成り立たないのだと。口開き「金だ」と響きをかきながらも、組織を存続させるにはお金だ、お金だと。今では同好会で楽しませていただいおり、同好会は和を保つ重要な要になっていると思います。大阪の活動も出来たようですし、私たちがいたころより、ずいぶん範囲が広がってきているように思いますから、中身がついてくるようにされればいいのではないかなと思っています。今後、できるだけ出させてもらうようにしますので、よろしく願います。

**坪井：**DFの創業の理念っていうのは、ボランティア活動を通じて社会貢献をする。先日、部会会議で各部会の代表の皆さんの部会報告を聞いたとき、理科実験をはじめ各部会活動は素晴らしい活動に進化、発展しているのですね。まさにこれは創業の理念を最大具現化しているいい活動になっていると思いました。さらに5年後に向けて、これがさらに拡大していくことを非常に期待したいし、新たな部会活動がさらにできればいいなと思っています。そして、もうひとつは、さっき水野さんが数字について言われたのですが、過去10年間で、年間売上はDFとDFMの合算のピークが1億6,000万円なのです。DFMの活動っていうのは、DFのこういう活動、ボランティア活動、社会貢献を下支えする財政的基盤なので、5年後を目指してやっぱり倍増の3億ぐらいの目標をひとつ掲げていただいて、チャレンジしていただくのもどうだろうかというふうに思います。私も事務局の皆さんの活動を身近に見ております。皆さんたいへん頑張ってくださいありがとうございます、ぜひ事務局の皆さんのさらに会員のコーディネーター役として期待したい。

**水野：**2004年のプレゼンテーションのまとめで、DFの今後の方向性ということで触れましたが、今、一部、坪井さんがおっしゃったことなのだけど、DF設立の趣旨を質・量ともに実現していくと、楽しむ、そして、お役に立つ、それから、理想と経済性、あえて二兎を追うというのが方向性としてこのとき打ち出して、皆さんもこれを何の矛盾もなく受け止めてくださる雰囲気であったと思うのですね。きれいな事言ってもしかたがないけれど、食えない

## 活躍するシニア集団

DIRECT FORCE 15th ANNIVERSARY

組織は絶対に伸びない。従って、きちんと利益を出していき、かつ理想の火は消さないというのが基本的な視点といたしますか、出発点だと思うのですね。

理科実験は素晴らしい企画だし、成果も挙げておられるし、多くの方が参画されています。これは収益だけを求めてはいけなし、理想だけを求めたら、しんどくて維持できないという典型的なパターンだと思いますが、こういうのこそ DF がきちんと利益につながっていく。利益というのは求めてはいないけれど、それを担保しながら理想を実現しているのだという、その仕組みを作っていくのが DF の使命じゃないかなと思って、もう一步研究する必要があるのではないかなと思います。

**合田：**理科実験は夏休みなど特定の時期に集中するので、実状は手いっぱい感じます。僕も微力ですがまだ少しだけ手伝っています。DF からは交通費など、以前より厚い支援を受けています。

**河村：**当時、コンサルチームの中で一番どうにもならなかったのは工場技術支援（技術部会の前身）なのですね。もう何していいかわからないと、みんな集まってもどうにもならないチームだったのです。このチームが生きる方法はないかななどといつも言っていたのですね。やっぱり技術屋は金もうけ下手だなとか言っていたら、出前理科実験として今 DF の中でも素晴らしい活動の一つに、輝かしい活動の一つになっていますね。水野さんがおっしゃったように、これを一つの売りにして。

**真瀬：**年に 150 回は凄いですね。3.11 以降、被災地である南相馬地区や気仙沼地区等の小学校に継続して実施しているので補助を出すようにしています。大変積極的なお話ありがとうございました。ぜひ、私も含めて今後に生かしていきたいと思いますので、ほんとに本日はありがとうございました。



座談会参加の皆様  
(左から)

坪井 荘一郎氏

河村 肇氏

横井 時久氏

合田 隆年氏

水野 勝氏

高橋 湊夫氏

真瀬 宏司代表理事

保坂 洋事務局長

記念座談会の参加者の皆様

**男声合唱団同好会 (Sing Joy)：**本年創部 10 年を迎える。プロ指揮者にご指導頂き 19 名の団員が充実した音楽活動を楽しむ。福祉施設や病院などでのボランティア演奏に加え、大ホールでのコンサートや女声合唱団との合同演奏など活動の幅を広げ評価も高い。

**歌舞伎同好会：**2009 年 11 月、気楽な歌舞伎愛好者の集まりとして 16 名で設立。会員の家族・知人の同伴を認め、通し狂言を鑑賞対象にすると共に、(ビギナーも参加し易い様に) 歌舞伎・文楽鑑賞教室にも参加。現在 64 名の会員で鑑賞会後の懇親会も行いながら年 4 回楽しんでいる。

座右の銘

390 嶋矢志郎

初めに自然ありき 人間ありきに非ず

404 鈴木信男

好きなことを好きなように好きなだけ

## 第三章 一般社団法人ディレクトフォースの歩み

### 技術部会の歩み～これまでとこれから～ 原田 忠和氏



ディレクトフォース（DF）発足翌年の秋、我々の過去の知見で何か世の中に貢献できないかと技術部会の前身となる「工場経営支援チーム」と「知的財産評価チーム」が活動をスタートした。工場支援チームはコンサルティング会社や再生ファンドなどから相談を受ける案件への技術・生産面からの診断・支援や人材を必要としている企業への人材派遣などを実施。知財チームはこれからますます重要となる知財について我々の知見がどのように活用できるか、関係先の調査や経産省知的財産政策課とコンタクトするなど色々検討を行うも、DFのチームで支援できることは少ない

と判断し、2005年春、工場支援チームと合体。それ以降技術系のタスクフォースは一体運営となり事実上の「技術部会」がスタートした。

外部企業に対する支援や人材派遣については、初期はDF設立のパブリシティ効果もあり多方面からの要請があり活動していたが、先方が求めるスペック・要件と我々グループメンバーの対応可能範囲がなかなかうまくマッチせず、引き合いが先細りとなってきた。グループとしては1～2ヶ月毎にミーティングを実施し、メンバー関連企業の工場見学会やメンバーによる講演などを実施。それと共にMOTについての議論や我々の知見・経験談を本にまとめたかどうかともトライするも断念。

部会活性化の議論をするも、いささか部会活動に閉塞感がある中に飛び込んできたのが横浜開港150周年記念イベント（Y150）への理科実験での参加。子供相手の理科実験？という声もあったが、とにかく皆で汗を流してみようと取り組んだが、その時の子供たちの驚く顔・楽しそうな顔にすっかり魅了され、その時頂いた謝金の残りを基金として、子どもたちに理科が好きになってもらいたいとぜひ続けよう（その基金が底をついたらどうする？その時はみんなでゴルフに行ったつもりで拠金したら続けられるのでは・・・）2010年3月に理科実験グループがスタートし、今では年間150回以上の教室を開催するまでに発展した。



横浜開港150周年記念イベントの参加者

一方2010年には浅野さん提案によるメンバーが日本の色々な産業に関して正しく理解し、将来について語れるよう知識を深めるための「DF産業懇話会」が、2011年には中田さんによる企業のリスクセンスを向上させ組織の生産性を向上させることを活動目的とした「NPOリスクセンス研究会を支援する会」がスタート。今後の技術部会としては、生み育てて来た理科実験グループとともに、2016年にスタートしたメンバーに役立つ健康講座としての「医療懇話会」を加えた4つの活動分野で、更に新しい社会貢献活動を生み出すグループとなるべく活動を続けて行く。

~~~~~  
**絵画同好会（彩遊会）**：彩遊会は、四季の彩を描き、仲間との交遊を楽しむ集まりです。スケッチ会等で絵を描く楽しみを共有し、酒宴では芸術談議に花を咲かせます。今年10回目を迎える彩遊会展は、多くの新会員の参加で新しい頁を開くことになるでしょう。

教育部会理科実験グループの歩み 萩原 秀留氏



2009年夏、横浜開港150周年記念行事の子供相手の理科実験に参加しないかとの話に約20名の技術部員が参加した。その時の子どもたちの笑顔が忘れられず翌2010年3月、理科実験グループを約15名で発足させた。

実験方法は子どもたち2~4人程度の1グループ毎に講師一人とパワーポイントを使った説明役講師で行い、児童が実験に直接手を下せるようにした。また実験の内容を記したワークシートを必ず児童に配り、実験データ等の記録もできるようにし、実験観察の基礎を学べるようにした。



出前理科実験の様子

グループの発足当初は開催場所、実験テーマ、講師、費用等をどうするかが課題だった。開催場所はグループ員の縁故先、教育委員会等の行政機関、科学技術館等の常設館等に赴きお願いした結果、開催場所が増え授業でも取り上げてもらえるようになった。当初年間6回だったが、去年は151回となり、授業と放課後教室がそれぞれ約40%、他に常設館、イベント参加等が20%となった。気仙沼、南相馬等々の遠隔地でこうした機会に恵まれない子供達のもとにも出かけるようになった。

テーマは最初日本化学工業協会の用意したものをそのまま使っていたが、実験のやり方には手を加えた。また独自のテーマは身近なもので安くできるよう心掛け、最初4つだったのが現在17になった。毎月のテーマ委員会で如何にして子供たちに分かり易く説明できるか何回も検討を重ねて公開に踏み切るようにした。参加する子供たちは低学年の方が多いが、彼ら向けのテーマが少なく今後の課題である。

現在、講師陣は事務系10名程度も含め68名となった。DFへの入会目的が「理科実験をすること」とする方も出てきた。

ボランティアということで始めたが、子ども放課後教室等での実施には若干の謝礼金が入り、それらのお金を材料代、器材代、器材運搬費、開発費に充てた。個人には交通費、報酬なしということとでスタートしたが、現在は交通費や宿泊費等の一部がDFから援助されている。DFの理科実験が知られてきて需要に追い付かなくなることが必至である。この対策をどうするかが大きな課題である。

蕎麦打ち同好会：2005年、日本の象徴的食文化である蕎麦を打ち、味わうことを目的として創部。蕎麦道場では常陸秋そばを打つが、挽きたて、打ちたて、茹でたての蕎麦は絶品。蕎麦巡りでは都内55店の江戸蕎麦を味わい、江戸文化談議。また高齢者に蕎麦を提供するなどボランティア活動に協力。

座右の銘

499 藤村峯一

朝聞道、夕死可矣（出展『論語』）

511 松村貞浩

恕

教育部会授業支援の会の歩み―「青少年に自信と誇りを！」 遠藤 恭一氏



「授業支援の会」の最初の議事録では2011年9月6日付で7名がこの会議に参加していた。この組織立ち上げ動機は次世代を担う青少年に自信と誇りを持った社会人になってもらいたいとの願いである。世の中はグローバル化の進展・創造性の大競争時代へと激しく変化していたが、学校の授業では「実社会とは何か・働くことの意味」を子供たちに伝える機会がほとんどなく、そこに我々の活動の意味があるとの認識であった。初代の代表に田部揆一郎氏が2013年9月まで、その後藤村峯一氏が3年半、以降遠藤が引継いでいる。

「授業支援の会」の名称は「学校授業を側面から支援する立場」を守り、学校の授業内容や教育方針を批判しないこと、我々の経験や体験を若い世代に伝え語るが、決して自慢話はしないこととした。どうすれば実際の授業が可能なのか？理科実験グループに学校を紹介してもらい、少しずつ講義依頼が入り2012年秋には千葉県立高校から講義依頼が来た。これは越川頼知氏の母校、匝瑳（そうさ）高校への交渉が実ったものだ。テーマは「グローバル化する世界と日本、若者に期待すること」で基調講演は向坂氏、各パネリストが話をして会場の生徒から質疑を受け生徒の熱い支持を受けた。2013年からは東京都のキャリア教育活動の支援団体として登録、都立各高校から依頼があり活動の大きな柱に育っていった。2013年には年間25校での講義実績となり、2014年3月にはその活動が認められ、第4回経済産業省のキャリア教育アワードを受賞するまでに至った。



2012年千葉県立匝瑳高校でのパネル討議の様子



2014年キャリア教育アワード「奨励賞」を受賞

新しい課題も見えて来た。一回限りの講義では内容が限定される。連続講義で受講生と対話し、緊密な関係構築で「より多くのことを伝えたい」との思いがあった。私立高校中心に連続講義への可能性を追求し、黒崎明雄氏紹介の田園調布学園、成城学園高校、また藤村峯一氏の努力で逗子開成学園、都立昭和高校等で連続講義をすることができるようになった。最近では大学入試改革、指導要領改定が検討され、2020年から大学入試も知識偏重型から論文重視へと転換がなされる。我々の講義も討論型へ転換し生徒たちの発信力・討議する力の強化支援が重要になる。定例会では受講生への課題設定や討論がどうあるべきか検討を重ねている。当会設立以来6年目を迎え、より充実した授業を目指したい。

能・狂言同好会：650年余の歴史を持つ能は、現代の日常生活の各所に脈々と生きています。童謡、演歌、歌謡曲のみならずお雛飾りの五人囃子や剣道のすり足がそれです。能の鑑賞会は能を手掛かりとした温故知新の新発見の場です。



座右の銘

544 秋山 哲

男子再戦して止むなかれ 三戦して止むなかれ

660 伊藤健樹

修惑難断如藕糸 見惑屯断如破石

環境部会の歩み 神山 利氏



地球上で起こっている様々な環境問題は決して我々とは無縁ではないとの共通認識から、地球環境の基本的な問題を一緒に学び内外に発信して行こうと有志が集まり、話し合いを続け「環境問題研究会」を立ち上げ、2007年6月11日にキックオフセミナーを開催した。「環境部会」の始まりだった。

「かけがえのない地球を次世代へ“One Earth One Future”をテーマに掲げ、「ミニ勉強会」「草津での緑のボランティア」「環境活動を推進している企業見学会」「千代田区への寒緋桜の寄贈」等々の活動を展開する中、1年後の2008年10月

に会の名称を「環境部会」と改称した。15人での船出であった。

その後、地道な活動が認められ、2010年4月にはDFの正式部会となった。会則も制定し、組織を整備する中、「環境部会」の活動は更に活発化し、幅も広がっていった。

その活動は、①環境の内外動向を学ぶセミナーの開催はこれまでに50回を超え、②大学・大学院生向けそして小中学生向けの環境講座の開催、③草津・上越・平塚・逗子寺町と続く里山保全活動、④千鳥ヶ淵緑道での「さくら美守り隊」ボランティアや富士山まなびの森での森林ボランティア活動、更に⑤企業や地域単位で取り組んでいる環境活動の見学会等々多岐にわたっている。



平塚ゆるぎ地区の里山再生活動



DF 寄贈の寒緋桜

環境問題はますます複雑化し課題も数多く山積している。これからも「環境部会」の設立主旨である

・かけがえのない地球を次世代へ      ・地球規模で考え      ・足下から行動しよう!

の基本理念を忘れることなく、活動を進めていきたい。当初のメンバー15名が現在(2017年1月末現在)では48名までになった。環境問題にご関心のある方のお入会をお待ちしている。

**囲碁同好会(師出会-しすいかい)**：登録メンバー数は23名。級位者から高段者まで幅広く囲碁を楽しんでいる。活動は月例会中心で毎回10～14名の参加者がある。去年は箱根で合宿も行った。会員全体の囲碁大会は過去六回開催したが、今は取りやめている。

**写真同好会**：当会は2008年に写真好きの7名のメンバーでスタートし、現在は13名。隔月の例会と年2回の撮影会の作品を外部講師に講評を受けレベルアップを図っている。今後は外部で「写真展」を開催すべく準備をはじめている。

座右の銘	669 山本英昭	679 中尾誠男
	失意泰然、得意淡然	男子、三日会わざれば、括目してみよ
	687 横江 昭	692 鈴木 哲
	今日が一番若い日	明哲保身 (出展『詩経』)

## 企業ガバナンス部会の歩み 猪野 久仁朗氏



現在の企業ガバナンス部会の前身である「監査役部会」はD Fを創立して3年弱の2005年にスタートした。当時は2001年の商法改正により制度化された社外監査役に関する論議が盛んであった。D F会員は元上場企業経験者が大半で、永年培った知識、経験、技術、経営全般の見識に富んでおり、社外監査役には適任である。それをさらに強化すべく、「監査役部会」を設立し、研修会を通じて研鑽、知識装備を図った。当初の部会の基本理念・キーワードには「勇気を持って経営に物言うことの出来る監査役を目指す」を掲げた。この基本姿勢は変わっていない。

研修会では基礎編・応用編の二本柱とした。現在は応用編を毎年、基礎編を隔年で実施している。部会の狙いには、人材紹介事業と連携して、D F人材活用の車の両輪とすることでもあった。これも現在に至るまで変わっておらず、そのため、両組織の責任者は一人が兼務して来ている。

部会の会員数は3期目には150人前後まで達して、その数は現在までほぼ維持されている。創立当初の熱気はセミナーへの参加人数でも表れていて、2007年には最高85人、平均で65人の参加者を記録した。しかし、2010年以降、参加者は減少傾向にあり、現在は45名前後で推移している。

会員による小研究会は監査役部会発足から1年半後、「企業買収と監査役」をテーマに開始した。翌年には3グループと一気に拡大した。世の中に、新会社法、金商法制定とガバナンス強化志向が高まり、監査役の役割・期待の変化への対応に追われた様子が目に浮かぶものである。その後は2グループが続いたが、今年は久々に3グループで研究に取り組んでいる。

なお、部会名称は2015年のコーポレートガバナンスコードの制定という背景を踏まえて「企業ガバナンス部会」に変えている。



小研究会の発表の様子

**釣同好会**：2008年以來60回の釣行を重ねてきました。東京湾での釣りを中心として九州、新島等への遠征にも出かけしています。会員の高齢化が進み、今後も先ずは安全第一に徹して無理のないスケジュールで楽しい釣行を続けていきます。

**SKI同好会**：我がSKI部はDF発足と同時に元国鉄マンの折茂さんが代表でスタート。6年後から今日まで中塚で2代目ですが、主たるメンバーが殆ど変わらず老人化が進む。しかし活動内容は活発で年3回、1月上越国際、2月那須塩原、3月北海道、蔵王、ヨーロッパと幅広く、かつ温泉付きも条件。内容的にも折々にプロコーチを付けRisk管理にも徹底。若手、また女性の入会大歓迎。

712 跡部浩一

男子すべからく巖頭に悍馬を立てよ

804 山崎雅史

人生なににごともムダなし

724 小成田邦郎

苦あれば楽あり 人生はバランス

808 櫻井三紀夫

難しい分岐点に出会ったら、一番難しそうに見える道を選べ

食と農業研究会の歩み 酒井 尚平氏



食と農業の関連活動は、2004年、DF主催の拓殖大学公開講座「食の安全を考える」が嚆矢である。司会合田隆年、酒井尚平の基調講演、食品安全委員会、日本生協、主婦連代表とパネルディスカッションを行い、多くの市民が参加した。この前後、食品分野出身会員が、アカデミー事業で各大学に出講し、企業支援の参加も重ねた。徐々に会員間の交流も盛んになり、大学や農水省、厚労省主催のシンポジウムなどに参加し知見を深めた。2008年頃、研究会設立の声があがり、2009年3月19日、藤田公一、植木五郎、四方満、守屋雅夫、酒井尚平（世話人）など中心に、「食と農業研究会」を設立した。当時の代表、事務局諸氏の支援激励があった。

当初は、農政、食品中毒、豚の口蹄疫などにつき勉強会を重ねたが、百聞は一見に如かず、現場で学ぼうと企業、市場、物流など見学を企画したところ、会員が急増した。企業経験を積んだ会員も異業種や新しい業態の見学研究は刺激になり、活動の幅と深みが増した。未経験でも「食と農業」に関心が深い会員が増えた。見学先は出身企業や人脈も頼ったが未知の業種にも積極的に接触して受け入れていただいた。見学先は食品加工、中央卸売市場、物流センター、飼料工場、コンビニ惣菜工場、有機農場、肉牛カット工場、冷凍食品など約20か所を数える。



エスフード食肉カット工場



十日町市星峠棚田前で

商品取引所、種子バンクも訪ねた。そして、地方の優れた取り組みを泊りがけでじっくり研修する企画を二年連続で手掛けた。2015年に石川県の株式会社六星、大規模米作から六次産業まで、まさに小泉進次郎氏が叫ぶ農政改革のトップランナーたる「六星」と、地の酒米を檜蔵で醸造する酒蔵、地域の老若男女が生き生き活動していた。2016年には、新潟県十日町市。魚沼コシヒカリの産地で、棚田や大地の芸術祭を観光資源にし、温泉養殖フグに挑戦する実態を研修、また、ブランド清酒の市場開拓に夢を持つ若手経営者から地方の新しい動きを直接聞いた。研修の積み重ねは、DF事業の推進に血となり肉となる有意義なものである。設立後8年間で24回開催、会員数は28名になった。これからも、気心の知れたメンバーと語り合っていきたいと思う。

俳句同好会（泥風句会）：俳句同好会は2009年の発足以来、欠かさず毎月第二水曜の夜に飯田橋の蕎麦屋二階で開催。日々の感動を五七五に託し、披露し合えば、酒も美味しい。そろそろ合同句集の刊行も視野に入れている。

座右の銘

834 高野直人  
志己利他（出展『山家学生式』）

862 寺崎直道

自重互敬

観光立国研究会の歩み 横井 時久氏



日本人が海外を旅行する数は世界のトップクラスである。しかし、海外からの来日観光客の数は、世界でほぼ30位程度。政府は観光立国を目指している。DFメンバーの知恵と経験を活かして、訪日観光客の増加と地方活性化に貢献できればとの願いから2011年に観光立国研究会を設立した。

観光資源の見直し、インフラ整備、意識改革、等々やることはたくさんある。我々が想定している訪日観光客のイメージは、団体に押し寄せる客ではなくて、個人または数名で日本の地方を周り、静かに日本の風景や伝統文化を楽しむ人達である。

最初に、自前の観光コースができないか、メンバーと地縁のある地域に出かけることから始めた。幾つかの地方自治体の方との意見交換会を行った。

次に取り組んだのが日本の観光業界に関する問題提起である。観光立国提言書を作成し、2015年2月に観光庁に提出し、観光戦略課長と数度にわたり議論をした。

観光立国提言書に続いて取り組んだのが旅の本の出版である。我々の狙いは、執筆者が縁のある地域について蘊蓄を傾ける紀行文のようなものである。55人のDF会員が執筆者となり、71の地域を取り上げた。出版を機会に関連ある地域との接触を深め、地方創生に貢献する目論見である。旅の本の発刊をきっかけとして、地方自治体とのより密接な連携と旅行情報の内外への発信、更には、観光政策へのより進化した提言などを目標して活動を続けて行く計画である。



2017年5月「旅の本」出版

**映画同好会**：映画同好会の活動は、名画鑑賞会、封切り映画鑑賞会、試写会、会員による映画研究報告、映画関係者を招聘しての懇談会などである。5名からスタートした同好会もいまや50名を超える会員数となっている。飲みながら映画について、青年のように熱く語る会員が多い楽しい会である。

**落語同好会**：2009年8月発足。寄席、ホールやDVD等での鑑賞を主体とした同好会です。年に1,2度、桂右団治師匠と会員による落語の実演を会員制居酒屋で実施しました。また、落語の舞台の散策等も行います。締めのお懇親会が楽しみです。

座右の銘

888 水野 勝  
俗に入って、俗に出でよ  
919 五十木 正  
活到老、学到老(人間は朽ちるまで勉強)  
1017 小林慎一郎  
巧言令色鮮矣仁(出展『論語』)

916 山田晃司  
継続は力なり  
952 米田敬智  
「自己確立」と「自他共楽」(少林寺拳法)  
1022 平井隆一  
人生は邂逅である(亀井勝一郎)

### 事業成長支援グループ（七人の侍）の歩み 嘉屋 正道氏



2014年3月末、真瀬代表から「会員の満足度向上と社会貢献活動を軸とした社団法人DFらしい新たな展開」の諮問を受けて、嶋矢座長以下数名による諮問委員会が設置された。

その答申の一つとして、中小企業の成長を支援するボランティアプロジェクトチーム「七人の侍」が誕生した。思いを共有する有志が集い、今現在8人となりましたが、ボランティア精神、異なる経験と能力、遣り甲斐、生き甲斐に通じる「七人の侍」のニックネームは変えていません。

故郷の企業を支援したい、キラリと光る企業を支援したい。中小企業の事業成長に少しでも役に立ちたいとの思いで活動しています。支援の軸は、経営者とチームで議論を重ねることにより生まれる経営者の気づきを大切にする事です。またチームの統一意見を求めず、異なる能力のある侍が、本音で、様々な角度から、経営者と議論することから成長への道筋が見えてきます。

月次での定例会議、支援企業とのミーティング、支援企業の探索と発見を主たる活動としていますが、課題は相思相愛できる中小企業との出会い。地方自治体との連携を成功させ、故郷の企業を支援したいという思いを実現したい。

支援企業と対話が進むなかで、販売先紹介、公開支援、人材の斡旋ニーズなどに対しては、企業支援事業部、Eサーチ事業部に繋ぎ、「七人の侍」は、社団法人DFらしい中小企業の成長支援を目指して地道に活動を続けていきたいと願っています。

### 健康・医療研究会の歩み 江村 泰一氏



健康・医療研究会は2016年6月に発足したばかりの新しい研究会です。申すまでもなく、健康や医療は超高齢化社会を迎えようとしている現在の日本において極めて今日的な課題であり、また今や平均年齢が70歳を超えた我々ディレクトフォースの構成員にとっても、真剣に考えざるを得ない課題でもあります。

ご存知のとおりDFは様々な分野で活発な活動が続けていますが、健康や医療といった分野での取り組みは比較的少ないと感じています。私自身、長年製薬産業に従事していたこともあり、DFとしても何かこの分野で活動し、社会に貢献できることはないかと内部・外部の方とも相談しました。結果として医療の持つ特殊性、専門性等を考慮し、いきなり医療機関に対するサービスの提供といったことを考えるのではなく、この分野に関する知識の習得や人材ネットワークの構築をまずは行おう、との方向性になりました。

そこでDF会員から広くメンバーを募り、セミナー等の手段を通してまずは勉強会から始めつつ、メンバーの議論の中から、われわれとして出来ることを明確にしていきたいとの趣旨から本研究会を立ち上げたものであります。

第1回のセミナーは、2016年11月24日に前健康長寿医療センター研究所副所長の高橋龍太郎先生をお招きして、「老いることの意味」とのテーマでご講演をいただきました。当日はDF会員28名が参加、活発な質疑応答がなされた後、夜の懇親会にも高橋先生にご出席いただき、会員からの種々の質問に丁寧にお答えいただき有意義な会となりました。今後、認知症、尊厳死、三大成人病、ガン、健康法等会員の興味の深い様々な分野で勉強を続けていこうと思っています。

広報・WEB活動の歩み 三納 吉二氏



私がDFに入会したのはDFが発足後1年ほど後で、DFのホームページ（以下、HP）作成依頼がきっかけでした。当時の一流企業がほとんど自前のHPを有していたこともあり、「DFを世に広めるためにはHPは不可欠」との水野代表の力強い言葉で、事務局の森本浩さんとともに準備に取り掛かり、翌2004年初頭に第1世代のHPが立ち上がることになりました。とはいうものの当時のHPは「DFの看板」程度の認識しかなく、ほとんど更新のないまま1年ほど経ってしまいました。

大きな変化が生じたのは、竹橋のパレスサイドビルに移ってからで、移転を契機にして積極的にHPを利用しようということになり、事務局の常信さんとともに、第2世代のHPへとバージョンアップを図ることになりました。第2世代を企画するにあたっては、DFをアピールするためには、会員はもとより一般の人たちにも見てもらうことが大切と考え、勉強会（現在の講演・交流会）の記録や同好会の記事の公開など、常に新鮮なHPを目指して、内容の更新に全力投入することになりました。

また継続的な読み物も必要ということで考えたのが「メンバーズ・エッセー」でした。おかげさまで会員の皆さまからの厚いご支援で、この10月には、連載260回を超えることになりました。その後HPはさらに充実を重ね、現在では第5世代となり、今やDFにとって、なくてはならない柱の1つになったのではないのでしょうか。

現在のトップページにある「充実した人生を仲間とともに」というモットーはDFのあるべき姿と自画自賛。DFホームページが、これからともに新しいディレクトフォース発展に更に貢献できるように祈っています。



第一世代のHPトップ画面

**海外旅行同好会**：当会は研究会と称し、一緒に旅をするのでなく個々人がパワーポイントを駆使して旅を紹介し情報交換する会。会員数26名、昨年までの例会回数65回、発表数130。懇親会はワイン、グルメと各人の卓話を含め好評。

**麻雀同好会**：麻雀は、実力と運とギャンブル性が兼ね備わった楽しいゲームです。毎月1回の月例会とオープン戦を開催しています。月例会のポイント合計で年間優勝を争っています。会の後は自由参加の懇親会で交流を図っています。

座右の銘

1035 有吉和幸  
進歩とは反省の厳しさに正比例する

1054 小川千春  
Tomorrow Is Another Day

1057 沢井成美  
不将不逆応而不蔵(出展『老子』)

1045 細谷洋夫  
守・破・離(道を極める為の成長段階)

1056 井上一生  
新しく出てくるものが無謀をやらなくて、  
一体何が変わるのだろうか？

1093 高田弘治  
人間万事塞翁が馬

## 第四章 株式会社 DF マネジメントの歩み

### アカデミー事業部の歩み アカデミー事業部長 小林 慎一郎氏



ディレクトフォース（DF）設立以来継続しているアカデミー活動は、まさに当法人のフラッグシップ活動です。現役時代、企業経営に功績のあった会員が、後進に人生の経験を伝えることに、使命感と人生の生き甲斐を持ち、社会貢献を続けることは意義深いことです。

DFでは小学生、中高生、大学大学院生並びに社会人に対して夫々に応じた内容で教育活動を行っていますが、そのうち大学大学院生や社会人を対象に、産業構造、イノベーション、グローバル化、キャリアデザイン等のテーマについて、会員の中から然るべき人材を発掘し、会員と先生が意見交換して講義内容を決め、授業の準備を進める、この一連を支援するのがアカデミー事業部の役割です。



大教室での講義の様子

会員は、昔取った杵柄に留まらず、講義の質向上のために、DFの技術部会、環境部会、教育部会、企業ガバナンス部会等での活動を通して、常日頃から相互研鑽を積んでいます。また、先生や学生との接触で更に見識を深め、DF会員としての人格向上に資することもできます。

DFの社会貢献として「大学での講義ならできそうだ」としてスタート、その後拓殖大学絹巻先生、昭和女子大学小島先生、獨協大学上坂先生、東京都市大学大上先生、群馬県立女子大学片桐先生ほかの諸先生、日産自動車塙さん、イトーヨーカ堂伊藤さんなどの有力な財界人、日本財団、ロータリークラブなど幅広いご支援を得て、合田隆年氏が中心となってアカデミー活動の基盤づくりが出来ました。

最近、大学では教養主義の復活も求められ、社会をリードする人材としてノブレスオブリージュ、さらに企業での倫理も重要な視点となっている中で、アクティブラーニングの手法も取り入れ、学生との双方向の触れ合いをも大切にしています。現在、約100名の会員で、400コマの講義をしています。今後もDFのサステナブルな活動の牽引役として、人脈を活かすなど大学の新規開拓に努めますので、更に多くの会員の積極的な参加を期待しています。

**カラオケ同好会:** 会員の増加と多様性に合わせた親睦を図る為に、現役時代の仕事の打上げや、接待の二次的なノリで、第一号の同好会として発足した。月例会と宿泊忘年会を行っていて、永續の秘訣は「利交」でなく、「素交」だと思っている。

座右の銘

1119 澤田賢治

静かなる燃焼

1121 小栗誠治

誠実

旧企業支援事業部の歩み 企業支援事業部長 近藤 勝重氏 不動産支援事業部長 越川 頼知氏



2002年9月にDFが発足して1年半後にコンサル事業と業務委託・営業支援を児玉さん、河村さん、三宅さん達が立ち上げました。企業支援事業部の基礎となる事業です。その後2007年からはコンサル事業部、ベンチャー支援事業部となり、2013年からは企業支援事業部へ一本化されました。その間サーチ事業部、Eサーチ事業部、HR事業部、経営者コンシェルジュ事業部、不動産支援事業部の誕生、合併などが起こったことはディレクトフォースと支援企業の関係などを反映しています。

企業支援事業部の設立趣旨はディレクトフォース会員の知見・コネクションを活用しながら社会貢献活動範囲を広げることです。妥当な対価ということもあり支援を依頼する会社は常時30社以上あります。支援企業も時代の変遷が反映されており、モノづくり、従来型のサービスなどからIT関連、新型サービスなどへと徐々に変化が見られます。

歴代の事業部長、部員は前記の状況の変化を常々感じながら対応に苦勞してきたと思います。幸いにもディレクトフォースの会員の出身元はほぼ全ての事業分野をカバーしていることと常に新しい会員が入ってくることで支援企業の要望に応じています。これは同種のサービスを標榜する団体の及ばぬ点でしょう。



株式上場セミナーでの交流会の様子

企業支援事業部と不動産支援事業部の両部の課題は15周年に当たり更に新規支援企業開拓と企業支援に対し会員の皆さまの更なる関心を高めることに尽きます。会員の皆さま、“ご支援”のほど宜しくお願いします。

~~~~~

**スキューバ同好会**：当会は2008年に発足、メンバー数は8名。年に海外2回、国内1回を目標に活動。これまでパラオ、セブ、タヒチ、サイパン、沖縄は渡嘉敷、慶良間、西表島、石垣島、久米島で潜りました。活動はビデオに撮りYOUTUBEにUPLOADしております。

**ゴルフ同好会**：2006年1月に発足、現在会員数76名。活動の主目的は、ゴルフを楽しくプレーして親睦を深める事。ゴルフが大好きでスコアUPに努力される方大歓迎！コンペはハンディ戦、ノータッチ、OKパットなし年3～4回開催。

座右の銘

1124 雨森理克  
青春とは、心の若さである

1125 杉江栄治  
人知らずして憤らず亦た君子ならずや

### HR事業部の歩み HR事業部長 大水 一弥氏



HR事業部は各支援グループに分散していたパソナグループ支援を4年前にひとつに取りまとめ、スタートしました。支援内容は大きく3つに分かれます。

- ① 会員の皆様の人脈を通じてパソナグループが希望する企業 / 人脈の紹介
- ② 会員の皆様のノウハウを活用してパソナグループの業務改善を提案
- ③ 会員の皆様の知識に基づきパソナグループで必要な業界情報 / 動向を提供

現在、以下のとおり、パソナグループの3つの企業の5つの分野へ支援を行っています。

- ・パソナ（派遣、業務委託）
- ・パソナキャリア（人材紹介）、（再就職支援）、（顧問ネットワーク）
- ・ベネフィットワン（福利厚生、インセンティブ、CRM、ペイロール）

パソナグループへの支援の歴史は長く、ベネフィットワンはD Fがスタートした2年目から現在まで14年継続しており、パソナキャリア再就職支援も14年経過しています。ベネフィットワンとパソナキャリアは今ではパソナグループを支える2本の柱に成長しておりますが、その成功要因として会員の皆様の長年に渡る力強いご支援があった事が挙げられます。

またパソナグループとの相互交流も進められており、120名を超えるD Fの会員が顧問ネットワークの会員に登録され、これを通じて多くの企業で顧問として活動しております。そして顧問ネットワークの会員の方もD Fの企業ガバナンス部会の毎月の研修会に多数参加され研鑽しております。

会員の方は入会と同時にベネフィットワンの会員として登録され、年間延1,300名の会員の方がベネフィットワンの福利厚生サービスを利用しております。

今後もD Fの発展に伴いパソナグループへの支援を継続 / 拡大していく所存ですので引き続きご支援をよろしく願いいたします。

### Eサーチ事業部の歩み Eサーチ事業部長 猪野 久仁朗氏



再就職支援活動は、2001年の商法改正で社外監査役ニーズが高まっている時に法人が設立されたこともあって、当初から法人の活動目的の一つとして認識されていきました。設立翌年には「有料職業紹介事業」許可を取得して、すぐに常勤監査役一名の再就職を内定させ、翌2004年5月にはめでたく就任しました。これは当法人の強みである様々な業界からのトップマネジメント経験者が揃っている点をビジネス社会でも大いに評価していることの表れとして、会員一同の大きな自信となりました。

さらに、2004年には㈱D Fマネジメント(以下、D F M)を設立し、人材紹介に特化した部門としてEサーチ事業部を設置しました。2005年9月にはD F Mとして「有料職業紹介事業」許可を取得し、人材紹介事業を本格的に拡大しています。その結果、3年間で91名の常勤・非常勤役員及び顧問等の案件を成約できました。その後、現在に至るまでに約200名の紹介に成功しています。その大まかな内訳は、常勤役員・非常勤役員がそれぞれ全体の約1/4、顧問等が半分です。それにより、会員の再就職要望実現に貢献すると同時に、その手数料収入でD Fの様々な活動に貢献してきています。

最近では2013年にEサーチ支援員制度を導入し、2015年には社外役員のニーズを把握すべく上場各社にダイレクトメールを出しました。2017年には過去にコンタクトしたお客様のDM等での掘り起こしを計画しています。さらにD F内の他部門との協働も拡大させる予定です。

## 第五章 会員からのメッセージ

### 元D F 代表理事 会員 No422 田中 健一氏 ～活動のウイングを上げよう～



高齢者の定義が 65 歳以上から一気に 10 歳あがって 75 歳になりそうだ。80 歳になるのも時の問題だろう。会社生活が終わってからの時間がどんどん長くなる。時間ができて今まで組織の中でのみ生きてきた者は一人ではうまく時間を生かした使い方ができないからディレクトフォースのような引退後組織は実にありがたい存在だ。

退職者数は首都圏の大会社だけでも何万という数だろうし、そのうちの半分がいい組織があれば入りたいと思っていれば、その需要は 1 万人以上になる。ところが

こういう組織がマスコミにとりあげられないので世間には案外知られていない。私が事務局にいた 2 年の間に D F と類似の団体を訪問したのは 5 社ほどあったから東京中ではおそらくその 10 倍ぐらいあるだろう。現に当会の OB が中心になってつくったフォーカスワンもその一つである。このような団体をまとめて社会的な声になるような勢力にはできないだろうか。1 団体ではできないことがまとめればマスコミにも紹介されやすくなるだろうし現業会社や行政も使いやすくなるのではないか。社会的にもたいへん意義のあることだと思う。

あと一つは女性会員の少なさである。一時女性部会をつくったが長続きしなかった。しかし女性の方が社会的に活動的なことは皆さんご自身の奥方の行動を見ても容易に理解できると思う。私は今コーラスをやっているがこの世界は圧倒的に女性が多い。当会で女性を集めるのがむづかしければ女性の団体との交流は会員さんからも支持されるのではなかろうか。それよりも D F 奥様部会をつくるほうが先かな

### 最高齢会員 会員 No687 横江 昭氏 ～ TODAY IS FIRST DAY ～



私は 2009 年に田中健一代表理事のお誘いを受け、入会させて頂きました。爾来、D F の為にさしたる貢献をなすことなく同好会で楽しませて頂いている事をお許し願います。

現在、楽しく暮らしておりますが、その大前提は健康と安全、安心です。私見ですが、日本ほど美味しい空気と水に恵まれた国は少ないと思います。昨今、豊洲移転を巡って「食の安全・安心」が話題になっていますが、環境問題は取り組むべき大きなテーマだと思います。私には具体案はありませんが、より安全・安心な社会の実現を熱望致します。

私の座右の銘は「今日が一番若い日」です。過去を振り返れば今日が一番年寄りで、未来を見れば今日が一番若い日です。このように考えれば「もう年だから」という言葉は使い難くなります。因みに、米国では「TODAY IS FIRST DAY」と言うようです。ある著名なゴルファーの言葉ですが「ポジティブ・ファンタジー、ネガティブ・ファンタジー」というのがあります。バンカー越しの難しいショットに際し、こう打てばピンそばに寄ると思い描いて、プレーするのが前者です。こう打つとバンカーに捕まり一度では出ないのではないかと思います。後者であり私の体験でもあります。

これからの人生をより楽しく暮らすために、ややポジティブに考えて行きますので、今後共々厚誼の程お願い申し上げます。

### 講演・交流会皆勤 会員 No13 藤田 公一氏 ～勉強会についての提案～



メンバーズサロンに掲載されている 2016 年年頭の真瀬代表の挨拶の中で、私が講演会に第 1 回目から第 158 回まで毎回出席しているとの記事が載っていました。私は、現在の講演会と昔の講演会と比較する事が出来る会員であると思い、憚りながら意見を述べてみたいと思います。

それは、当初は講師の方は会員から選ばれていて、テーマもあの時どうゆうつもりで対処したのですか等、新聞記事とは違った奥の深い話が聞けました。質問も仲間であると言う意識もあり、ざっくばらんにその時の大変さを実感した訳です。同好会

や勉強会で一緒にやっていますので、フレンドリーで相手を思いやる雰囲気がありました。

講演・交流会の運営にあたって大事な事は、どなたを選ぶか、どのテーマで話して頂くかです。D F の中に誰を選ぶかの選定委員を立上げ、講演者とのやり取りを詰めて、講演者及びテーマ決めて行けば、内容が充実してくると思います。日程も会員の方ですのである程度は融通がきくはずです。勿論、会員だけでは小さくまとまり過ぎますので、大物の講演者を挟む事は無論です。是非、一度検討してみても如何でしょうか。

### 会員 No1022 平井 隆一氏 ～近未来のディレクトフォース～



(月) 都内 A 小学校の出前理科実験教室。3D プリンターを使った自動車部品制作。皆目を輝かせて作業に没頭。一方 B 中学校の授業では、D F オフィススタジオから送る最新のホログラムを使った遠隔授業を実演中。

(火) ベンチャー支援事業部では、技術はあるが販路に乏しい企業家向けに、スタッフが営業戦略の立案と人脈を駆使した営業支援を展開、迅速な顧客開拓により、各社とも着々と業績を伸ばしている。

(水) D F から中小企業に派遣されている幹部が集まり、情報交換するとともに最新経営ノウハウを勉強する。中には海外工場の責任者として働き、後継者の育成にも力を発揮している。これが派遣先の業績に直結し、D F 人材を求める会社からの問い合わせが殺到。

(木) 一流企業の役員や幹部として活躍中の現役の方々が集合し、シニアの生き方に関する討論会。D F で取り組んでいる様々な課題や社会のニーズをメニューとし、その解決策や、各自が後半の人生で何をしたいかを討論する。一般のシニア向け教室と違い高レベルの議論と事例の豊富さ思索の深さが評判だ。

(金) D F 総研では、10 年前からスタートしたサステナブル経営研究に定評があり、各地からの講演依頼や経営相談が多い。海外事業グループでは、海外市場の定点観測を行っており、中小企業海外進出に際して適切なアドバイスをしている。

(金) シニアに加えて女性の活躍も D F ならではの、ウィメンズ事業部ではサービス業における実戦経験を活かしたチームが、クライアントに丁寧に対応している。

その他、講演会、各部の活動や趣味の会は勿論、経営シンポジウムも好評で、独自の路線を行く団体として今や有名となっている。

### 会員 No516 佐藤 和恵氏 ～薬剤師を目指す女子生徒に再会したい～



D Fに入ったのはいつだったか？ 紹介してくれたのは、岡山玉野高校の同級生の三宅さんです。でも人に言う時は、つい三宅君と言ってしまうので、いまだにD Fのお子様たちにはからかわれています。入会時、面接があり、その時の事務局のお偉い方3人位に色々質問をされた覚えがあります。とても緊張したのを忘れません。女性で入会される方が、ほとんどおられなかったからではと思います。

最初の活動は、横浜開港150周年記念イベントY-150だったように思います。その時、尿素と水で冷却パックを作りました。今のように温度計もなく、ただ、手で触って実感するだけでしたが、子供達は、「冷たい！」と大声で喜んでくれました。どうして冷たくなるのか？などの説明もせず、単に体感だけ。それでも、感激して喜んでくれる子供達との関係は、余り子供好きではない私には、とても新鮮でした。

東北の小学校に理科実験のボランティアに行った時、講師役の私達の自己紹介がありました。その時、私が「薬剤師です」と言ったら、帰り際に2名の女子生徒が来て、「私達も薬剤師になります！」あの子達が頑張った時、会ってみたいですね！

大学に勤めていた時、結婚したら、辞めろという大学の雰囲気でしたが、当時数人いた女性達が頑張りました。子供一人生んで頑張り、二人目も頑張りました。しかし、保育園の迎えて、5時に帰る女性（ほとんど）は、結局辞めざるを得ませんでした。保育園に迎えに行き、我が家で一緒に待っていてくれる人に来てもらったおかげで、首がつながりましたが、給料は、ほぼ保育費で消えてしまいました。その時の頑張りがまだ続いているのかな？

### 会員 No997 野村 裕晟氏 ～多様性の促進を～



3年半程前に私が現役を引退する際に考えていたことは、これまでの「速く流れる時間」から、「スローに流れる社会と私の新たな時間」にシフトしたいという事でした。丁度その頃、D Fをご紹介頂き、会員にして頂きました。D Fの理念や活動が私のイメージする将来像に重なって見えたからです。

その後、各部会や分科会の活動、研究会や同好会等の多彩な活動から刺激を受け乍ら私自身もアカデミーや企業支援活動を軸に経済産業懇話会への参画等、D Fを通して得られる貴重な活動の機会を活用させて頂いています。

D Fの将来の発展に必要なキーワードは「多様性の促進」ではないでしょうか。女性会員増に加え部分的な活動に参加する準会員（現役組）や外国人会員等、多様な人材を擁する組織になれば、新たな発想が生まれ、視野も広がり、活動も更に進化すると思うのです。例えば、現在の講演・交流会のテーマや講師の選定等も複眼で考察するメリットが予測され、外部へのアクセスや発信力が高まることで、社会におけるD Fの存在感や支持の向上に繋がっていく気がします。

戦禍で荒廃した現在のイラクを中心としたメソポタミア文明は、7000年程前に東側を流れるチグリス川と西側のユーフラテス川に挟まれた肥沃な三角州で生まれた世界最古の文明の代表です。（前者は矢の様な速い流れ、後者はゆったりとした流れという意味のヘブライ語）

現実の「時の流れの速さ」と色々な価値や知恵を熟成させる「スローな時の流れ」の調和はDFが提供できるもう一つの社会貢献活動と考えています。

### 会員 No243 牧野 守氏 ～多様な要望に応じて欲しい～



私がD Fに入会したのが12年余り前。妻に進行癌が発見された直後でした。それからの6年余は看病に専念しながらの毎日。その後の6年間は味気ない独り身の老人暮しでしたが、その間、D Fの各種行事や仲間との交流にどれだけ力付けられたか・・・いわばD Fが私の引退後の生活のリズムを打ってくれたと言って過言ではありません。

会員の殆どは退社時に「貴殿はもう我社に必要無し!」と宣言されたようなものです。それでもご本人達は「俺にはまだまだ社会に役立つ能力と経験がある!」と確信して

いたはず。従って入会者のニーズも様々です。

- \*収入と仕事が欲しい
- \*趣味を仲間と楽しみたい
- \*更なる知見と能力を身につけたい
- \*社会貢献がしたい・・・e t c .

これら多方面にわたる要望に応えるべく事務局と各幹事は懸命の努力を重ねてきました。それこそがD FのD Fたる所以です。例えばビジネス面だけに偏ったりせず、趣味やボランティアにも力を注ぎつつ、我々会員と社会の両方のニーズに今後も幅広く応え続けて欲しいと願っています。

最近、理科実験の会にほんの少しばかりですが、参加するようになりました。メンバーの皆さんは「子供たちの目の輝きが嬉しい」と言われますが、実はそう云うご本人達の瞳の方が余程輝いているのです!

### 会員 No927 谷口 擴朗氏 ～関西支部設立の夢を現実に～



2012年10月にあるご縁で谷口雄二郎さんに勧められD Fのことを知り私にその資格があるのか少々心配だったが、私の生き方と合う組織団体であり入会可能なら是非共と言う気持ちで真瀬代表他の方々面接を受け11月に入会させていただいた。それから5年近く過ぎ、私が関西に来て早や4年目になる。現在の関西メンバーは15名とまだ少ないが一昨年より会員増強を目指し、いずれはD Fの関西支部設立を夢にして3か月に1度の勉強会・交流会等を始め、関西D Fのメンバーの懇親・連携を深めつつ会員増強に努めて来た。東京のようにメンバーが大勢いれば何かと

社会貢献活動も出来るのだがと思いつつ、今は歯を食い縛り頑張っている。社団創立15周年の今年の秋迄には関西D F会員を何とか30名にしたいと強く願って活動している処である。

しかし関西D FのみならずD Fにとってもっと重大なことは、今や国内外の社会・経済・技術等変革のスピードは非常に速く、かつ、AI・IoT等諸々の技術進化も非常に顕著になっていることだ。当然これに伴い社会的課題も大きく変化してきており、要はこれまでの経験知識だけではとても対応できなくなっているということ、いかに優秀な知識経験の持ち主の集団であるD Fメンバーとは言え、一人一人の能力だけでは解決できなくなっているという現実がある。これからは社会の変化を先取りし更に学習を積み重ねて行くと共に、時にはチームを組みD F会員が力を合わせて対応していかなければ社会に貢献出来なくなる時代になってきている。したがって現在のD F会員も年齢に関係なくこれまで同様一段の能力アップをし続けていかなければ生き残れない。「会員相互の啓発」と「健康増進」をより強化する必要があると同時に、D Fと同様の社会貢献活動をしている他のグループや団体(含む地公体)とも連携を深めてD Fのさらなる進化・発展を図らねばと強く思う。

### 会員 No122 三木 延義氏 ～いい人生を送る場を提供するD F～



人は死ぬときに「いい人生だったなあ」と思えたなら、その人は、幸せな一生を送れたといえるそうです。「いい人生」を紡いでくれる重要な要素は、健康、幸せな家庭、良き友、みんなの役に立てることではないでしょうか。

健康、家庭はさておいて、長くサラリーマン生活を送ってきたわれわれは、会社を離れると良き友との出会い、人の役に立つ機会が少なくなります。周りにもその機会に恵まれず、鬱々とした日々を送っている人を見かけることが多々あります。

その面で、D Fは私に良き友との出会い、人の役に立つ機会を与えてくれ、いい人生を送る場を用意してくれました。私同様、この15年間、会員の中には、D Fにいい人生を送る機会をいただいた方が多数いると思います。

これからも続々とサラリーマンを卒業する人が多数世の中に出てきます。D Fはこれらの人にも「いい人生」を送る機会を提供し続けていただきたい。

D Fは特別なことをする団体である必要はありません。政治的な力も経済的な存在感もありません。組織が大きくなることを自己目的にしてはなりません。

必要なのは会員の生き生きとした活動への支援です。

次世代の若者への講義、ベンチャーへの支援、子どもたちへの理科実験、さまざまな同好会などの活動一つひとつが、会員一人ひとりにいい人生を紡いでくれています。

その1点を目指すなら、D Fの存在意義は輝き続けると思います。

### 会員 No712 跡部 浩一氏 ～広報活動の強化を基調に～



2009年退任とともに入会して早くも8年。歌舞伎同好会の立上げに参画し、企業・産業の枠を超えた異業種の諸先輩との輪を拡げさせて頂く貴重なご縁を頂いてきました。現在、授業支援の会にも参加しています。

活動実績乏しい会員からの寄稿をお詫びしつつ15周年の節目で「今後のD F発展にむけての期待」について愚見を述べさせていただきます。

D Fは今後とも「会の目的・理念」に戻り「これまでの知見等を活かし社会貢献を果たす」原点から常に諸活動を見直し再構築することに尽きると、私は思います。

その原点を広範に啓発する武器は「広報活動の強化」であり、広く、広く、告知するツールを強化し、会員の活動の底辺を支える基盤強化が大事だと痛感しています。

同時に、会員の交流と若手会員の活動参画を促すには同好会・部会等に限らず世話人・役員等の主要なポストを定期的に見直し、常に新しい会員参画による活動展開を図ることが必要だと思います。会員間人材交流です。

更に、やや男社会で構成されてきた「会」に国際・実業世界で活躍する女性会員の参加を検討すべきと思います。同好会レベルではなく「女性の視点からの活動構築」を模索する時代ではないでしょうか。

いずれもこれまでの枠の中での見直しだけでなく、新たな視点からの活動構築の機会になれば15年の歴史を活かすことにもなると考え、模索したいと思います。

### 会員 No338 市古 紘一氏 ～D Fの強みは「多様性と柔軟性」～



ディレクトフォース（D F）に入会した2005年、「蕎麦打ち同好会」に入会し、以降世話役として同会運営を担ってきている。江戸文化の象徴である蕎麦を打ち、そば談義をしながら蕎麦を食べる月例会には、10数名の仲間が集まる。様々な経験をもつ人生の達人たちによる楽しい集いである。

また3年前、D Fの新規事業として「経営者コンシェルジュ事業部」がスタートしたが、その立ち上げから参加した。中小企業・ベンチャー企業のコンサル的支援事業であるが、発想の異なる若き経営者たちと接する機会を持つことは大きな刺激となっている。

継続的にD Fの活動に参加することによって、新たな経験をし、また新たな楽しみを持つことができた。永らく生保会社に籍をおいてきた者にとって、様々なバックグラウンドをもつ仲間との交わりは、非常に新鮮かつまた刺激的な経験となっている。

D Fは本年創立15周年を迎え、新たな方向を模索している。D Fの活動目的には、「社会貢献」「自己研鑽」そして「交友の輪」の3本の柱がある。D Fの持つ「多様性」と「柔軟性」を活かし、この3本の目的を達成していくという、これまでの路線を変える必要はないと思う。しかし社会におけるD Fの存在価値、認知度は残念ながら十分とは言えない。今、日本社会においては、世界に類をみない高齢化社会問題そして教育問題が大きな課題となっている。政府系諮問委員会やシンクタンクにおいて既にこの分野における研究が進められている。これらとは角度の異なる提言をすることが重要であり、そのために特化した情報をもつ地方自治体あるいは教育機関等との提携も考えられるのではと思う。

D Fの持つ「多様性」と「柔軟性」を活かし、社会への提言を行うとともに、メンバー全員が人生を楽しむことが必要であると思う。

### 現教育部会長 会員 No520 守屋 雅夫氏 ～教育事業部の設置を提案～



D Fに入り10年、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。この組織のすばらしい活動の中で私が一番長く携わってきた教育に関する新たな事業展開を提案させていただきます。

授業支援の会は「グローバル化する世界」「創造性の大競争時代」に向けてキャリア教育を実施、理科実験グループは子供達に、科学の面白さを体験させ、科学的知識を習得させることを目的に活動しています。D F会員参加者は総勢98名。その活動実績は昨年参加児童数が理科実験8,355名、授業支援の会10,190名です。

文科省が力を入れている、実社会の経験豊かな講師の協力を得て、教員ではできない社会教育を教育現場で実施したいとの方針のもとに我々の活動は高く評価されています。しかし、我々の活動は先方より依頼があれば成立する授業です。時には学校関係者から直接依頼を受けることもあります。課外授業を企画し我々に依頼をしてくるNPO団体より依頼されるものも多くあります。

新たな事業部、「教育事業部（仮称）」を作る提案です。社会貢献事業として小中高に対しキャリア支援・企業体験プログラムを提供する事業です。この事業部は現在の理科実験・授業支援の活動のように実際に授業の現場に立つのではなく、プログラムの企画提案を行い学校等から授業・イベント等の受注を得て理科実験グループ・授業支援・企業支援等に仕事を得る事業です。このような企業は数多くありますがD Fの人材の豊かさ、教育に関する経験の中からD Fらしい新たな事業が生み出されるものと思います。

## 第六章 「外」から見たディレクトフォース

### 福島県南相馬市長 桜井 勝延様



このたび、一般社団法人ディレクトフォースが創立15周年を迎えられ、記念誌を刊行されますことを心からお慶び申し上げます。

当市は平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、日常生活が一変し、学習環境においても、児童の避難や仮設校舎への移転など、大きな影響を受けました。

そのような中、小学生を対象にした理科実験の実施という形でご支援をいただき、学習機会の充実に尽力していただきました。平成27年からの2年間で、計29回、730名に及ぶ児童を対象に、「飛行機を飛ばそう!」や「電池!」といった興味深い講座を開催いただき、そのしくみや歴史について、子供たちにもわかる言葉で丁寧に解説していただきました。

これらの経験はひとりひとりの中に蓄積され、今後の学習や生活においても活かされ、より大きな知識に発展する非常に重要なものであり、これまでの皆様のご支援に深く感謝申し上げます。

近年の科学・情報技術の進展は目覚ましいものがあり、我々の生活環境の利便性も大きく向上して参りました。子供たちには、理科実験を通して、科学への夢や興味を持ち続け、自らの想像力を養うとともに、さらなる科学技術の発展に寄与する人材となってくれることを期待しております。

結びに、一般社団法人ディレクトフォースのさらなるご活躍と会員の皆様のご健勝を祈念いたしまして、挨拶いたします。

### 獨協大学経済学部教授 上坂 卓郎様

平尾光司様に獨協大学でもDFの派遣講義を是非やりなさいと強く薦められて以来、今日まで続けている全学総合講座「経営者が語る現代企業論」は名物授業になっており、受講学生数は2004年度から今年度までで延べ7,000名ほどになります。

この全学総合講座は、一、二年生を対象とした旧教養部の科目群の一つで、幅広い観点から産業・企業の理解や社会人になるための勉強をしてもらう目的でスタートしたものです。講師の方は全員DF会員、大企業OBでしかも上品な方々なので、最初は難しいお話をされるのでは、受講態度を叱られるのではと危惧しましたが、講師の皆さんとも優しい語り口の講義で、資料も専任教員顔負けの立派な充実したもので、学生の満足度も高い講義となっています。

この間、経済はリーマンショック、東日本大震災、欧州債務危機など不測の大変動があり、目下は行き過ぎた資本主義による格差への反省、反自由主義を掲げるポピュリストの台頭など方向感の見えない社会になっています。

大学に入学したばかりの学生に、グローバルな社会に乗り遅れるな、語学は必須だと我々もつい教えておりますが、一方でその先にある未来を明確に示すことが難しくなっております。今これをやれば、明日はこうなれる。それほど明確な単線的未来観はもう持てないのかも知れませんが、若者に夢や希望を与えられるようなお話を頂けると大変勇気が湧くように感じます。厳しいけれど、希望の時代を生き抜いてこられた先人の知恵を少しでも講義を通じて今の学生に伝えてくださることをこれからも大いに期待しております。

### 東京都市大学工学部教授 大上 浩様



本学の機械工学科では、エンジニアが携わる仕事に関する法律について「エンジニアと法律」という授業を行っていました。学生には好評でしたが、非常勤講師としてお願いしていた先生の急逝により、開講出来ない年が続いていました。この授業については再開を希望する学生の声が多くありましたが、適当な講師が見つからず、再開の見通しを立てられずにいました。

2004年のことでした。本学の卒業生で会員でもある方から紹介して頂き、アカデミー事業部の合田隆年先生にご相談しました。合田先生との意見交換の中から、オムニバス形式とし、それぞれのテーマについて会員から適当な方に担当して頂くという授業計画を5月には作り上げることができました。この年の時間割には入っていなかったのですが、来年度まで開講を遅らせるのはもったいなく、後期の授業に3年生の科目として急遽組み込みました。予算も少なく、先生方の講義に見合う謝礼ができないとご相談したところ、「工学部の若い学生さんのお役に立つのであれば、それだけで十分です」と言って頂き、7名のディレクトフォース会員の先生方によって1年目の授業を始めることが出来ました。時間割にない科目であるにもかかわらず、学年の約半数の学生が受講してくれました。

13年目の授業を今年度も行うことができました。この授業は2002年設立のディレクトフォースと、ほぼ一緒に歩んできたこととなります。これまでに「エンジニアと法律」の授業は少しずつ変化していますが、担当して頂く先生方の熱意は開講以来ずっと変わっていません。毎年行う授業アンケートでも学生の満足度は高く、受講した学生全員が「後輩に受講を勧めたい授業」と答えてくれています。授業の立ち上げから係っている私にとって自慢の授業です。

### NPO スカイ学校支援ネットワークセンター理事長 森本 芳男様



創立15周年おめでとうございます。ディレクトフォースの皆さまから墨田区学校支援事業にご協力を頂くようになったのは、今から6年前の平成23年度でした。その時の出前授業メニューは「 Etaノール舟を走らそう」、「紙飛行機を飛ばそう」の2つでした。翌24年度には、それに加え「冷却パック」、「ほかほかカイロ」、「墨流して絵葉書」、「表札を作ろう」と経営者による「国際理解教育」、「キャリア教育」の合計8つの授業メニューを提供していただきました。(現在10授業メニュー)

私も何度か皆さまの出前授業を見学させていただきました。一回の授業に7～8名の講師の方が参加され、子どもたちの中に入り丁寧に作業・実験の指導をしてくださいました。子どもたちは喜んで授業に参加し、新たな発見やできた喜びで歓声を上げる姿に心から感動いたしました。

理科実験グループの授業のねらいには、「ものを作る楽しさだけでなく、実験や体験を通して、問題解決の能力を育てるとともに理科や工作への興味や関心を高める」とあります。学校の教員も授業で様々な実験や体験をさせたいと願っています。しかし、道具の準備や人手が不足し十分な実施が困難であることも現実で、皆様方のご協力には大変感謝しております。

現在の子どものための課題である「理科離れ」を克服し、実験や体験の楽しさを体験させ、自ら考え、自ら行動する力を育てることは、これからの時代を生きる子どもたちには大変意義あることと考えます。教育に関するものとしてディレクトフォースの皆様の温かなご指導・ご支援に心より感謝申し上げます。今後ともよろしく願います。

## 練馬区立田柄小学校校長 清水 誠様



「理科離れ」という言葉が出始めてもう久しくなります。東京都の「理数フロンティア校」に指定されていた練馬区立大泉学園小学校で勤務していた私は、日々、理数教育の振興に向けた取り組みを考えていました。ちょうどそこにディレクトフォース理科実験グループの皆さんとの出会いがありました。

学校側とディレクトフォースの皆さんとの理科教育に対する思いは一緒でした。目の前の子ども達に理科実験の楽しさを体験させ、限らない好奇心を刺激するところがありました。夏休み中の子ども達への理科実験教室、科学クラブへの出前実験授業、そして3年生の蝶の生態を取り上げた授業を1年目の取り組みにしました。毎年、様々な実験内容を用意して学校を訪れていただくため、すっかり子ども達にも保護者にもおなじみの実験教室が開かれるようになりました。また、今年度私が異動した練馬区立田柄小学校でも継続した関係が行えているのは、大変ありがたいことです。

ディレクトフォースの皆さんの取り組み姿勢には、いつも感服させられます。専門的な知識・技能をわかりやすく子ども達に教えようと、日々努力されていること。また、チームで一つの実験テーマを指導する態勢を組み、年々そのレパートリーが増えつつあります。一方、学校教育にどのようにかわり、理科教育をサポートできる存在になれるかが今後の課題となります。これからも積極的に学校現場に入り探っていくことで、道が開けていくはずで、ディレクトフォースの皆様の変わらぬ熱意に期待しつつ、これからも良きパートナーとしての関係を深めていきたいと願っています。

## 科学技術館運営部副主任 早武 真理子様



理科実験グループの皆さま、ディレクトフォース創立15周年おめでとうございます。科学技術館で実施していただく理科実験は、小学校高学年を中心とした会員制のグループのサイエンス友の会を対象に、一回完結の教室形式で年間8回程度実施していただいています。初めて実施していただいたのが2011年6月。その時から私は担当として同席させていただきました。

私からみた皆さまの理科実験は、皆さま個々人の強みである「専門性」を生かし、真理を追究して科学的な現象や社会や生活の中での位置づけ等、正確で間違いが無い、聞いている子供たちは納得して耳を傾けているという素晴らしい内容です。しかしその反面、細部まで追求するが故に子どもには理解しづらい語彙を用いたり、難しい説明になってしまう等も見受けられたりもしました。担当者として、理科実験をただ実施していただいてそれで終わりとはしたくなかったので、教室実施後に改善点等をフィードバックさせていただくようにしました。ともすると理科実験教室のような活動は実施者の自己満足で終わりになりがちですが、皆さまは常に改善点を検討し、必要な所はすぐに修正されるなど“誰のための理科実験なのか”を常に念頭に置く事を大切にしていると強く感じています。

理科を学ぶことは単純にその現象の理解だけでなく、社会に生かされる技術とも密接に関わっていることを知ることができます。未来を担う子どもたちが理科に親しみ、興味を持つことはとても大切なことであり、それを目指しているディレクトフォースの理科実験活動は本当に意義のある活動だと思います。

皆さまの活動がこれからも益々発展されることを祈念いたします。

### 田園調布学園中等部・高等部 土曜プログラム係主任 塚田 清和様

ディレクトフォースが創立 15 周年を迎えられることを心よりお喜び申し上げます。本校の「土曜プログラム」の講師陣としてご指導いただいて今年度で 3 年になります。本プログラムには、生徒が一人ひとり自由を選択する「マイプログラム」と、発達段階に応じて学年固定でおこなう「コアプログラム」とがあります。

「マイプログラム」では、さまざまな地域のものの見方や考え方に触れ、知見を広げることを目標とする講座「視野を世界に～企業経験者に学ぶ」の講師としてご指導いただいています。商社や金融、食品などのさまざまな分野で活躍された方々が、グローバル社会で活躍するために大切なこととは何かをお話くださり、生徒のアンテナが高く伸びてきました。「コアプログラム」では中 1 には、未来の可能性を広げることを到達目標とする講座「自分を知る」を、高 1 には、テーマ「世界を知る」の一環として、対話の中で納得解を出して、複眼的な思考を育むことを目標とした「イノベーション・コンテスト」を担当していただいています。

これらの講座を通じて、経験と個性が豊かな先生方がこれから必要不可欠と異口同音にお話しされることは、「母国語をしっかりと学ぶこと」、「自分の国のこと、自分自身のことを語れること」です。生徒は英語ができること、外国の文化を知ることがグローバル化だと考えがちですが、皆様の実体験に根ざしたお話に興味深く耳を傾け自分を見つめています。

講師の先生方には、本プログラムを通して、生徒の視野を広げることに大いにご尽力いただけてまいりましたことに改めて、感謝申し上げます。知識を活用し、思考力、判断力、表現力などの「21 世紀型スキル」を育てることが教育に求められる今、日本の将来を担う若者たちを育てるため、更なるご活躍を祈念しております。

### 仙台第二高等学校 主幹教諭 若林 春日様

ディレクトフォースが 15 周年を迎えられるとのことお慶び申し上げます。私は宮城県仙台第二高等学校の主幹教諭若林春日と申します。記念誌に寄稿させて頂けることを、とても光栄に感じております。

「自己完成は他の完成を助くることに依って成就す；自他共栄が人類共栄の基なり」2 回の夏季プログラムを終えて、嘉納治五郎の言葉を思い出しました。D F 講師陣の充実した表情と生徒達の真剣なまなざしが印象に残っています。

私は 2 年前に D F 「授業支援の会」を知りました。現在、グローバル教育が時代の要請となっています。そして本校は世界を相手に活躍する人材の育成が期待されている学校です。しかし、仙台という地方都市でグローバルリストと触れ合う機会はほとんどありません。是非、D F の方々の経験談を生徒達に聴かせたいと思いました。会場の問題があり難しい案件だったのですが、盤若様、藤村様を中心に仙台二高「夏季プログラム」が企画されました。越川様と長崎様のご厚意で三菱商事(株)と新日鐵住金(株)の CSR 部門にお声掛け頂き、2015 年 8 月 5 日に第 1 回が開催されました。本校生徒 150 名が参加し活発な意見交換が行われました。さらに、笹川平和財団・日本財団との共催で 2016 年 8 月 3 日に第 2 回が開催されました。遠藤様のご尽力で財団会長の田中伸男様から基調講演を頂くことができました。いずれの回も大盛況に終わりました。D F の皆様からは生徒達に志の大切さを伝えて頂きました。将来生徒達は必ず皆様の姿を思い出し、どこかで活躍すると信じています。

本当に有り難うございました。ディレクトフォースの今後益々の発展を心よりお祈り申し上げます。

## 東京都立昭和高等学校 主幹教諭 西村 和美様 — 出会いの奇跡に感謝を込めて —

15周年おめでとうございます。ディレクトフォース様と私ども東京都立昭和高等学校および多摩地区高等学校進路指導協議会との出会いは、平成24年12月1日の一筋の糸のような幸運に始まります。この日は、東京都教育委員会主催「教育支援コーディネーター・フォーラム」が都庁で開催されていました。その午後の交流会「ワールドカフェ」で偶然出会ったのが企業支援事業部をご担当されている越川頼知様でした。自己紹介と名刺交換が精一杯の短時間の中で、「私達には先生の思いに応えられる自信がありますよ。よければ後で。」と言ってくださったお言葉が心に残り、閉会后急いでもう一度お席をお尋ねしたことが今日の全ての始まりでした。



2013年昭和高校でのパネルディスカッション

以来、越川様を通じて藤村峯一様・遠藤恭一様を中心に、D F皆様のご対応の機敏さに驚かされながら、昭和高校のみならず、多摩地区高等学校進路協議会の総会等にもご参加を頂き、高校関係者の間にご支援の輪を拡げて頂きました。「学校」が閉じた空間になりやすい一因に、私共のような一介の教員が皆様のような方々に接触させて頂けるのかという戸惑いがございます。そんな遠慮・戸惑いを無用なものだと払拭して下さった皆様方の温かく大きなご姿勢こそが、新しい時代

に向けて在り様を変えていかねばならない学校にとって何よりのご支援と感じております。

私ども教員は多くが大学からすぐに学校現場に戻っているのですが、「将来生きるために学ぶ」といっても社会の実態を詳らかに知り得ません。結果、進学先を選ぶ際に資格系学部志向が増えたり就職実績だけが選択の指標になったりしています。現在D F様のご支援を受ける中で、生徒たちが生きることと学ぶ意義を課題解決の喜びの中で実感していること、この経験の意味の大きさを改めて噛み締めます。皆様の益々のご発展の中で、次代を担う若者たちを共に育てていく関係を一層充実して頂けますことを深い感謝とともに心より願っております。

### 三優監査法人 統括代表社員 杉田 純様



一般社団法人ディレクトフォース様が2002年に前身の有限責任中間法人として創設以来、15周年を迎えられるにあたりお祝いの言葉を述べさせていただきます。

ディレクトフォース様が役員・世話人の幹部の方々の永年のご努力と献身、そして550名を超える会員の皆様の熱意により社団の存続はもとより、今日、他に類を見ない多角的な活動を行ってきたことを、普段、社外監査役・取締役の在り方をテーマとした研修をお手伝いしてきた経緯から外部の専門家として敬意を表したいと思っております。

現在、日本経済は多くの課題を抱えておりますが、ここ数年のアベノミクスによる日本経済・企業の再興戦略は、曲がり角を迎えており、昨年には改めて日本経済がその構造的問題を克服し再成長へ向かうため、「働き方改革」と「構造改革」を柱とする施策を打ち出しました。この政策は経済の基礎体力ともいえる「潜在成長率」の引き上げを狙いとするものです。そもそも潜在成長率は、経済の供給側の状況を示すものであり、投入する資本、労働、そして技術革新による生産性改善の3つの伸びを源泉とします。日本の潜在成長率は、1980年代は4.4%の高い水準にあったが、'90年代には1.6%へ下がり、労働の寄与度もマイナスになっていた。2000年代に入ると資本の寄与度も下がり、0.8%と1%を割込む水準になっている。本来、経済成長率は消費や投資といった需要側の要因で決まるが、供給面の制約が成長の足かせになる可能性があるのです。ドイツでも、生産年齢人口の減少から労働の潜在成長率への寄与がマイナスとなっているが、資本の寄与度が大きく現在、日本の倍近い状況です。結果として、政府は昨年の骨太方針で「生産性・イノベーション力」を引き上げ、「働き方改革」により潜在成長率を引き上げることを決めました。



連続10回目に及ぶ杉田先生の講義風景

少子高齢化は進んでおり、今まさに、ディレクトフォースの会員の皆様の過去の経験をベースとした知見が多くの企業に必要とされております。それは会計不祥事を予防するコンプライアンスの領域であり、第4次産業革命に代表されるITによる新しい産業構造、サプライチェーンの構築などによる経済全体の生産性向上など幅広い分野であります。是非、今後共、研鑽を続けられ迷える日本企業への良質の知見の提供と指導をお願いしたいと思っております。

## 株式会社ヒューモニー 前社長 高野瀬 明郎様



一般社団法人ディレクトフォース様の創立15周年に際しまして、心よりお慶び申し上げます。お陰様で弊社も今年、平成29年2月22日に創業15周年を迎え、D F様とのとても深いご縁を感じております。

D F様とは大変長いお付き合いをさせて頂いておりますが、企業紹介等の営業のご支援を中心にお世話になっており、そのご支援により弊社はこれまで主力ビジネスの電報ビジネスを順調に成長させることが出来ました。弊社のようなベンチャー企業にとっては、限られたリソースで経営を行っているため、営業活動に対しても少人数での対応を余儀なくされております。また社名、サービス名も世の中に十分に浸透していないため、法人営業のハードルは高く、とりわけ日本を代表するような大企業等にいたってはアポを取ることも難しい状態です。D F様の会員の方々は、企業経営の中核を担われてきた方、幅広い多様な人脈をお持ちの方ばかりで、弊社はD F様との大変幸運な出会いにより、D F様からの企業紹介（営業同行を含む）等を頂いてきました。

弊社も創業15周年の節目を迎え、今後は現在展開している電報サービス、生花サービスだけでなく、慶弔関連サービスへと事業領域の拡大を図っていきたく考えています。今後は、D F様がお持ちの「深い実践的経験」、「幅広い知見」、「多様なネットワーク」等により、営業面でのご支援だけでなく、新規事業立ち上げ、新規販路拡大、事業提携先の発掘等のご支援、更にはM&Aのご支援等、様々な形で広範囲なご支援を賜ることが出来ればと心よりお願い申し上げます。末筆ではありますが、D F様の今後の益々のご発展を祈念しております。

## モバーシャル株式会社 副社長 川合 泰祐様



この度、一般社団法人ディレクトフォースの創立15周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。弊社、モバーシャル株式会社は2007年に設立したWEB動画制作会社です。

現在に至っては、数多くの動画制作に携わっておりますが、設立当初はまだ名前も実績もないベンチャー企業でした。大手企業クライアントとの取引など、特にこれといったパイプもない中で、貴団体のネットワークを活用して門戸を開き、顔合わせの場を設けていただけただけのことは、私たちのようなベンチャー企業にとっては大きな支

援となっていました。

企業の紹介以外にも、多くの営業としての知見を私たちに与えていただいております。モバーシャルがここまで企業として成長できたのは、偏に貴団体の多大なるお力添えがあったからです。

これからは引き続き、今まで通りのご支援をお願いしたいと共に、貴団体が、現役大学生を対象にした講義・講演活動もされているということをお伺いしているので、今後はそうした繋がりを活用した、学生の採用に関する新しいお取り組みがありましたらお聞かせください。

いろんな方に声をかけていただき、様々な場所へお誘いいただいておりますが、その際は必ずといって良いほど、健康のお話をされております。お体には十分お気をつけて、これからもみなさま元気に、100歳を迎えられるよう、願っております。

最後になりましたが、一般社団法人ディレクトフォースの一層のご発展とご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

## おわりに

### 新たな展開を目指して ディレクトフォース代表理事 真瀬 宏司



この度のディレクトフォース創立15周年記念誌発刊に際し、浅野企画・運営委員長を初めとするチーム・メンバーの皆さまが一丸となり取り組まれたこと、特に編集責任者の高野氏の献身的なご尽力に心からお礼を申し上げます。おかげさまで期待通りの記念誌となり、まことに喜びに絶えません。

この15周年記念誌では、DF設立当初のご苦労や、創立15周年を迎えた現在に至る関係各諸氏のご努力や、DFへの熱い思いが取り上げられています。

すなわち、今や、DFの顔に成長している教育部会、とりわけ「化学賞2016」を受賞した理科実験グループや授業支援の会、環境部会の地球環境への取り組みを次世代へと繋ぐ熱い想い、技術部会メンバーの工夫の数々、監査役部会から企業ガバナンス部会へと発展させた知恵と工夫、人材紹介などのビジネスを通じて展開しているDFMの組織継続への努力、各研究会のそれぞれの特徴を生かした活動、新しい人間関係を紡ぎ出す21の同好会などなど、数え上げられないほどの内容が盛り込まれています。

そして、この記念誌を通じて寄せられた会員の皆さまの熱い想いが、新旧を問わず広く会員諸氏に確実に伝えられ、DFのさらなる発展のために役立つものと期待しています。

今後は、着実に会員を増やすこと、会員の皆さまのDFへの積極的な参画、事務局スタッフの献身的な努力が求められます。特に女性会員の増強、ベンチャー企業支援の実績作り、組織のグローバルな展開等が必須とされます。そのためには、DF自身の認知度のアップを図ることは勿論、志を同じくする他団体との緊密な協業も必要でしょう。

近々考えられている、若手会員の「5年後10年後のDFづくり」を目指したチーム発足の際には、この記念誌が十二分に活用されることを期待しています。

昨今、世界情勢は自分中心の考えが重きをなしつつありますが、そんな中、「社会貢献」と「自己研鑽」「交友の輪の拡大」を目指して、我々のDFが更なる飛躍をして行くよう熱望しています。

### 編集後記 記念誌編集小委員会

座談会出席者並びに執筆者の皆さまの多大なご協力によりディレクトフォース創立15周年記念誌を発刊できることを会員の皆様と喜び合いたいと思います。ディレクトフォースがお世話になってまいりました南相馬市長様をはじめ大学や学校の先生方、ベンチャー企業経営者、監査法人統括代表の皆さまからは、ご多用の中、執筆の労を取っていただき、心温まる励ましのメッセージをいただきました。厚く御礼申し上げます。

創立以来15年の幅広い分野での当法人の会員の活動は、他の同様の組織と比較して類のない価値を生み出して来ました。その活動の一端を皆さまの参画により記念誌としてまとめられたことは編集者一同の喜びです。「資料編」の作成にあたっては、初代事務局長の横井時久氏が記録された貴重なレポート「ディレクトフォースの歩み」をもとに、DF各部会、DFM各事業部のご協力をいただいて進めました。資料が整理されていない組織もあり、中には記録間違いや記録漏れがあるかもしれません。お気づきになった点があれば、後日、事務局にご連絡いただくようお願いします。

本記念誌が今後、皆さまに活用され、より充実した活動に資することを祈念します。

記念誌小委員会 猪狩惇夫 高木健次 高野直人

# 資 料 編

## = 目 次 =

|                                     |       |
|-------------------------------------|-------|
| 資料1 一般社団法人ディレクトフォース及び(株)DFマネジメントの歴史 | P. 1  |
| 資料2 「講演・交流会」の講演実績                   | P. 7  |
| 資料3 「企業ガバナンス部会(旧監査役部会)」の講演・研修実績     | P. 14 |
| 資料4 「環境部会 環境セミナー」の講演実績              | P. 19 |
| 資料5 「技術部会」の講演・見学実績                  | P. 23 |
| 資料6 「技術部会 経済・産業懇話会」の講演実績            | P. 27 |
| 資料7 「食と農業研究会」の勉強会・工場見学実績            | P. 30 |
| 資料8 広報活動の実績(主要掲載記事)                 | P. 31 |

各部会の諸活動は2016年12月末までのものを記録している。

資料1 一般社団法人ディレクトフォースおよび(株)DFマネジメントの歴史

注:会員数は実働会員数。原則として年度末(8月末)の人員数を記載

| 年度            | ディレクトフォース(DF)の活動 | 会員数                                    | (株)DFマネジメント(DFM)の活動                                                                                     | 政治・経済・社会の主要な出来事                                                                                                                                                                                                                                      |                                                               |                                   |                            |
|---------------|------------------|----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------|
| 2002年<br>H14年 | 1月               | 62                                     | 注釈1:(株)DFマネジメントの各事業部の活動は会社設立前であっても便宜的にこの欄で記録する。<br>注釈2:パソナグループを除き支援先の企業名は開示しない。                         | 2001/4~ 自民党小泉第一次内閣                                                                                                                                                                                                                                   |                                                               |                                   |                            |
|               | 2月               |                                        |                                                                                                         | 2月:ソルトレークシティ冬季オリンピック開催 日本金メダル無し                                                                                                                                                                                                                      |                                                               |                                   |                            |
|               | 3月<br>~<br>7月    |                                        |                                                                                                         | ◇発端:南部靖之氏と長富祐一郎氏との会談。(3月頃)<br>◇本格的な組織体制の整備にあたって水野勝氏を招聘<br>株式会社論:利益追求組織ではないため不採用 vs NPO法人論:運営上の制約多く不採用。→新制度の中間法人検討                                                                                                                                    | 4月:中間法人制度施行<br>4月:小・中・高校 完全週五日制へ                              |                                   |                            |
|               |                  |                                        |                                                                                                         | ◇9名による世話人会発足:<br>南部靖之、長富祐一郎、給田英哉、水野勝、石河正樹、小林昭生、棚橋泰、平尾光司、高橋湊夫の各氏                                                                                                                                                                                      | 5月:日韓共催FIFAワールドカップ<br>5月:ロシア プーチン大統領就任<br>5月:会社法改正:指名等委員会設置会社 |                                   |                            |
|               | 8月               |                                        |                                                                                                         | 23日 南部靖之・高橋湊夫・水野勝3者会談で中間法人設立決議<br>29日 世話人会で中間法人設立を決定<br>発起人21名および顧問4名の選任                                                                                                                                                                             |                                                               |                                   |                            |
|               |                  |                                        |                                                                                                         | 事務所開設 赤坂8-7-15 アンフィニビル<br>24日 有限責任中間法人ディレクトフォース設立 拠出金800万円(出資者ベンチャファント サウスルーム)<br>代表理事:水野 勝氏就任<br>事務局長:横井時久氏就任<br>* 世話人9名が「社員」に就任<br>* 監事に高橋湊夫氏就任<br>* ロゴ等はNY在のデザイナー河野能美氏が作成<br>* 会員の入会金を2,000円と決定<br>* 決算期間は9月1日~翌年8月31日<br>27日 設立パーティ 於渋谷東急エクセルホテル |                                                               | 第1回日朝会談                           |                            |
|               | 10月              |                                        |                                                                                                         | 17日 日経新聞紙上にディレクトフォースの紹介記事が掲載                                                                                                                                                                                                                         |                                                               | 北朝鮮拉致被害者5人一時帰国<br>ノーベル賞:小柴昌利、田中耕一 |                            |
|               | 11月              |                                        |                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                               | 中国 習近平総書記就任                       |                            |
|               | 12月              |                                        |                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                      | アカデミー メンバ-24名による初会合                                           | 大納会日経平均 8,578円                    |                            |
|               | 2003年<br>H15年    |                                        |                                                                                                         | 1月                                                                                                                                                                                                                                                   | 第1回総会 基調講演 南部靖之氏「雇用はこう変わる」 会員数52名(爾後、総会は3ヶ月毎に開催)              | アカデミー 初講義 於曙ブレーキ講師藤井篤「売れる商品づくり」   |                            |
|               |                  |                                        |                                                                                                         | 2月                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                               | ベネフィット・ワンとの業務委託契約締結(営業支援)         |                            |
|               |                  |                                        |                                                                                                         | 3月                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                               | アカデミー 大学講義に関する勉強会                 | PC普及率70%、インターネット利用率80%を超える |
| 4月            |                  | 第2回総会 基調講演 藤澤義之氏「リスクの中でロマンに生きる」        | アカデミー 初の大学での講義(一橋大学大学院)                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                               |                                   |                            |
| 5月            |                  | 中間法人DFとして「有料職業紹介資格」許可(人材紹介事業スタート)      |                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                               |                                   |                            |
| 6月            |                  |                                        |                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                               |                                   |                            |
| 7月            |                  | 入会方式追加:「発起人・世話人」紹介方式に「会員」紹介方式を追加       |                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                               |                                   |                            |
|               |                  | 第3回総会 基調講演 村上和雄氏「眠れる遺伝子を目覚めさせる」        |                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                               |                                   |                            |
| 8月            |                  |                                        |                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                               |                                   |                            |
| 9月            |                  | 創立記念ゴルフ大会 於 習志野カントリークラブ<br>工場経営支援チーム発足 | コンサルティング分野で9つの「タスクフォース」発足<br>1事業:営業戦略、2企業財務戦略、3工場経営支援、4リスクマネジメント、5人材育成、6海外進出支援、7ベンチャービジネス、8企業再生、9知的財産評価 |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                               |                                   |                            |
| 10月           |                  | 知的財産評価チーム発足(工場経営支援チームと共に技術部会の母胎)       | アカデミー 初のオムニバス講義 於横浜市立大学商学部                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                               |                                   |                            |
|               |                  | 第4回総会 基調講演 谷 勝治氏「海の安全保障」               | コンサル事業 投資ファンドX社と第一号の顧問契約                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                               |                                   |                            |
| 11月           |                  | アカデミー 初の公開講座「模擬取締役会」(拓殖大学と文京区の共催)      | 新型肺炎(SARS) 中国で発生                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                               |                                   |                            |
| 12月           |                  |                                        | 大納会日経平均 10,676円                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                               |                                   |                            |

| 年度            | ディレクトフォース(DF)の活動 | 会員数 | (株)DFマネジメント(DFM)の活動                                                                            | 政治・経済・社会の主要な出来事                                        |                              |                 |
|---------------|------------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|------------------------------|-----------------|
| 2004年<br>H16年 | 1月               | 176 | 23日(株)DFマネジメント第1回取締役会                                                                          |                                                        |                              |                 |
|               | 2月               |     | (株)DFマネジメント活動開始<br>* 資本金2,000万円<br>* 株主はサウスルームとプランモアの2社<br>* 4営業チーム設置 アカデミー、サーチ、コンサルティング、ベンチャー |                                                        |                              |                 |
|               | 3月               |     | アカデミー 鎌倉市民講座開始                                                                                 |                                                        |                              |                 |
|               | 4月               |     | コンサル事業 整理回収機構から企業再生依頼。成功裡に収束                                                                   |                                                        |                              |                 |
|               | 5月               |     | アカデミー 東京東ロータークラブ講演                                                                             | 第2回日朝会談 子供5人帰国                                         |                              |                 |
|               | 6月               |     | 「食と農業研究会」拓殖大学で公開講座「食の安全を考える」                                                                   |                                                        | 新たに10カ国がEUに加盟                |                 |
|               | 7月               |     | 第7回総会 基調講演 酒井啓子氏「主権委譲後のイラクが抱える課題」                                                              |                                                        |                              |                 |
|               | 8月               |     |                                                                                                |                                                        | アテネオリンピック:柔道野村忠宏 三連覇         |                 |
|               | 9月               |     | 特別勉強会 水野代表理事「ディレクトフォースの行方を考える」                                                                 | コンサル分野の9つのタスクフォースを4つに再編<br>①経営全般 ②技術・工場 ③人材育成 ④ベンチャー支援 |                              |                 |
|               | 10月              |     |                                                                                                |                                                        | 新潟中越地震(M6.8)                 |                 |
|               | 11月              |     |                                                                                                | コンサルチーム横断の「マーケティング・チーム」発足                              |                              |                 |
|               | 12月              |     |                                                                                                |                                                        | 大納会日経平均 11,488円              |                 |
| 2005年<br>H17年 | 1月               | 220 | 入会金制度を廃止し、年会費12,000円制度へ移行<br>第8回総会 基調講演 尾池和夫氏「なまずと地震と私と」<br>以降、総会は半年毎の開催へ                      |                                                        |                              |                 |
|               | 2月               |     | 4日 事務所移転 千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル                                                                 |                                                        |                              |                 |
|               | 3月               |     | アカデミー 米国ポートランド大学院(MIM)日本研修受入(第1回) 継続中                                                          | 愛知万博開幕                                                 |                              |                 |
|               | 4月               |     | ベンチャー支援 第一号Y社(IT企業)支援開始                                                                        | JR福知山線脱線事故 107名死亡                                      |                              |                 |
|               | 5月               |     | パソナとの営業支援業務委託契約                                                                                |                                                        |                              |                 |
|               | 6月               |     |                                                                                                |                                                        |                              |                 |
|               | 7月               |     |                                                                                                |                                                        |                              |                 |
|               | 8月               |     | 24日 創立3周年記念懇親会 於パレスホテル                                                                         | 317                                                    | コンサル 大手不動産外資とのコンサルティング契約     | 小泉内閣 郵政解散       |
|               | 9月               |     | 「監査役部会」第1クール(基礎編)開始<br>同好会の世話役会議開催:11の同好会を認定                                                   |                                                        |                              |                 |
|               | 10月              |     | 「5人委員会」発足(森本チーム、坪井チーム)⇒DF組織のあり方答申                                                              |                                                        | アカデミー JATCAFA主催トルコ研修への講師派遣開始 |                 |
|               | 11月              |     |                                                                                                |                                                        |                              |                 |
|               | 12月              |     | 監査役部会第1クール(応用編)開始                                                                              |                                                        |                              | 大納会日経平均 16,111円 |
| 2006年<br>H18年 | 1月               | 310 | 第9回総会 基調講演 大星公二氏「経営は知的挑戦」                                                                      | ライブドア・ショック                                             |                              |                 |
|               | 2月               |     |                                                                                                | トリノ冬季オリンピック:荒川静香金                                      |                              |                 |
|               | 3月               |     |                                                                                                |                                                        |                              |                 |
|               | 4月               |     | 監査役相談室設置                                                                                       | コンサル 投資ファンド8社と契約                                       | 郵政民営化法施行                     |                 |
|               | 5月               |     |                                                                                                | パソナフォーチュンへの支援開始                                        | 改正会社法施行                      |                 |
|               | 6月               |     | 広報活動本格化(常信氏就任)                                                                                 |                                                        |                              |                 |
|               | 7月               |     |                                                                                                |                                                        | 日銀ゼロ金利政策解除                   |                 |
|               | 8月               |     | 第10回総会 基調講演 中山恭子氏「拉致問題に関わって」                                                                   | 367                                                    | 1年間の人材紹介実績 求人85社⇒採用26社・33名   |                 |
|               | 9月               |     | 会員誌「DF NOW」創刊                                                                                  |                                                        | 「ベンチャー部会」発足                  | 自民党第一次安倍内閣      |
|               | 10月              |     |                                                                                                | コンサル事業からベンチャー事業独立                                      |                              |                 |
|               | 11月              |     |                                                                                                |                                                        |                              |                 |
|               | 12月              |     |                                                                                                |                                                        |                              | 大納会日経平均 17,225円 |

| 年度            | ディレクトフォース(DF)の活動 | 会員数 | (株)DFマネジメント(DFM)の活動                                                                                                                | 政治・経済・社会の主要な出来事                                                                                                |                                      |
|---------------|------------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 2007年<br>H19年 | 1月               | 433 |                                                                                                                                    | 防衛庁から防衛省へ改組                                                                                                    |                                      |
|               | 2月               |     | 第11回総会 基調講演 柿本寿明氏<br>「日本経済の展望」                                                                                                     | 年金記録問題発生                                                                                                       |                                      |
|               | 3月               |     |                                                                                                                                    |                                                                                                                |                                      |
|               | 4月               |     |                                                                                                                                    |                                                                                                                |                                      |
|               | 5月               |     |                                                                                                                                    |                                                                                                                |                                      |
|               | 6月               |     | 「環境問題研究会」(現 環境部会)発足                                                                                                                |                                                                                                                |                                      |
|               | 7月               |     |                                                                                                                                    | 新潟中越沖地震(M6.8)                                                                                                  |                                      |
|               | 8月               |     | 第12回総会(創立5周年記念) 於 パレスホテル<br>基調講演 ロバート・フェルドマン氏<br>「日本経済はリセットなるか」<br>代表理事水野勝氏⇒田中健一氏<br>事務局長横井時久氏⇒河村肇氏<br>千代田区桜再生計画に50万円を寄付(半分は会員が拠出) |                                                                                                                |                                      |
|               | 9月               |     | 入会者数500名突破                                                                                                                         |                                                                                                                | 自民党福田内閣<br>金融商品取引法施行                 |
|               | 10月              |     | 「緑のボランティア」活動開始 草津大会へ参加                                                                                                             |                                                                                                                |                                      |
|               | 11月              |     |                                                                                                                                    |                                                                                                                |                                      |
|               | 12月              |     |                                                                                                                                    |                                                                                                                | 大納会日経平均 15,307円                      |
| 2008年<br>H20年 | 1月               | 510 |                                                                                                                                    |                                                                                                                |                                      |
|               | 2月               |     | 第13回総会 基調講演 二宮清純氏<br>「今年のスポーツ界の展望」                                                                                                 |                                                                                                                |                                      |
|               | 3月               |     | 創立5周年を記念して竹橋に寒緋桜3本を植樹(50万円相当)                                                                                                      |                                                                                                                |                                      |
|               | 4月               |     |                                                                                                                                    | 後期高齢者医療制度発足                                                                                                    |                                      |
|               | 5月               |     |                                                                                                                                    |                                                                                                                |                                      |
|               | 6月               |     | 同好会の数が11から16へ増加                                                                                                                    |                                                                                                                | 秋葉原通り魔事件 死者7人                        |
|               | 7月               |     |                                                                                                                                    |                                                                                                                |                                      |
|               | 8月               |     | 会員と事務局間の意見交換会を実施<br>7月～10月の間で97名参加                                                                                                 | アカデミー事業部・コンサル事業部・サーチ事業部・ベンチャー事業部の4事業部体制へ                                                                       | 福田内閣 戦後60年談話発表<br>北京オリンピック:水泳北島康介二連覇 |
|               | 9月               |     | 第14回総会 基調講演 黒岩裕治氏<br>「テレビリテクス(テレビ政治)の功罪」                                                                                           |                                                                                                                | 自民党麻生内閣<br>リーマン・ショック                 |
|               | 10月              |     |                                                                                                                                    |                                                                                                                | ノーベル賞:南部陽一郎、小林誠、益川敏英、下村脩             |
|               | 11月              |     | 「環境問題研究会」を「環境部会」へ改組 富士山「まなびの森」参加                                                                                                   | エンジェル・フォース(AF)会発足 会員個人が自己責任でベンチャーへ投資                                                                           |                                      |
|               | 12月              |     |                                                                                                                                    |                                                                                                                | 大納会日経平均 8,859円                       |
| 2009年<br>H21年 | 1月               | 557 |                                                                                                                                    | 米国大統領にオバマ就任                                                                                                    |                                      |
|               | 2月               |     | 第15回総会 基調講演柳井俊二氏<br>「オバマ政権と日米関係」                                                                                                   |                                                                                                                |                                      |
|               | 3月               |     | 「食と農業研究会」発足(準備会)                                                                                                                   | コンサル 中堅ビルメンテナンスとの支援契約                                                                                          |                                      |
|               | 4月               |     | 6つの小委員会発足 ①新製品・新事業・新システム研究会、②企業支援研究会、③食・農サークル、④講義テーマ研究会、⑤学校教育研究会、⑥国際問題研究会                                                          |                                                                                                                |                                      |
|               | 5月               |     |                                                                                                                                    |                                                                                                                | 裁判員裁判制度運用開始                          |
|               | 6月               |     |                                                                                                                                    |                                                                                                                | WHO:新型インフルエンザ宣言                      |
|               | 7月               |     |                                                                                                                                    |                                                                                                                |                                      |
|               | 8月               |     | 第16回総会 基調講演 小宮山宏氏<br>「快適な低炭素社会の実現」                                                                                                 |                                                                                                                |                                      |
|               | 9月               |     | 横浜開港150周年(Y150)記念イベントで出張理科実験 小学生300人参加                                                                                             |                                                                                                                | 民主党 鳩山内閣                             |
|               | 10月              |     | 有限責任中間法人から一般社団法人へ移行<br>代表理事田中健一氏⇒松村洋氏<br>事務局長河村肇氏⇒児玉亨氏                                                                             | 株主異動 サウスルーム、プランモアから(株)パソナキャリア社へ<br>資本関係はパソナキャリアからDFMへ2,000万円⇒DFMからDFへ800万円(翌2010年、同社は(株)パソナに吸収され、株主は(株)パソナとなる) |                                      |
|               | 11月              |     |                                                                                                                                    |                                                                                                                |                                      |
|               | 12月              |     |                                                                                                                                    |                                                                                                                | 大納会日経平均 10,546円                      |

| 年度            | ディレクトフォース(DF)の活動 | 会員数                           | (株)DFマネジメント(DFM)の活動                                          | 政治・経済・社会の主要な出来事                                   |              |
|---------------|------------------|-------------------------------|--------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|--------------|
| 2010年<br>H22年 | 1月               | 595<br>最高                     | ベンチャー部会 支援企業発表会開催<br>(於 深田地質研究所)                             |                                                   |              |
|               | 2月               |                               | 第17回総会 基調講演 孫崎 亨氏<br>「日米同盟と日本の安全保障」                          | バンクーバー冬季オリンピック 日本金メダル無し                           |              |
|               |                  |                               | 事務所移転 千代田区丸の内2-6-1<br>丸の内パークビル                               |                                                   |              |
|               | 3月               |                               | 理科実験グループ 発足                                                  |                                                   |              |
|               | 4月               |                               |                                                              |                                                   |              |
|               | 5月               |                               |                                                              | 国民投票法施行                                           |              |
|               | 6月               |                               |                                                              | 民主党菅内閣<br>小惑星はやぶさ帰還                               |              |
|               | 7月               |                               | 技術部会「経済・産業懇話会」開始                                             |                                                   |              |
|               |                  |                               | 第一回放課後クラブ理科実験<br>於 国分寺八小 小学生80名参加                            |                                                   |              |
|               | 8月               |                               |                                                              |                                                   |              |
|               | 9月               |                               | 第18回総会 基調講演 佐々木毅氏<br>「民主党代表選とその帰結」                           | 尖閣諸島で海上保安庁船舶と中国漁船が衝突                              |              |
|               | 10月              |                               | 組織簡素化(副代表廃止)、事務局人件費追加削減                                      | ノーベル賞:鈴木章、根岸英二                                    |              |
| 11月           |                  |                               |                                                              |                                                   |              |
| 12月           |                  |                               | 大納会日経平均 10,222円                                              |                                                   |              |
| 2011年<br>H23年 | 1月               | 579                           |                                                              |                                                   |              |
|               | 2月               |                               | 第19回総会 基調講演 福井俊彦氏<br>「激流の中で日本の進路を築く」                         |                                                   |              |
|               |                  |                               |                                                              |                                                   |              |
|               | 3月               |                               | アカデミー 日本財団留学生支援実践型研修開始(3年間継続)                                | 東日本大震災(M9.0)・東電福島原発事故<br>九州新幹線全線開通<br>オリンパス不正会計発覚 |              |
|               | 4月               |                               |                                                              |                                                   |              |
|               | 5月               |                               |                                                              |                                                   |              |
|               | 6月               |                               |                                                              |                                                   |              |
|               | 7月               |                               |                                                              | 地上デジタル放送へ移行                                       |              |
|               | 8月               |                               |                                                              |                                                   |              |
|               | 9月               |                               | 第20回総会「代表理事交代」報告<br>基調講演 谷内正太郎「日本外交を考える」                     | 民主党 野田内閣                                          |              |
|               | 10月              |                               |                                                              |                                                   |              |
|               | 11月              |                               | 理科実験G 気仙沼・南相馬で出張理科実験                                         | 戦後最高の円高 75円78銭                                    |              |
| 12月           | 代表理事松村洋氏⇒真瀬宏司氏   | 復興庁設置<br>大納会日経平均 8,455円       |                                                              |                                                   |              |
| 2012年<br>H24年 | 1月               | 539                           |                                                              |                                                   |              |
|               | 2月               |                               |                                                              |                                                   |              |
|               | 3月               |                               | 第21回総会 基調講演 北城恪太郎氏<br>「イノベーションを担う人材の育成」                      |                                                   |              |
|               |                  |                               |                                                              | 坪井事務局長:DFM取締役就任                                   |              |
|               | 4月               |                               |                                                              |                                                   |              |
|               | 5月               |                               | 第二次運営企画委員会発足(5回開催) 主たるテーマ:講師選定、会員増強策等                        | 東京スカイツリー完成                                        |              |
|               | 6月               |                               | ハソナ内部監査室による初の内部監査(DF及びDFM)                                   | アカデミー 国際ビジネスコミュニケーション協会(TOEIC)とのコラボ研修開始 継続中       |              |
|               | 7月               |                               | 「授業支援の会」発足 第1回出前授業 於 前橋市立二之宮小学校                              | ロンドンオリンピック:レスリング吉田沙保里・伊調馨三連覇                      |              |
|               | 8月               |                               | 実働会員数の減少幅拡大                                                  | 韓国李明博大統領 竹島上陸                                     |              |
|               | 9月               |                               |                                                              | ベンチャー事業とコンサル事業統合:企業支援事業部発足                        | 日本政府尖閣諸島を国有化 |
|               | 10月              |                               | 第22回総会(創立10周年記念)<br>基調講演 JAXA安倍隆士<br>「はやぶさ開発秘話」              | ノーベル賞:山中伸弥                                        |              |
|               | 11月              |                               | 初の高校出前授業 千葉県立国分高校「国際理解教育講座」8クラス<br>千葉県立匝瑳高校「グローバル人材育成」960名参加 |                                                   |              |
| 12月           | 会員増強対策委員会設置      | 自民党第2次安倍内閣<br>大納会日経平均 10,395円 |                                                              |                                                   |              |

| 年度            | ディレクトフォース(DF)の活動 | 会員数                                                                    | (株)DFマネジメント(DFM)の活動              | 政治・経済・社会の主要な出来事                     |                                                  |
|---------------|------------------|------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 2013年<br>H25年 | 1月               |                                                                        |                                  |                                     |                                                  |
|               | 2月               | 会員増強月間スタート(2月～5月)                                                      |                                  | 韓国朴槿恵大統領就任                          |                                                  |
|               | 3月               | 事務局長坪井荘一郎氏⇒守屋雅夫氏<br>第23回総会 基調講演 川原尚行氏<br>「外務省を辞してスーダンNGO活動ーやむにやまれぬ大和魂」 |                                  | 中国習近平国家主席就任                         |                                                  |
|               | 4月               | 勉強会活性化のための会員アンケート実施                                                    |                                  |                                     |                                                  |
|               | 5月               |                                                                        | ベネフィットワンの営業強化計画の立案支援             |                                     |                                                  |
|               | 6月               |                                                                        | 企業支援事業部 横浜市ベンチャー企業顧問派遣事業受注(継続中)  | 長島茂雄 国民栄誉賞受賞                        |                                                  |
|               | 7月               |                                                                        |                                  | 富士山 世界文化遺産登録<br>クロアチア加盟でEU28カ国へ     |                                                  |
|               | 8月               | 「ミニ勉強会」スタート 第1回「相続と遺言」講師常信伊佐夫氏                                         | 552                              | サーチ事業部を「Eサーチ事業部」に改称。支援メンバー制度開始      |                                                  |
|               | 9月               |                                                                        | 企業支援事業部 三重県「首都圏等ネットワーク・サポート事業」受注 | 2020年東京オリンピック開催決定                   |                                                  |
|               | 10月              | 第24回総会 基調講演 岩田公男氏<br>「どうなる日本！ 今後の政治経済の行方」(以後、総会は年1回に変更)                |                                  | パソナ顧問ネットワーク事業の立上げ支援                 |                                                  |
|               | 11月              |                                                                        |                                  | 西之島付近の海底火山噴火<br>猪瀬東京都知事辞職           |                                                  |
|               | 12月              |                                                                        |                                  | 大納会日経平均 16,291円                     |                                                  |
| 2014年<br>H26年 | 1月               |                                                                        |                                  | NISA(少額投資非課税制度)導入                   |                                                  |
|               | 2月               |                                                                        |                                  | ソチ冬季オリンピック:羽生結弦金<br>スチュワードシップ・コード施行 |                                                  |
|               | 3月               | 授業支援の会 経済産業省「キャリア教育アワード」受賞                                             |                                  | ロシア クリミア占領                          |                                                  |
|               | 4月               |                                                                        |                                  | 消費税5%から8%へ<br>STAP細胞疑惑              |                                                  |
|               | 5月               |                                                                        |                                  |                                     |                                                  |
|               | 6月               |                                                                        |                                  |                                     |                                                  |
|               | 7月               |                                                                        |                                  | 安倍内閣 集団的自衛権を閣議決定                    |                                                  |
|               | 8月               | 事業成長支援グループ活動開始                                                         | 554                              | 「経営者コンシェルジュ事業部」設置                   |                                                  |
|               | 9月               |                                                                        |                                  |                                     |                                                  |
|               | 10月              | 第25回総会 基調講演 村山富一氏<br>『村山談話』の大義と歴史認識                                    |                                  |                                     | ノーベル賞:赤崎勇、天野浩、中村修二                               |
|               | 11月              |                                                                        |                                  |                                     | 3年振りの日中首脳会談                                      |
|               | 12月              |                                                                        |                                  | 大納会日経平均 17,450円                     |                                                  |
| 2015年<br>H27年 | 1月               |                                                                        |                                  | ISIL 日本人人質事件2名殺害                    |                                                  |
|               | 2月               |                                                                        |                                  |                                     |                                                  |
|               | 3月               | 事務局長守屋雅夫氏⇒保坂洋氏                                                         |                                  | 企業支援事業部 三重県「医療・福祉機器等製品化促進事業」受注      |                                                  |
|               | 4月               |                                                                        |                                  |                                     | 日経平均20,000円越え                                    |
|               | 5月               |                                                                        |                                  |                                     | トヨタの純利益2.1兆円<br>改正会社法施行                          |
|               | 6月               | 会員増強キャンペーン(6月～8月)                                                      |                                  |                                     | 公職選挙法改正(選挙権18歳以上へ)<br>コーポレートガバナンス・コード施行          |
|               | 7月               |                                                                        | 561                              | Eサーチ事業部 上場企業118社に社外取締役ニーズ調査(DM発送)   | 東芝不適切会計露呈                                        |
|               | 8月               |                                                                        |                                  |                                     | 安倍内閣 戦後70年談話発表<br>「平和安全法制」成立<br>フォルクスワーゲン排ガス不正発覚 |
|               | 9月               | 賛助会員制度開始                                                               |                                  |                                     |                                                  |
|               | 10月              | 第26回総会 基調講演 国分良成氏<br>「日本の安全保障と中国情勢ー防衛大学校、中国情勢、日中関係」                    |                                  |                                     | ノーベル賞:梶田隆明、大村智                                   |
|               | 11月              | 「関西地区第1回ミニ勉強会」<br>佐藤和恵氏「酒とアロマでアンチエイジング」                                |                                  |                                     | ISILによるパリ同時多発テロ                                  |
|               | 12月              |                                                                        |                                  |                                     | 日韓慰安婦問題解決<br>大納会日経平均 19,033円                     |

| 年度            | ディレクトフォース(DF)の活動 | 会員数 | (株)DFマネジメント(DFM)の活動                    | 政治・経済・社会の主要な出来事                                   |                             |
|---------------|------------------|-----|----------------------------------------|---------------------------------------------------|-----------------------------|
| 2016年<br>H28年 | 1月               | 581 | パソナ顧問ネットワークとの業務委託契約                    | 日銀マイナス金利導入                                        |                             |
|               | 2月               |     | 事務所移転 中央区八重洲2-3-13 八重洲ビル               |                                                   |                             |
|               | 3月               |     | Eサーチ事業部 DF会員で就職希望者に求人案件の定期的紹介開始        | 民進党設立<br>北海道新幹線開通                                 |                             |
|               | 4月               |     | 企業支援事業部「企業支援メンバー予備登録制度」開始              | 女性活躍推進法施行                                         |                             |
|               |                  |     | 経営者コンシェルジェ事業部「上場塾」開始                   | 熊本地震(M7.0)                                        |                             |
|               | 5月               |     |                                        | オバマ大統領広島訪問                                        |                             |
|               | 6月               |     | 創立15周年記念行事企画・運営委員会発足                   | 消費税10%の実施時期再延期                                    |                             |
|               |                  |     |                                        | 舛添東京都知事辞職<br>英国国民投票 EU離脱決定                        |                             |
|               | 7月               |     |                                        | 戦後最悪の介護施設殺人 19人<br>初の女性都知事小池百合子就任                 |                             |
|               | 8月               |     |                                        | 天皇「生前退位」の意向表明<br>リオ・オリンピック:レスリング伊調馨四連覇            |                             |
|               | 9月               |     | 創立15周年目に入る                             | 組織改正:企業支援事業部から「不動産事業部」分離。経営者コンシェルジェ事業部は企業事業支援部へ吸収 | 築地市場の豊洲移転問題、東京オリンピック施設費問題発生 |
|               | 10月              |     | 第27回総会 基調講演 南場智子氏「DeNAの新規事業から日本の変革に挑む」 | 企業支援事業部 支援メンバー予備登録者に対する「支援企業合同説明会」開催              | ノーベル賞:大隅良典                  |
| 11月           | 第1回「健康・医療研究会」開催  |     | 米国大統領トランプ当選                            |                                                   |                             |
| 12月           |                  |     | 大納会日経平均 19,114円                        |                                                   |                             |

## 資料2 講演・交流会の講演実績

敬称略

|      | 年             | 日程    | 講師                   | 演題                                  |
|------|---------------|-------|----------------------|-------------------------------------|
| 第1回  | 2003年<br>H15年 | 1/23  | パソナグループ代表 南部靖之       | 雇用はこう変わる                            |
| 第2回  |               | 3/11  | DF会員 石川通敬、今井智之       | 大学での講義について                          |
| 第3回  |               | 3/13  | (株)メディカルアジア 竹沢雄一     | 病院経営について                            |
| 第4回  |               | 4/13  | 日本福祉大学企画・事務局長 丸山 悟   | 学校経営について                            |
| 第5回  |               | 4/24  | メルリッチ日本証券会長 藤澤義之     | リスクの中でロマンを生きる                       |
| 第6回  |               | 5/13  | 丸紅(株)法務部 池辺吉博        | 新しい商法について－取締役、監査役の位置づけ、コーポレートガバナンス等 |
| 第7回  |               | 6/24  | DF会員 山下光二            | 眠れる巨大産業ツーリズム産業                      |
| 第8回  |               | 7/15  | DF会員 大谷浩一            | 環境問題を考える                            |
| 第9回  |               | 7/23  | 筑波大学名誉教授 村上和雄        | 眠れる遺伝子を目覚めさせる                       |
| 第10回 |               | 8/19  | DF会員 藪内精三            | ビール・発泡酒のつくり方いろいろ                    |
| 第11回 |               | 9/4   | 新日本監査法人 吉野賢治         | 税効果会計について                           |
| 第12回 |               | 10/2  | 日興シテイクグループ証券 白川祐司    | 資本市場の魅力と役割                          |
| 第13回 |               | 10/28 | 元自衛艦隊司令官 谷 勝治        | 海の安全保障                              |
| 第14回 |               | 11/12 | DF会員 山田重夫            | トイレタリーメーカーの商品づくり－企業の特徴と具体的ヒット商品作り－  |
| 第15回 |               | 12/11 | DF会員 原田忠和            | タイヤって何？－世界のタイヤ産業とブリヂストンのグローバルゼーション－ |
| 第16回 | 2004年<br>H16年 | 1/26  | 内閣官房構造改革特区 檜木俊秀      | 構造改革特区について                          |
| 第17回 |               | 2/6   | 元自衛艦隊司令官 谷 勝治        | 海の安全保障 続編(ミニ勉強会形式)                  |
| 第18回 |               | 2/19  | 元(株)トーマン ソウル支店長 百瀬 格 | 韓国に30年                              |
| 第19回 |               | 3/16  | DF会員 酒井尚平            | 食の安全を考える                            |
| 第20回 |               | 4/7   | みずほキャピタル(株) 与謝野肇     | 成功するベンチャー経営者                        |
| 第21回 |               | 4/27  | 元NHK解説委員 小林和男        | プーチンのロシアと日ロ関係                       |
| 第22回 |               | 5/7   | DF会員 柿本寿明            | 金融システム改革の現状と課題                      |
| 第23回 |               | 6/12  | DF会員 酒井尚平            | 食の安全を考える－行政・企業・消費者の立場から－            |
| 第24回 |               | 6/15  | DF会員 篠原寿一            | IT社会の光と影－デジタルデバイドにならないために－          |
| 第25回 |               | 7/26  | アジア経済研究所 酒井啓子        | 主権委譲後のイラクが抱える課題－歴史と文化から解決を図る－       |

|      | 年             | 日程    | 講師                                                    | 演題                                        |
|------|---------------|-------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 第26回 | 2004年<br>H16年 | 8/6   | エグゼクティブ&メンタル<br>ゾム(株) 松下信武                            | スポーツにおけるメンタルトレーニングのようにして勝利を得るかー           |
| 第27回 |               | 9/3   | DF代表理事<br>水野 勝                                        | ディレクトフォースの行方を考える                          |
| 第28回 |               | 10/25 | 住鋳潤滑剤(株)社<br>長 真木郁夫                                   | 金(きん)について                                 |
| 第29回 |               | 11/30 | DF会員 渡邊 章                                             | 郵政民営化についてー日本たばこ産業の経験を踏まえてー                |
| 第30回 |               | 12/20 | 一橋大学大学院教<br>授 佐山展生                                    | M&Aと企業再生ーいい会社、いい経営とはー                     |
| 第31回 | 2005年<br>H17年 | 1/21  | 京都大学総長<br>尾池和夫                                        | なまずと地震と私ー日本列島の地震を考えるー                     |
| 第32回 |               | 2/12  | 元駐日サウジ大使経<br>済顧問 位野花靖雄                                | 中東情勢の今後ー国際テロとサウジアラビアを中心にしてー               |
| 第33回 |               | 3/18  | 昭和電工会長<br>大橋光夫                                        | 企業体質の変革ー昭和電工の経営改革                         |
| 第34回 |               | 4/20  | Metropolitan<br>Planning Corporation<br>Mr. Robertson | 日米双方の視点から見たビジネス・文化の比較                     |
| 第35回 |               | 5/26  | 元警察庁長官<br>国松幸次                                        | 地域の安全と企業の役割                               |
| 第36回 |               | 6/27  | DF会員 七里淳哲                                             | ワインの世界、世界のワインーフランスワイン3種の比較テイ<br>スティング付きー  |
| 第37回 |               | 7/25  | DF会員 塚田 彊                                             | トヨタ(生産)方式について                             |
| 第38回 |               | 9/26  | 元ウソ電機北野富<br>士夫<br>元新日鉄梅津善徳                            | ①肌で感じた中国事業<br>②紀州から世界を目指してーブラシメーカーホタニの奮闘ー |
| 第39回 |               | 10/28 | 元東大総長佐々木<br>毅                                         | 小泉自民党大勝とその後                               |
| 第40回 |               | 11/29 | 元野村証券社長<br>野澤正平                                       | 証券業界の過去、現在、未来                             |
| 第41回 |               | 12/19 | DF会員 松田暁忠                                             | 生活習慣病とサプリメント                              |
| 第42回 | 2006年<br>H18年 | 1/25  | NTTドコモ<br>大星公二                                        | 経営は知的挑戦                                   |
| 第43回 |               | 2/28  | 元大成建設<br>辻井 剛                                         | 建築の構造設計                                   |
| 第44回 |               | 3/28  | 拓殖大学教授<br>森本 敏                                        | 当面する国際情勢と日本の進路                            |
| 第45回 |               | 4/24  | DF会員 石原正之                                             | 最近の金融政策をめぐる話題                             |
| 第46回 |               | 5/16  | DF会員 東 泰秀                                             | レストランビジネスはどうなる                            |
| 第47回 |               | 6/27  | 東北工業大学副学<br>長 田中正之                                    | 地球温暖化に関する知見の現状と課題                         |
| 第48回 |               | 8/2   | 元内閣官房参与<br>中山恭子                                       | 拉致問題に関わって                                 |
| 第49回 |               | 9/5   | DF会員 中村洋明<br>山下光二                                     | 航空機産業と航空業界の現状と動向                          |
| 第50回 |               | 10/5  | アメリカンファミリー生命<br>柏崎昇ー                                  | がんの最新医療と予防                                |

|      | 年             | 日程            | 講師                         | 演題                                    |
|------|---------------|---------------|----------------------------|---------------------------------------|
| 第51回 | 2006年<br>H18年 | 11/14         | DF会員 中塚晴夫                  | 半導体産業の現状と将来方向                         |
| 第52回 |               | 12/5          | 軍事アナリスト<br>小川和久            | 国際水準から見た日本の安全保障                       |
| 第53回 | 2007年<br>H19年 | 1/15          | 日本ハムヘッドコーチ<br>白井一幸         | 常勝チームを目指して～選手のやる気を伸ばすチーム作り～           |
| 第54回 |               | 2/6           | DF会員 柿本寿明                  | 日本経済の展望－長期安定成長は可能か－                   |
| 第55回 |               | 3/7           | 元イタリア大使<br>英 正道            | イタリアの魅力－美と食とオペラの天国－                   |
| 第56回 |               | 4/3           | 前原子力安全委員長<br>松浦祥次郎         | 原子力の現状と将来－エネルギー・産業医学など幅広い平和利用の実態と将来性－ |
| 第57回 |               | 5/31          | 中前国際経済研究所所長<br>中前 忠        | サブ・プライムローンと米国経済－世界経済にどう結びつく？          |
| 第58回 |               | 6/13          | 元最高裁判事<br>滝井繁男             | 司法が果たすべき役割～最高裁判事を経験して～                |
| 第59回 |               | 7/13          | 拓殖大学学長<br>渡辺利夫             | 最近のアジア情勢－日韓・日中関係を中心に－                 |
| 第60回 |               | 8/23          | モルガンスタンレー証券<br>R. フェルドマン   | 日本経済はリセットなるか？                         |
| 第61回 |               | 9/18          | ベンチャーエンタープライズ<br>センター 濱田隆道 | 日米のベンチャー企業の現状について                     |
| 第62回 |               | 10/22         | 元全日空機長<br>大内 学             | 航空安全と危機管理                             |
| 第63回 |               | 11/30         | 元国連環境審議官<br>吉村和就           | 地球温暖化と水資源                             |
| 第64回 |               | 12/20         | あんしん会四谷メイ<br>カルキューブ 本田郁雄   | 医療分野の規制と新しい医療システム～実際の医療機関の運営を通じて～     |
| 第65回 |               | 2008年<br>H20年 | 1/24                       | DF会員 酒井尚平                             |
| 第66回 | 2/15          |               | スポーツジャーナリスト<br>二宮清純        | 今年のスポーツ界の展望～世界の中の日本～                  |
| 第67回 | 3/24          |               | 学習院大学教授<br>中居良文            | 現代中国の実像～その光と影～                        |
| 第68回 | 4/21          |               | 早稲田大学教授<br>榊原英資            | 最近の国際金融情勢と円ドルの行方                      |
| 第69回 | 5/13          |               | ジャーナリスト<br>江川紹子            | 取材ノートから                               |
| 第70回 | 6/26          |               | (株)シマノ会長<br>島野喜三           | 堺から世界へ                                |
| 第71回 | 7/30          |               | 東レ(株)複合材料<br>上浦正義          | 炭素繊維複合材料の現状と将来                        |
| 第72回 | 8/21          |               | アサヒビール(株)<br>瀬戸雄三          | 私の仕事観～中国農業のプロジェクトに絡んで                 |
| 第73回 | 9/11          |               | フジテレビ報道局<br>黒岩祐治           | テレポリティクス(テレビ政治)の功罪                    |
| 第74回 | 10/1          |               | 国際オリンピック委員<br>会副会長 猪谷千春    | オリンピックと私－世界のスポーツ界を展望する。－              |
| 第75回 | 11/10         |               | (財)法人脳神経疾患<br>研究所 渡邊一夫     | 医療行政の問題点と先進医療の最前線－がん医療の最前線－           |

|       | 年             | 日程    | 講師                       | 演題                   |
|-------|---------------|-------|--------------------------|----------------------|
| 第76回  | 2008年<br>H20年 | 12/5  | 東京大学名誉教授<br>養老猛司         | 脳の健康～いまからでも遅くない～     |
| 第77回  | 2009年<br>H21年 | 1/19  | 前京都大学学長<br>尾池和夫          | 地震を知って震災に備える         |
| 第78回  |               | 2/23  | 元外務事務次官<br>柳井俊二          | オバマ政権と日米関係           |
| 第79回  |               | 3/26  | 早稲田大学教授<br>重村智計          | 北朝鮮情勢と日本外交の課題        |
| 第80回  |               | 4/14  | 元検事総長<br>樋渡利秋            | 法の支配と裁判員裁判制度         |
| 第81回  |               | 5/11  | 農学博士<br>塚本勝巳             | ウナギ:大回遊の謎            |
| 第82回  |               | 6/23  | (株)三越相談役<br>中村胤夫         | 百貨店の現状と進むべき道         |
| 第83回  |               | 7/13  | 日本板硝子(株)取締役<br>役会議長 出原洋三 | 買収を通じて感じた欧米の経営と日本の経営 |
| 第84回  |               | 8/4   | 筑波大学名誉教授<br>村上和雄         | 遺伝子オンにして可能性を引き出す     |
| 第85回  |               | 9/4   | 前東京大学総長<br>小宮山宏          | 快適な低炭素社会の実現          |
| 第86回  |               | 10/5  | 東京財団・経済産業<br>研究所 山下一仁    | グローバル化と人口減少時代の農政改革   |
| 第87回  |               | 11/16 | 東京工業大学教授<br>丸山茂徳         | 地球温暖化問題と21世紀の気候      |
| 第88回  |               | 12/14 | コラムニスト<br>田勢康弘           | 鳩山政権と日本の将来           |
| 第89回  | 2010年<br>H22年 | 1/6   | 衆議院議員 元山古<br>志村村長 長島忠美   | 自然災害から学ぶ家族主義         |
| 第90回  |               | 2/5   | 元外務省国際情報<br>局長 孫崎 亨      | 日米同盟と日本の安全保障         |
| 第91回  |               | 3/8   | DF会員 中 博                 | 雨が降れば傘をさす            |
| 第92回  |               | 4/14  | 経済学者・元大和<br>総研 田谷禎三      | 最近の経済金融情勢－アジアの中の日本   |
| 第93回  |               | 5/12  | ペインキャピタル・ジャパン<br>山中信義    | 今様の学生へのメッセージ         |
| 第94回  |               | 6/7   | 早稲田大学競走部<br>監督 渡辺康幸      | 自ら育つ力                |
| 第95回  |               | 7/13  | 元最高裁判事<br>泉 徳治           | 一票の格差と違憲立法審査権        |
| 第96回  |               | 8/6   | 京都府立医科大学<br>教授 吉川敏一      | サクセスフルエイジングへの挑戦      |
| 第97回  |               | 9/9   | 元東京大学総長<br>佐々木毅          | 民主党代表選とその帰結          |
| 第98回  |               | 10/21 | 元岩手県知事、総<br>務大臣 増田寛也     | 地域主権の近未来図            |
| 第99回  |               | 11/17 | 元九州大学教授<br>柏木征三郎         | 再生医療－ヒト脂肪由来幹細胞治療     |
| 第100回 |               | 12/7  | 評論家<br>呉善花(オ・ソンファ)       | 日本人の美風と日本力           |

|       | 年             | 日程    | 講師                          | 演題                                         |
|-------|---------------|-------|-----------------------------|--------------------------------------------|
| 第101回 | 2011年<br>H23年 | 1/11  | 日本筆跡心理学協会 根本 寛              | 目からウロコ！人生全般に役立つ筆跡心理学                       |
| 第102回 |               | 2/15  | キャングローバル戦略<br>研理事長 福井俊彦     | 激流の中で日本の進路を築く                              |
| 第103回 |               | 3/29  | スイス連邦工科大学<br>名誉教授 大村 纂      | 気候変動はなぜ論争の対象となるのか？                         |
| 第104回 |               | 4/15  | 関西大学名誉教授<br>藤田久一            | 国際法から見た尖閣諸島問題                              |
| 第105回 |               | 5/25  | 日本財団会長<br>笹川陽平              | 大震災における市民活動及び企業の役割                         |
| 第106回 |               | 6/9   | DF会員 福元 守                   | 遺伝子と老化と病気ー遺伝子との関係でガンは治せるか？ー                |
| 第107回 |               | 7/15  | 成田国際空港㈱社<br>長 森中小三郎         | 進化する成田空港～国難を乗り越え、アジア時代の幕開けに<br>向けて～        |
| 第108回 |               | 8/8   | 音楽評論家<br>堀内 修               | オペラ学・オペラ楽～西欧の近代を成立させた芸術と娯楽の王<br>の考え方と楽しみ方～ |
| 第109回 |               | 9/14  | 元外務事務次官<br>谷内正太郎            | 日本外交を考える                                   |
| 第110回 |               | 10/4  | アドバンストマテリアル・ジャ<br>パン社長 中村繁夫 | レアメタルが解ると世界が見えてくる                          |
| 第111回 |               | 11/18 | NHKインタープライス<br>須磨 章         | 世界遺産への招待                                   |
| 第112回 |               | 12/15 | 放送大学教授<br>高橋和夫              | アラブの春、あるテロリストと独裁者の死                        |
| 第113回 | 2012年<br>H24年 | 3/29  | 元日本IBM社長<br>北城恪太郎           | イノベーションを担う人材の育成                            |
| 第114回 |               | 4/23  | 京都大学大学院准<br>教授 中野剛志         | TPP亡国論                                     |
| 第115回 |               | 5/17  | DF会員 猪熊建夫                   | 新聞・テレビはどうなるかーネットの猛威で変わるメディア環境<br>ー         |
| 第116回 |               | 6/18  | 東京工業大学特任<br>教授 西村 章         | 福島事故は諸外国の原子力に対する取り組みを変えたか？                 |
| 第117回 |               | 7/26  | 東京医科大学教授<br>岩本俊彦            | 知って得する老化予防                                 |
| 第118回 |               | 8/20  | 慶応義塾大学講師<br>竹田恒康            | 女性宮家は日本を滅ぼす                                |
| 第119回 |               | 9/12  | 国立社会保障・人口<br>問題研 西村周三       | 社会保障と日本経済の行方ー人口減少と日本経済の見通しー                |
| 第120回 |               | 10/10 | JAXA教授<br>安倍隆士              | はやぶさ開発秘話                                   |
| 第121回 |               | 11/16 | DF会員 越川頼知                   | 旗にまつわるトリビアーおとなのための旗の話                      |
| 第122回 |               | 12/18 | 東京大学特任教授<br>秋山弘子            | 長寿社会を生きる                                   |
| 第123回 | 2013年<br>H25年 | 1/22  | JPモルガン証券<br>菅野雅明            | 2013年 世界の潮流と日本経済                           |
| 第124回 |               | 2/18  | DF会員 D. Shapiro             | むら社会か、国際か、これからのニッポンは？                      |
| 第125回 |               | 3/27  | NPO法人ロサンテス<br>理事長 川原尚行      | 外務省を辞して、スーダンでのNGO活動ーやむにやまれぬ大<br>和魂         |

|       | 年             | 日程    | 講師                              | 演題                                                  |
|-------|---------------|-------|---------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 第126回 | 2013年<br>H25年 | 4/25  | 一橋大学特任教授<br>田近栄治                | 日本の社会保障と財政――一体改革を考える                                |
| 第127回 |               | 5/27  | 東京大学教授<br>玄田有史                  | 若者の教育や雇用について                                        |
| 第128回 |               | 6/12  | カルビー(株)社長<br>中田康雄               | 戦略とは戦わずして勝つこと                                       |
| 第129回 |               | 7/29  | 東京国立博物館副<br>館長 島谷弘幸             | 東京国立博物館の現状と書の魅力                                     |
| 第130回 |               | 9/17  | 味の素会長<br>山口範雄                   | アミノ酸の話――がんのリスクもわかります！！――                            |
| 第131回 |               | 10/15 | 読売テレビ報道局<br>岩田公男                | どうなる日本！ 今後の政治経済の行方                                  |
| 第132回 |               | 11/19 | データセクション(株)会長<br>橋本大也           | あなたのお孫さんに進める10年後の最も魅力的な職業は？                         |
| 第133回 |               | 12/18 | 前IEA事務局長<br>田中伸男                | これからのエネルギー戦略――迫られる大転換――                             |
| 第134回 | 2014年<br>H26年 | 1/21  | 早稲田大学名誉教<br>授 毛利和子              | 中国の今――その深層に迫る――                                     |
| 第135回 |               | 2/17  | 新潟産業大学准教<br>授 蓮池 薫              | 私が見た朝鮮半島の対立と統一への道――24年間におよぶ拉<br>致体験を通して――           |
| 第136回 |               | 3/24  | 日経新聞コラムニスト<br>岡部直明              | アベノミクスと日本経済の課題――世界経済の中で考える――                        |
| 第137回 |               | 4/22  | 野球評論家<br>坂井保之                   | 勝つチーム、勝つ組織はここが違う――プロ野球は今、大きな曲<br>がり角――              |
| 第138回 |               | 5/19  | キャングローバル戦略<br>研究所 宮家邦彦          | ウクライナからパラセル海――マネーとパワーとジオポリティクス<br>を理解する――           |
| 第139回 |               | 6/16  | 前JFA会長<br>川淵三郎                  | 夢があるから強くなる                                          |
| 第140回 |               | 7/18  | 早稲田大学大学院<br>教授 長谷部恭男            | 改憲論議の問題点と課題について                                     |
| 第141回 |               | 9/24  | 元衆議院議長<br>河野洋平                  | 昨今の政治・外交について思うこと                                    |
| 第142回 |               | 10/16 | 元内閣総理大臣<br>村山富市                 | 村山談話の大義と歴史認識                                        |
| 第143回 |               | 11/18 | (株)エイブル社長<br>佐藤順英               | 福島第一原発 東電協力会社の挑戦                                    |
| 第144回 |               | 12/18 | 観光庁観光戦略課<br>高橋一郎                | 観光立国の推進とインバウンドの最新動向                                 |
| 第145回 | 2015年<br>H27年 | 1/26  | 政策研究大学院名<br>誉教授 橋本久義            | 2015年は3年遅れの昇竜年 頑張れ日本 頑張れ日本の中小企<br>業                 |
| 第146回 |               | 2/24  | 地球憲章アジア太平<br>洋・日本委員会代表<br>広中和歌子 | 私の生きた時代と今、何故地球憲章か                                   |
| 第147回 |               | 3/24  | 静岡理工科大学教<br>授 志村 史夫             | 木に惚れる                                               |
| 第148回 |               | 4/22  | 大行満大阿闍梨<br>藤波 源信                | 生活の中の修行                                             |
| 第149回 |               | 5/11  | 東京大学名誉教授<br>松本 良                | 日本海・表層型マシナイトレド資源の探索――2013, 2014年度調査<br>が教える豊かな日本海―― |

|       | 年             | 日程    | 講師                             | 演題                                   |
|-------|---------------|-------|--------------------------------|--------------------------------------|
| 第150回 | 2015年<br>H27年 | 6/15  | 富士通総研研究員<br>柯 隆                | 暴走する中国経済・中国主導のアジアインフラ投資銀行(AIIB)設立の行方 |
| 第151回 |               | 7/13  | 杏林大学名誉教授<br>田久保中衛              | 激動する国際情勢と日本                          |
| 第152回 |               | 9/14  | NPO法人国境なき<br>医師団 前日本会長<br>黒崎伸子 | 国境なき医師団の活動ーフィールドへ駆り立てるわけは！           |
| 第153回 |               | 10/13 | 防衛大学校校長<br>國分 良成               | 日本の安全保障と中国情勢ー防衛大学校、中国情勢、日中関係ー        |
| 第154回 |               | 11/16 | モンゴル国商工会議<br>所日本会頭 U. ウル<br>ジ  | 憧れの国・日本との絆をさらに深めるためにー再発見モンゴルの魅力ー     |
| 第155回 | 2016年<br>H28年 | 1/22  | DF会員 渋谷和雄                      | 南極観測 Q and A                         |
| 第156回 |               | 2/16  | 南相馬市長<br>桜井勝延                  | 震災から5年を経た南相馬市                        |
| 第157回 |               | 3/14  | エコ・マジシャン<br>ミモヤ                | 知られざるプロマジシャンの世界                      |
| 第158回 |               | 4/13  | マラソンランナー<br>谷口浩美               | 転んでも踏まれても立ち上がれ                       |
| 第159回 |               | 6/16  | 前エクアドル大使<br>DF会員 小瀧 徹          | 知られざる国、エクアドル・・・3年の大使経験を振り返って         |
| 第160回 |               | 7/22  | 立教大学教授<br>Mr. D. Scott         | 次世代に残すべき日本の善いところ                     |
| 第161回 |               | 8/30  | ジャーナリスト<br>熊谷 徹                | 激動する欧州は、どこへ行くのか                      |
| 第162回 |               | 10/13 | DeNA創業者<br>南場智子                | DeNAの新規事業から日本の変革に挑む                  |
| 第163回 |               | 11/28 | 元セコム会長<br>木村昌平                 | 魂に汗をかく                               |

## 資料3 企業ガバナンス部会(旧監査役部会)の講演・研修実績

敬称略

| 年                                            | 分類と回数      | 日程    | 講師                          | 演題                                                                                                |
|----------------------------------------------|------------|-------|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1クール<br>2005年<br>(H17年)<br>～2006年<br>(H18年) | 基礎編<br>第1回 | 9/14  | DF会員 泊 久次 元<br>丸紅常勤監査役      | 監査役のミッション                                                                                         |
|                                              | 第2回        | 9/28  | DF会員 元武田キリン<br>食品社長 平林 秀明   | 法的側面からみた監査役業務                                                                                     |
|                                              | 第3回        | 10/12 | 公認会計士<br>吉野 賢治              | 会計的側面からみた監査役業務                                                                                    |
|                                              | 第4回        | 10/26 | DF会員 CSK常勤<br>監査役 石原 正之     | 法令遵守のための事例集                                                                                       |
|                                              | 第5回        | 11/9  | ソニー監査委員会<br>委員長 山内悦嗣        | 第一線で活躍中の現役監査役による講演(1)                                                                             |
|                                              | 第6回        | 11/22 | DF会員 宮城孝太郎<br>元キヤノン常勤監査役    | 第一線で活躍中の現役監査役による講演(2)                                                                             |
|                                              | 応用編<br>第1回 | 12/21 | DF会員 今井智之 元<br>シェル石油常勤監査役   | 内部統制システムと監査役の役割                                                                                   |
|                                              | 第2回        | 4/13  | プロビテックジャパン<br>神林比洋雄         | コーポレート・ガバナンス 日米比較と今後の動向                                                                           |
|                                              | 第3回        | 5/24  | コーディネーターDF会員<br>高井俊成        | パネルディスカッション 新しい時代の監査役の役割<br>パネラーDF会員 石原、篠田、富山、平林                                                  |
| 第2クール<br>2006年<br>(H18年)<br>～2007年<br>(H19年) | 実践編<br>第1回 | 10/25 | みすず監査法人<br>眞田 光昭            | 監査役をめぐる環境変化－期待の高まりと求められる能力－                                                                       |
|                                              | 第2回        | 11/25 | 日立製作所取締役<br>会議長 八木 良樹       | カレントトピックス－新会社法、金融商品取引法成立に伴い、<br>コーポレートガバナンスに対する財界の論議－                                             |
|                                              | 第3回        | 12/14 | 佐藤法律事務所<br>佐藤 明夫            | 金融商品取引法(投資サービス法)の成立と企業の対応－日<br>本版SOX法－                                                            |
|                                              | 第4回        | 1/17  | 司会 弁護士<br>内藤 良祐             | 内部統制シンポジウム－わが社の内部統制システム整備状<br>況と監査役監査の現状と問題点－ 参加者 山内悦嗣(ソニー)、<br>宇野雅夫(ソニー)、石原正之(CSK)、澤田昌之(みすず監査法人) |
|                                              | 第5回        | 2/21  | DF会員 泊 久次 元<br>丸紅常勤監査役      | 小グループの発表－企業買収と監査役－                                                                                |
|                                              | 第6回        | 5/15  | コーディネーターDF会員<br>高井俊成        | パネルディスカッション 現役監査役の体験談<br>パネラーDF会員 近藤、島崎、野村、山本                                                     |
| 第3クール<br>2007年<br>(H19年)<br>～2008年<br>(H20年) | 基礎編<br>第1回 | 10/23 | DF会員 上原 利夫<br>法学博士          | 監査役ミッション                                                                                          |
|                                              | 第2回        | 11/21 | DF会員高井経営研<br>究所代表 高井俊成      | ベンチャー企業の発展－ステージケーススタディと監査役の対応ディ<br>スカッション－                                                        |
|                                              | 第3回        | 12/18 | DF会員 AQインタラクティ<br>ブ副社長 平林秀明 | 法的側面からみた監査役業務－コーポレートガバナンスとリスクマネジ<br>メントを中心に－                                                      |
|                                              | 第4回        | 1/21  | DF会員 上野トランス<br>テック顧問 飯野 陽一  | 会計的側面からみた監査役業務                                                                                    |
|                                              | 第5回        | 2/14  | DF会員 JFEマネジメント<br>センター 村井 徹 | 長期事業計画の採算検討の考え方と新しい投資計算手法－<br>DCFの概念ほか－                                                           |
|                                              | 第6回        | 3/17  | DF会員 CSK常勤<br>監査役 石原 正之     | 新監査役監査基準                                                                                          |
|                                              | 応用編<br>第1回 | 10/16 | 弁護士<br>内藤 良祐                | 新会社法と監査役の対応                                                                                       |
|                                              | 第2回        | 11/12 | 佐藤法律事務所<br>佐藤 明夫            | 金融商品取引法                                                                                           |
|                                              | 第3回        | 12/12 | CVCアジアパシフィック<br>ジャパン水上 圭    | M&A、MBO、三角合併の概要                                                                                   |

| 年                                            | 分類と回数      | 日程    | 講師                      | 演題                                             |
|----------------------------------------------|------------|-------|-------------------------|------------------------------------------------|
| 第3クール<br>2007年<br>(H19年)<br>～2008年<br>(H20年) | 第4回        | 1/16  | SAPジャパン部長<br>中野 浩志      | 財務報告と内部統制－企業の内部統制管理の実態と今後の課題－                  |
|                                              | 第5回        | 2/25  | 三優監査法人<br>杉田 純          | ベンチャー企業の上場準備の進め方と監査役の対応                        |
|                                              | 第6回        | 3/12  | DF会員 JFEマネジメントセンター 村井 徹 | 企業リスクの対応策とリスク分析手法－事業計画におけるリスクを数値的に分析する手法ほか－    |
|                                              | 第7回        | 4/16  | 小グループ研究発表               | ①M&Aチーム、②企業不祥事と内部統制チーム                         |
|                                              | 第8回        | 5/19  | コーディネーター元ソニー<br>山内 悦嗣   | パネルディスカッション－現役監査役(DF会員)の体験談－                   |
| 第4クール<br>2008年<br>(H20年)<br>～2009年<br>(H21年) | 基礎編<br>第1回 | 10/8  | DF会員AQインタラクティブ取締役 平林秀明  | 法的側面から見た監査役業務                                  |
|                                              | 第2回        | 11/11 | DF会員 米国公認会計士 飯野 陽一      | 会計的側面から見た監査役業務                                 |
|                                              | 第3回        | 12/8  | DF会員日本人材開発センター 村井 徹     | キャッシュフローと企業経営                                  |
|                                              | 第4回        | 1/9   | DF会員 上原 利夫<br>法学博士      | これからの時代の監査役会                                   |
|                                              | 第5回        | 2/10  | DF会員日本人材開発センター 村井 徹     | 減損会計の解説・事例研究                                   |
|                                              | 第6回        | 3/27  | DF会員 CSK常勤監査役 石原 正之     | 新任監査役の監査実務－監査人の四半期レビューに係る監査役対応ほか－              |
|                                              | 応用編<br>第1回 | 10/22 | 佐藤法律事務所<br>佐藤 明夫        | 新会社法・金融商品取引と監査役の対応法                            |
|                                              | 第2回        | 11/25 | プロテクトイノベーション<br>神林比洋雄   | CFOの戦略的リスクマネジメント－事業再編から内部統制まで－                 |
|                                              | 第3回        | 12/15 | マトリクス代表取締役<br>松田千恵子     | 新しい企業財務の在り方と監査役視点                              |
|                                              | 第4回        | 1/6   | SAPジャパン部長<br>中野 浩志      | 成長とリスクマネジメントの両立－変化に強い事業基盤としての企業システム－           |
| 第5クール<br>2009年<br>(H21年)<br>～2010年<br>(H22年) | 第5回        | 2/19  | 元村田製作所副社長<br>泉谷 裕       | 戦略的経営管理－利益の見える化と意思決定－                          |
|                                              | 第6回        | 3/17  | 三優監査法人<br>杉田 純          | ベンチャー企業の上場準備の進め方と監査役の対応                        |
|                                              | 第7回        | 4/21  | NTTビジネスアソシエ(株)<br>鳥越 穰  | 会計「2008問題から2009問題へ」－知っておかなくてはならない会計・税務制度の最新情報－ |
|                                              | 第8回        | 5/18  | コーディネーター元ソニー<br>山内 悦嗣   | パネルディスカッション－現役監査役(DF会員)の体験談－                   |
|                                              | 基礎編<br>第1回 | 10/14 | DF会員 CSK常勤監査役 石原 正之     | コーポレートガバナンスと社外監査役の役割－監査の更なる実効性を求めて－            |
|                                              | 第2回        | 11/10 | DF会員 米国公認会計士 飯野 陽一      | 中小会社における監査役－監査実務のすべて－                          |
| 第5クール<br>2009年<br>(H21年)<br>～2010年<br>(H22年) | 第3回        | 12/8  | DF会員日本半導体ベンチャー 詫摩 武裕    | ベンチャー企業見分けのポイントと監査役の対応                         |
|                                              | 第4回        | 1/13  | DF会員経営人事労務管理 寺尾 勝汎      | 企業の労務対策と監査役－リストラと平時の準備－                        |
|                                              | 第5回        | 2/10  | 龍谷大学知的財産センター 櫻井 雄三      | 知的財産について知ろう－企業と著作権－                            |
|                                              | 第6回        | 3/5   | DF会員 澤村 明<br>元東レ専務      | 新監査役基準の実践－今後の監査役職務－                            |

| 年                                            | 分類と回数      | 日程    | 講師                     | 演題                                                |
|----------------------------------------------|------------|-------|------------------------|---------------------------------------------------|
| 第5クール<br>2009年<br>(H21年)<br>～2010年<br>(H22年) | 応用編<br>第1回 | 10/2  | (財)財務会計基準機構 逆瀬 重郎      | 最新の新国際会計基準の概要(PART II)                            |
|                                              | 第2回        | 11/17 | 新日本監査法人<br>鈴木 祐司       | 内部統制システムの構築・評価と監査役(PART II)ー実効ある監査役監査の実践ー         |
|                                              | 第3回        | 12/17 | マトリクス代表取締役<br>松田千恵子    | 世界金融システムの崩壊の危機ー財務戦略・財務リストラと監査役の対応ー                |
|                                              | 第4回        | 1/19  | 佐藤法律事務所<br>佐藤 明夫       | 新会社法・金融商品取引と最近の企業不祥事と監査役の対応                       |
|                                              | 第5回        | 2/16  | 日経新聞文化部長<br>小松 潔       | 新聞記者から見た企業法務の在り方                                  |
|                                              | 第6回        | 3/12  | 三優監査法人<br>杉田 純         | 最新の監査役の実務課題ーコーポレートガバナンスから国際会計基準までー                |
|                                              | 第7回        | 4/20  | SAPジャパン部長<br>中野 浩志     | 内部統制管理「監査役のIT武装・ツールの応用実務」ーITを駆使する監査役を目指すー         |
|                                              | 第8回        | 5/17  | コーディネーター元ソニー<br>山内 悦嗣  | パネルディスカッションー現役監査役(DF会員)の体験談ー                      |
| 第6クール<br>2010年<br>(H22年)<br>～2011年<br>(H23年) | 第1回        | 10/14 | ブース&カンパニー<br>松田千恵子     | グローバル化の波に晒される日本企業のこれからの経営戦略ーダイバーシティマネジメントへの対応ー    |
|                                              | 第2回        | 11/11 | みずほキャピタルパートナーズ 大畑 康寿   | 企業価値向上経営ー最近のM&AとMBOの動向ー                           |
|                                              | 第3回        | 12/14 | アクセンチュア統括パートナー 中西 正    | 今後10年を見据えた中での日本企業の方向性ーIFRSを活用した経営管理の高度化とはー        |
|                                              | 第4回        | 1/18  | 千葉商科大学大学院教授 武見 浩光      | 企業統治と監査役の役割                                       |
|                                              | 第5回        | 2/17  | 日比谷パーク法律事務所 松山 遥       | 株主総会に向けての対応ー勇氣ある監査役を目指してー                         |
|                                              | 第6回        | 3/17  | トヨタ自動車法務部<br>波江野 弘     | 株主代表訴訟                                            |
|                                              | 第7回        | 4/21  | 三優監査法人<br>杉田 純         | 最新の監査役の実務課題(その2)ーコーポレートガバナンスから国際会計基準までー           |
|                                              | 第8回        | 5/16  | プロテティージャパン<br>神林比洋雄    | 高まる監査役への期待とERMー最近のコーポレートガバナンスの動きを踏まえてー            |
| 第7クール<br>2011年<br>(H23年)<br>～2012年<br>(H24年) | 第1回        | 10/13 | 日比谷パーク法律事務所 松山 遥       | 会社法・JSOX法                                         |
|                                              | 第2回        | 11/17 | DF会員燦ホールディングス常勤監査役 三神明 | 会計監査と内部監査ー三様監査間の有効利用ー                             |
|                                              | 第3回        | 12/7  | 元日立化成監査委員会委員長 佐藤 剛     | 金融危機が変えたコーポレートガバナンスー変革が進むアメリカ どうする日本ー             |
|                                              | 第4回        | 1/16  | 佐藤法律事務所<br>佐藤 明夫       | 重要経営判断事項への監査役への関与ー公開買い付けの賛同表明等において独立役員に求められることとはー |
|                                              | 第5回        | 2/23  | 三優監査法人<br>杉田 純         | 最近の監査役の実務課題(その3)ーIFRS適用の課題と監査役の対応ー                |
|                                              | 第6回        | 3/14  | 首都大学東京大学院教授 松田千恵子      | グローバルに通用する経営管理ー本当に良い企業とは何かー                       |
|                                              | 第7回        | 4/10  | トヨタ自動車法務部<br>波江野 弘     | 取締役の経営判断原則ー事例研究としての注意事項。特に監査役の立場に注目して提訴されないためにー   |
|                                              | 第8回        | 5/15  | 元東芝法務部長<br>小林 利治       | コーポレートガバナンスと内部統制                                  |

| 年                                             | 分類と回数      | 日程                        | 講師                                     | 演題                                              |
|-----------------------------------------------|------------|---------------------------|----------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 第8クール<br>2012年<br>(H24年)<br>～2013年<br>(H25年)  | 第1回        | 10/16                     | 佐藤法律事務所<br>佐藤 明夫                       | コーポレートガバナンスとはーコンプライアンスとの違いを通じて考えるー              |
|                                               | 第2回        | 11/20                     | 元日立化成監査委員会委員長 佐藤 剛                     | グローバルショックとクライシスマネジメントーアメリカに学ぶ新しいクライシス・マネジementー |
|                                               | 第3回        | 12/12                     | TMI総合法律事務所<br>絹川 健一                    | リスクマネジメントと監査役ーグローバルレベルで求められるリスクマネジメントとはー        |
|                                               | 第4回        | 1/17                      | 日本取引所グループ<br>取締役 広瀬 雅行                 | ITガバナンスと監査役                                     |
|                                               | 第5回        | 2/13                      | 三優監査法人<br>杉田 純                         | 最近の監査役の実務課題(その4)ーコーポレートガバナンスからIFRS対応までー         |
|                                               | 第6回        | 3/13                      | 成蹊大学法科大学院教授 尾関 幸美                      | 日本の社外取締役制度について                                  |
|                                               | 第7回        | 4/10                      | DF会員 日本マネジメント研 戸村 智恵                   | 監査心理学による監査の実効性向上ー旧来の監査の限界を超えるための心理学的アプローチと対応ー   |
|                                               | 第8回        | 5/15                      | プロテジェティジャパン<br>神林比洋雄                   | コーポレートガバナンスのあり方と開示について                          |
| 第9クール<br>2013年<br>(H25年)<br>～2014年<br>(H26年)  | 基礎編<br>第1回 | 10/31                     | DF会員 監査役部会<br>世話役 前川 栄夫                | 監査役監査の基本についてー役割と必要な知識ー                          |
|                                               | 第2回        | 11/28                     | 新日本監査法人パートナー 矢治 博之                     | 会計的視点から見た監査役監査のポイントー最低限抑えるべき項目とはー               |
|                                               | 第3回        | 12/26                     | DF委員 トーセイ(株)監査役 本田 安弘                  | 企業不祥事防止の視点から見た監査役監査のポイント                        |
|                                               | 第4回        | 1/29                      | 監査役部会世話役<br>黒崎、宇佐見、寛                   | 講演とグループディスカッション「中堅・中小企業における監査役監査の実際と課題」         |
|                                               | 応用編<br>第1回 | 10/17                     | コーディネーター-DF<br>会員山本 正                  | パネルディスカッション 現役監査役と語ろう<br>パネリスト DF会員鈴木、三入、宮岡     |
|                                               | 第2回        | 11/12                     | 元国税庁長官<br>渡辺 裕泰                        | 国際税務戦略について                                      |
|                                               | 第3回        | 12/12                     | 首都大学東京大学院教授 松田千恵子                      | 経営戦略とリスクマネジメントについてー具体的事例から学ぶー                   |
|                                               | 第4回        | 1/29                      | 佐藤法律事務所<br>佐藤 明夫                       | 監査役の特権、義務、責任の実効性確保ー監査役、社外取締役それぞれについて考えるー        |
| 第5回                                           | 2/20       | 三優監査法人<br>杉田 純            | 最近の監査役の実務課題(その5)                       |                                                 |
| 第6回                                           | 3/19       | プライスウォーターハウーストーン<br>田作 朋雄 | 事業再生の実例とそこから学ぶべき予防策ー転ばぬ先の杖ー            |                                                 |
| 第7回                                           | 4/17       | 早稲田大学大学院<br>客員教授 服部暢達     | M&Aー日本企業の成功と失敗の具体例ー                    |                                                 |
| 第8回                                           | 5/15       | 小研究会リーダー<br>岩松 廣行         | 小研究会の研究発表「中小企業が永続的に成長・生き残っていくための監査役役割」 |                                                 |
| 第10クール<br>2014年<br>(H26年)<br>～2015年<br>(H27年) | 第1回        | 10/22                     | 佐藤法律事務所<br>佐藤 明夫                       | 会社法改正の企業経営への影響ー企業価値最大化に向けた経営戦略とコーポレートガバナンスとの関係ー |
|                                               | 第2回        | 11/11                     | 早稲田大学大学院<br>教授 宮島 英昭                   | 社外取締役の企業業績への効果についてーコーポレートガバナンスと業績との関係の実証研究ー     |
|                                               | 第3回        | 12/12                     | 三菱UFJ生保執行役<br>常務 毛利 直弘                 | 内部監査の実際と日本企業での活用方法ー欧米企業の例から学ぶー                  |
|                                               | 第4回        | 1/22                      | 公認会計士<br>村田 守弘                         | 国際税務戦略ー海外進出、輸出拡大、特許許諾、現地法人への経営指導等に関する税務課題ー      |
|                                               | 第5回        | 2/17                      | 三優監査法人<br>杉田 純                         | 最近の監査役の実務課題(その6)                                |

| 年                                             | 分類と回数      | 日程                     | 講師                                                       | 演題                                                             |
|-----------------------------------------------|------------|------------------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 第10クール<br>2014年<br>(H26年)<br>～2015年<br>(H27年) | 第6回        | 3/19                   | コーディネーター-DF会員<br>今井 祐                                    | パネルディスカッションー社外取締役が語る実際ー<br>パネリスト DF会員(浅野応孝、馬越恵美子他)             |
|                                               | 第7回        | 4/16                   | 早稲田大学大学院<br>教授 服部 暢達                                     | M&A 日本企業の成功と失敗ー個別案件からの要因を考えるー                                  |
|                                               | 第8回        | 5/21                   | 明治学院大学教授<br>神田 良                                         | 長寿企業の特徴と課題ー日本のファミリービジネス 成長・存続の要因ー                              |
| 第11クール<br>2015年<br>(H27年)<br>～2016年<br>(H28年) | 基礎編<br>第1回 | 4/6                    | DF会員トーセイ(株)監査<br>役 本田安弘                                  | 企業不祥事防止の視点から見た監査役監査のポイントー基<br>本的事項ー                            |
|                                               | 第2回        | 4/26                   | DF会員 トーセイ(株)監<br>査役 本田安弘                                 | 企業不祥事防止の視点から見た監査役監査のポイントー具<br>体的な事例ー                           |
|                                               | 応用編<br>第1回 | 10/22                  | キリンホールディングス常<br>勤監査役石原基康                                 | 日本企業における内部統制の実際と課題ーコーポレートガバナンス<br>が制定された中での監査役・取締役との実効ある連携ー    |
|                                               | 第2回        | 11/11                  | スチュワードシップ研究会<br>代表 木村 祐基                                 | 機関投資家の立場から社外役員に期待することー「攻めの企<br>業統治」が求められる中、社外役員の役割についてー        |
|                                               | 第3回        | 12/18                  | イーザイ(株)CFO<br>柳 良平                                       | 社外役員に求められる財務リテラシーー「伊藤レポート」のR<br>OE8%の背景ー                       |
|                                               | 第4回        | 1/19                   | 佐藤法律事務所<br>佐藤 明夫                                         | 攻めの企業統治が求められる中で社外役員としてリスクマネジメ<br>ントから押さえておくべき点ー取締役会での案件審議においてー |
|                                               | 第5回        | 2/18                   | 三優監査法人<br>杉田 純                                           | 最近の監査役の実務課題(その7)                                               |
|                                               | 第6回        | 3/18                   | コーディネーター-DF会員<br>今井 祐                                    | パネルディスカッションー社外取締役が語る実際(そのII)ー<br>パネリスト DF会員(浅野応孝、平井隆一、馬越恵美子)   |
| 第7回                                           | 4/20       | DF会員 米国公認<br>会計士 毛利 正人 | 海外子会社のリスク管理のポイントーグローバル化の中で、<br>海外業務の適切な管理は企業価値の持続的成長に必須ー |                                                                |
| 第8回                                           | 5/23       | SGS Global<br>松本 茂     | 海外M&Aの失敗から学ぶー具体的なケースを取り上げてー                              |                                                                |
| 第12クール<br>2016年<br>(H28年)<br>継続中              | 第1回        | 10/20                  | オリンパスCSR本<br>部長 北村正仁                                     | その後のオリンパスー何を学ぶ、そして復活の要因ー                                       |
|                                               | 第2回        | 11/14                  | 早稲田大学ビジネス<br>スクール教授鈴木一功                                  | 企業価値評価としてのDCF法の基本と具体例                                          |
|                                               | 第3回        | 12/16                  | 首都大学東京大学<br>院教授 松田千恵子                                    | コーポレート・ガバナンス体制の変更について                                          |

資料4 環境部会「環境セミナー」講演実績

【環境問題研究会】

敬称略

|      | 年             | 日程    | 講師                                           | 演題                                          |
|------|---------------|-------|----------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 第1回  | 2007年<br>H19年 | 6/11  | キックオフ・ミーティング<br>水野代表、横井事務局長、木村世話人、児玉実行委員長が参加 |                                             |
|      |               |       | DF会員 嶋矢志郎                                    | 地球環境問題とは何か～地球と人類と文明と～                       |
| 第2回  |               | 7/23  | DF会員 石館睦男                                    | 世界及び日本のエネルギーの現状と将来～新エネルギーへの挑戦～              |
| 第3回  |               | 9/11  | DF会員 大谷浩一                                    | リサイクルビジネスの現状と課題                             |
| 第4回  |               | 11/8  | DF会員 大屋 峻                                    | 土壌汚染の現状と課題～見えないところにリスクが～                    |
| 第5回  |               | 12/10 | 日揮(株)執行役員<br>篠田 裕介                           | 地球温暖化問題と京都議定書について                           |
| 第6回  | 2008年<br>H20年 | 1/29  | 住友林業元山林部長<br>三宅 晨一                           | 森林と環境                                       |
| 第7回  |               | 3/18  | 南極観測越冬隊長<br>渡辺 興亜                            | 南極観測50年                                     |
| 第8回  |               | 4/15  | 東京海洋大学教授<br>能登谷正浩                            | 地球環境と水産資源保全のための海藻バイオ燃料の生産                   |
| 第9回  |               | 5/16  | NPO法人フォレスト&<br>千葉大学大学院                       | 基調講演①:環境問題への対応<br>基調講演②:環境問題に親しむーもう一度大学で学ぶー |
| 第10回 |               | 7/16  | 日経新聞論説委員<br>塩谷 喜雄                            | 低炭素社会へ サミット後の『環境大国』の課題                      |

【環境時事セミナー 呼称変更】

|      |               |       |                        |                                          |
|------|---------------|-------|------------------------|------------------------------------------|
| 第1回  | 2008年<br>H20年 | 11/8  | DF会員 柿本 寿明             | 環境配慮型の税体系を考える                            |
| 第2回  | 2009年<br>H21年 | 2/17  | 日経新聞論説委員<br>清水 正巳      | 低炭素社会への道と世界の原子力回帰                        |
| 第3回  |               | 3/24  |                        |                                          |
| 第4回  |               | 5/20  | 朝日新聞編集委員<br>安井 孝之      | エコカー(クリーンカー、環境対応車)開発の現状と自動車産業の将来         |
| 第5回  |               | 10/13 | 昭和シェル石油<br>杉本 完蔵       | 待ったなしの日本の新エネルギー実現ー太陽光発電を中心にその現実と課題を検証するー |
| 第6回  | 2010年<br>H22年 | 1/27  | 日経新聞論説委員<br>滝 順一       | CPO15の真相とそのゆくえ                           |
| 第7回  |               | 7/9   | 日経エコロジー編集部<br>金子 憲治    | スマートグリッド革命                               |
| 第8回  |               | 9/16  | 東京都環境局都市地球環境部<br>宮沢 浩司 | 東京都の気候変動対策の展開ー総量削減義務と排出量取引制度ー            |
| 第9回  |               | 11/19 | 日経新聞論説委員<br>滝 順一       | COP10(生物多様性)の問題点と課題ー保全目標の設定と名古屋議定書の行方ー   |
| 第10回 | 2011年<br>H23年 | 2/25  | 富士通経済研究所研究員<br>柯 隆     | 中国における環境保全と持続可能な経済成長の課題                  |
| 第11回 |               | 6/6   | 熔融塩国際フォーラム代表<br>古川 和男  | 革命期を迎えた原子力の平和利用とその安全性ー福島原発事故の疑問と波紋ー      |

|      | 年             | 日程            | 講師                    | 演題                                        |
|------|---------------|---------------|-----------------------|-------------------------------------------|
| 第12回 | 2011年<br>H23年 | 8/8           | IAC原子力コンサルタント<br>佐藤 暁 | 福島原発事故の現状と今後の見通しから、日本のエネルギー政策の視点を探る       |
| 第13回 |               | 10/31         | ガスエネルギー新聞<br>今井 伸     | これからのエネルギーを考える～福島原発事故後の迷走の中で～             |
| 第14回 | 2012年<br>H24年 | 3/30          | 電力中央研究所原子力技術研 木下 幹泰   | 核燃料サイクルの課題～過去・現在・未来～                      |
| 第15回 |               | 6/5           | 元朝日新聞経済部<br>志村嘉一郎     | 東電の国策再生と日本の電力改革への課題                       |
| 第16回 |               | 8/30          | 東京都環境局都市地球環境部 宮沢浩司    | 東日本大震災後の東京都の環境・エネルギー政策ースマートエネルギー都市の実現に向けて |
| 第17回 |               | 11/5          | 日経新聞論説委員<br>滝 順一      | これからの日本の原発～原発事故報告書を受けて～                   |
| 第18回 | 2013年<br>H25年 | 3/18          | 衆議院議員<br>河野太郎         | ポスト福島のエネ政策                                |
| 第19回 |               | 5/31          | ジャーナリスト<br>熊谷 徹       | 脱原発国家ドイツのエネ戦略～再生可能エネ拡大の現状と課題～             |
| 第20回 |               | 9/20          | 日経ビジネス編集委員<br>安藤 毅    | 「強い農業」を阻む正体～待ったなしの農業構造改革を考える～             |
| 第21回 |               | 2014年<br>H26年 | 2/13                  | 日経新聞論説委員<br>滝 順一                          |

### 【環境セミナー 呼称変更】

|      |               |       |                      |                                   |
|------|---------------|-------|----------------------|-----------------------------------|
| 第22回 | 2014年<br>H26年 | 7/3   | 日経新聞論説委員<br>滝 順一     | エネルギー基本計画の問題点と課題                  |
| 第23回 |               | 10/9  | 日本総合研究所<br>藻谷 浩介     | 里山資本主義で伝えたかったこと                   |
| 第24回 |               | 12/15 | 国立環境研究所<br>舩岡 靖明     | 温暖化の影響と適応策ーIPCC第5次統合報告書から見えてくるものー |
| 第25回 |               | 4/1   | 日経エコロジー編集部<br>大西 孝弘  | 水素社会の理想と現実                        |
| 第26回 | 2015年<br>H27年 | 7/1   | 日経新聞論説委員<br>滝 順一     | 2030年の電源構成と温暖化ガス削減目標はこれで良いのか      |
| 第27回 |               | 9/30  | 会津電力社長<br>佐藤彌右衛門     | エネルギーの地産地消による地域の自立～会津の電力は自分たちの手で～ |
| 第28回 | 2016年<br>H28年 | 1/13  | 日経新聞論説委員<br>滝 順一     | 地球温暖化抑止COP21の焦点～課題は克服できるか～        |
| 第29回 |               | 3/31  | (株)地震科学探査機構<br>村井 俊治 | 新しい地震予測の展開                        |
| 第30回 |               | 7/6   | 元ソニー<br>西 美緒         | 生活スタイルを一変させたリチウムイオン二次電池           |
| 第31回 |               | 10/3  | 農林中央総合研究所<br>田家 康    | 気候変動と人間社会ー人間が気候をも変える時代にー          |

## 環境部会シリーズ企画の講演実績

### 【グローバルエコ入門講座】

|     | 年             | 日程   | 講師                   | 演題                          |
|-----|---------------|------|----------------------|-----------------------------|
| 第1回 | 2009年<br>H21年 | 2/12 | DF会員 嶋矢 志郎           | 地球環境問題とは何か～その全体像を俯瞰する～      |
| 第2回 |               | 2/19 | NPO法人環境文明21<br>加藤 三郎 | 地球環境は今～深刻化する環境破壊とその影響～      |
| 第3回 |               | 2/26 | NPO法人環境文明21<br>加藤 三郎 | 人間の営みが地球を蝕む～豊かさと環境負荷のジレンマ～  |
| 第4回 |               | 3/5  | DF会員 嶋矢 志郎           | 三位一体の地球と自然と人類と～連鎖と循環と共生の中で～ |
| 第5回 |               | 3/12 | NPO法人環境文明21<br>加藤 三郎 | 待ったなしの環境保全への挑戦～国内外の動向とその行方～ |
| 第6回 |               | 3/19 | NPO法人環境文明21<br>加藤 三郎 | 持続可能な環境文明の構築へ～未来世代への社会責任～   |

### 【第2回グローバルエコ入門講座】

|     | 年             | 日程    | 講師                      | 演題                  |
|-----|---------------|-------|-------------------------|---------------------|
| 第1回 | 2009年<br>H21年 | 11/12 | 環境マネジメントシステム研究所上田 隆一    | 地球環境と人間との関わりを学ぼう！   |
| 第2回 |               | 11/19 | 環境マネジメントシステム研究所上田 隆一    | ビジネスと地球環境との関わりを学ぼう！ |
| 第3回 |               | 11/26 | 環境カウンセラー全国<br>連合会 樋口藤太郎 | 環境の規制と技術を学ぼう！       |
| 第4回 |               | 12/3  | 環境マネジメントシステム研究所上田 隆一    | 生活と地球環境の関わりを学ぼう！    |

### 【エコ基礎講座】

|     | 年             | 日程            | 講師                         | 演題                     |
|-----|---------------|---------------|----------------------------|------------------------|
| 第1回 | 2010年<br>H22年 | 2/17          | 国際協力機構<br>坪内 俊憲            | 生物多様性保全の環境講座           |
| 第2回 |               | 7/12          | 国連大学高等研究所<br>Anne McDonald | 里山・里海を世界に発信            |
| 第3回 |               | 10/27         | 日本自然保護協議会<br>杉村 幸子         | 生物多様性保全 そのⅠ            |
| 第4回 | 2011年<br>H23年 | 1/26          | 日本自然保護協議会<br>杉村 幸子         | 生物多様性保全 そのⅡ            |
| 第5回 |               | 7/22          | NPO法人環境文明21<br>加藤三郎 藤村コノエ  | 環境を軸とした文明社会と私たちの暮らし(1) |
| 第6回 |               | 9/30          | NPO法人環境文明21<br>加藤三郎 藤村コノエ  | 環境を軸とした文明社会と私たちの暮らし(2) |
| 第7回 |               | 2012年<br>H24年 | 4/17                       | 慶應義塾大学経済学<br>部 細田 衛士   |

## 【環境とエネルギー】

|     | 年             | 日程    | 講師                        | 演題                            |
|-----|---------------|-------|---------------------------|-------------------------------|
| 第1回 | 2012年<br>H24年 | 10/16 | NPO法人環境文明21<br>加藤 三郎      | 環境とエネルギー問題を考える                |
| 第2回 |               | 12/21 | 千葉大学大学院<br>倉阪 秀史          | 再生可能エネルギーの実態と将来の可能性           |
| 第3回 | 2013年<br>H25年 | 2/13  | 地球環境戦略研究機<br>関 西岡 秀三      | 日本低炭素社会を展望する～将来の環境とエネルギーの在り方～ |
| 第4回 |               | 4/12  | NPO法人環境文明21<br>加藤三郎 藤村コノエ | 原子力・エネルギー問題の政治・経済学            |

## 【第一次産業と環境】

|     | 年             | 日程    | 講師                       | 演題                      |
|-----|---------------|-------|--------------------------|-------------------------|
| 第1回 | 2013年<br>H25年 | 9/24  | 速水林業代表<br>速水 亨           | 環境と林業－持続可能な森林管理と木材活用－   |
| 第2回 |               | 12/17 | フードトラストプロジェクト代表<br>徳江 倫明 | 環境と農業－TPPに負けない有機農業の可能性－ |
| 第3回 | 2014年<br>H26年 | 4/21  | 水産会社海外買付担当<br>片野 歩       | 環境と水産業－日本の水産業は復活できる－    |

## 資料5 技術部会講演・工場見学実績

会社(工場)見学並びに外部講師と会員による「講演」を記録。

敬称略

| 年             | 回数   | 日程    | 講師                     | 演題                                  |
|---------------|------|-------|------------------------|-------------------------------------|
| 2003年<br>H15年 | 第1回  | 9/25  | 工場経営支援チーム<br>(以下、工場支援) | 工場経営支援チーム結成について                     |
|               | 第2回  | 10/22 | 工場支援                   | 工場経営支援チーム初会合                        |
|               | 第3回  | 10/28 | 知的財産評価チーム<br>(以下、知的財産) | 知的財産評価チーム初会合                        |
|               | 第4回  | 11/18 | 知的財産                   | 諸トピックス                              |
|               | 第5回  | 11/19 | 工場支援                   | 諸トピックス                              |
|               | 第6回  | 12/12 | 日本知的財産協会<br>(訪問)       | 知的財産保護の実態について                       |
|               | 第7回  | 12/18 | 工場支援                   | 諸トピックス                              |
| 2004年<br>H16年 | 第8回  | 2/3   | 知的財産                   | METI『知財をめぐる現状と課題』                   |
|               | 第9回  | 2/26  | 工場支援                   | 諸トピックス                              |
|               | 第10回 | 3/4   | 知的財産                   | 日本知的財産協会に対する進め方について                 |
|               | 第11回 | 3/30  | 工場支援                   | 諸トピックス                              |
|               | 第12回 | 5/6   | 工場支援                   | 諸トピックス                              |
|               | 第13回 | 5/13  | 知的財産                   | 東京都知財センター訪問                         |
|               | 第14回 | 6/25  | 工場支援                   | 諸トピックス                              |
|               | 第15回 | 9/2   | 工場支援、知的財産              | * 工場支援チーム全体運営について<br>* 知的財産チームの活動終了 |
| 2005年<br>H17年 | 第16回 | 2/1   | 工場支援                   | (株)TDMのコンサルティング                     |
|               | 第17回 | 3/7   | 工場支援                   | 専門領域のマトリックス                         |
|               | 第18回 | 4/4   | 工場支援                   | 専門領域のマトリックス、守秘義務                    |
| 2006年<br>H18年 | 第19回 | 2/9   | 工場見学                   | ブリヂストン小平工場                          |
|               | 第20回 | 4/13  | DF会員 梅里 泰正             | 国民性と文化                              |
|               | 第21回 | 5/31  | 工場見学                   | 旭化成川崎工場                             |
|               | 第22回 | 10/10 | 工場支援                   | 医療と法務                               |
|               | 第23回 | 11/30 | DF会員 服部 毅              | 自転車の話                               |

| 年             | 回数   | 日程    | 講師                      | 演題                                        |
|---------------|------|-------|-------------------------|-------------------------------------------|
| 2007年<br>H19年 | 第24回 | 1/24  | 工場見学                    | 日産自動車追浜工場                                 |
|               | 第25回 | 3/28  | 工場見学                    | 日立金属桶川工場                                  |
|               | 第26回 | 7/12  | DF会員 増田 優               | 知の市場                                      |
|               | 第27回 | 9/12  | DF会員 石原 秀郎              | 廃棄物処理について                                 |
|               | 第28回 | 11/5  | 工場見学                    | 新日鉄君津製鐵所                                  |
| 2008年<br>H20年 | 第29回 | 1/17  | DF会員 仲澤 洋文              | ディーゼルエンジンの話                               |
|               | 第30回 | 4/17  | 工場見学                    | アサヒビール茨城工場                                |
|               | 第31回 | 5/21  | DF会員 中田 邦臣              | 失敗学と組織                                    |
|               | 第32回 | 7/16  | DF会員 宮田 進               | テツも環境を考える                                 |
|               | 第33回 | 9/25  | 工場見学                    | 三菱重工業 磯子工場                                |
| 2009年<br>H21年 | 第34回 | 1/28  | DF会員 合田 隆年              | カプロラクタムの話                                 |
|               | 第35回 | 5/27  | DF会員 田中 健一              | カーボンファイバーの話                               |
|               | 第36回 | 8/19  | DF会員 守屋 雅夫<br>中田 邦臣     | Y150(横浜開港150周年)にて第一回理科実験開催                |
|               | 第37回 | 8/24  | DF会員 守屋 雅夫<br>中田 邦臣     | Y150にて第二回理科実験開催<br>これを契機に翌年、「理科実験グループ」が発足 |
|               | 第38回 | 10/26 | DF会員 保坂 洋               | 新規事業の探索と育成                                |
|               | 第39回 | 11/19 | 施設見学                    | 科学技術館実験見学                                 |
| 2010年<br>H22年 | 第40回 | 2/23  | DF会員 角 忠夫               | ものづくり大学の講義を終えて                            |
|               | 第41回 | 4/22  | DF会員 守屋 雅夫              | マヨネーズ開発の思いで                               |
|               | 第42回 | 6/22  | トムソン・ロイター<br>関崎 裕司      | トムソン・ロイター・プロフェッショナル社の技術情報分析事業             |
|               | 第43回 | 〃     | DF会員 菊竹 誠二              | 工場長職、中小企業の社長職から感じていた事 等                   |
|               | 第44回 | 8/23  | (株)ビエールダイミクス取締役<br>横田 猛 | 超微細気泡発生装置の技術紹介                            |
|               | 第45回 | 〃     | DF会員 山之内憲夫              | 飛行機の話                                     |
|               | 第46回 | 10/20 | 事業所見学                   | (株)日立ハイテクノロジーズ ナノテクノロジー製品事業部本部<br>那珂事業所   |
|               | 第47回 | 12/14 | —                       | 諸トピックスと忘年会                                |
| 2011年<br>H23年 | 第48回 | 2/28  | DF会員 森山 健一              | 銅精錬の発展                                    |
|               | 第49回 | 4/21  | DF会員 佐藤 和恵              | 今、話題のトランス脂肪酸とは？                           |

| 年             | 回数   | 日程    | 講師                | 演題                             |
|---------------|------|-------|-------------------|--------------------------------|
| 2011年<br>H23年 | 第50回 | 6/30  | DF会員 横内 俊夫        | 日本の自販機文化                       |
|               | 第51回 | 9/8   | DF会員 中塚 晴夫        | 半導体の微細化技術                      |
|               | 第52回 | 10/13 | 工場見学              | エヌ・イー ケムキャット(株)見学－自動車用ハニカムについて |
|               | 第53回 | 12/22 | DF会員 藤井 健         | 黒船からクルーズ船 船の推進機関               |
| 2012年<br>H24年 | 第54回 | 2/21  | DF会員 中西 聡         | エネルギー資源、政策研究に携わった40年           |
|               | 第55回 | 4/27  | DF会員 佐藤 和恵        | アンチエイジングとお酒                    |
|               | 第56回 | 6/29  | DF会員 平井 浩二        | コンピュータの歴史                      |
|               | 第57回 | 8/24  | DF会員 大石 次郎        | 経営のリバイバルとサバイバル                 |
|               | 第58回 | 10/17 | 工場見学              | 小名浜精錬株式会社 小名浜精錬所               |
|               | 第59回 | 12/20 | DF会員 浅野 応孝        | DF産業懇話会まとめの報告と忘年会              |
| 2013年<br>H25年 | 第60回 | 2/19  | DF会員 高橋 正明        | 私たちの暮らしと遺伝子                    |
|               | 第61回 | 6/18  | 千葉大学AI情報センター 山本正二 | オートプシー・イメージング～死亡時画像診断～         |
|               | 第62回 | 8/20  | DF会員 脇村 峯一        | 日本の将来と教育                       |
|               | 第63回 | 10/30 | 製作所見学             | 三菱伸銅(株)および三菱伸銅若松製作所            |
|               | 第64回 | 12/19 | DF会員 大木 隆         | ラテンアメリカの蝶の擬態について               |
| 2014年<br>H26年 | 第65回 | 2/28  | DF会員 赤堀 智行        | 日本における野生鳥獣の問題と対策               |
|               | 第66回 | 4/24  | DF会員 茶野 善作        | 滅多に聞けないお葬儀・お墓の当世事情             |
|               | 第67回 | 6/4   | DF会員 岡田 隆雄        | メディアの変遷と製造法                    |
|               | 第68回 | 8/28  | Aming社長 椎葉 忠志     | コンテンツ産業の現状と課題                  |
|               | 第69回 | 10/22 | 製作所見学             | 日立製作所交通システム社笠戸製作所              |
|               | 第70回 | 12/19 | DF会員 佐藤 和恵        | 酒とアロマでアンチエイジング                 |
| 2015年<br>H27年 | 第71回 | 2/12  | DF会員 小林 健         | 金(きん)の話                        |
|               | 第72回 | 4/19  | DF会員 飯田 孝司        | 地球温暖化の虚実                       |
|               | 第73回 | 6/11  | DF会員 服部 毅         | 自転車の楽しみ                        |
|               | 第74回 | 8/26  | DF会員 渋谷 和雄        | 南極・昭和基地のロジスティックス               |

| 年             | 回数   | 日程    | 講師                    | 演題                    |
|---------------|------|-------|-----------------------|-----------------------|
| 2015年<br>H27年 | 第75回 | 10/21 | 工場見学                  | 東芝 四日市半導体工場           |
|               | 第76回 | 12/18 | 昭和大学病院准教授<br>岩淵 成祐    | 加齢と眼科疾患               |
| 2016年<br>H28年 | 第77回 | 2/2   | DF会員 江村 泰一            | 医療分野への展開              |
|               | 第78回 | 2/2   | DF会員 宮本 幸始            | 土木あれこれ                |
|               | 第79回 | 3/31  | DF会員 赤堀 智行            | 医療分野への展開              |
|               | 第80回 | 〃     | DF会員 加藤 信子            | 天然ゴム ～歴史・現状と将来への取り組み～ |
|               | 第81回 | 6/9   | DF会員 斎藤 栄子            | 未来を拓く子供たち             |
|               | 第82回 | 8/31  | DF会員 馬越恵美子            | ダイバーシティリーダーシップ        |
|               | 第83回 | 10/19 | 工場見学                  | 大和製缶大井川工場・サッポロビール静岡工場 |
|               | 第84回 | 12/16 | 昭和大学病院救急部<br>教授 土肥 謙二 | 救急医療の現状               |

## 資料6 技術部会「経済・産業懇話会」講演実績

敬称略

| 年             | 回数   | 日程    | 講師                      | 演題                                                 |
|---------------|------|-------|-------------------------|----------------------------------------------------|
| 2010年<br>H22年 | 第1回  | 7/6   | —                       | 今後の進め方に関する参加メンバー間の討議                               |
|               | 第2回  | 8/3   | —                       | 「日本の強み、弱みの認識」「世界の潮流の認識」に関する参加メンバー間での討議             |
|               | 第3回  | 9/14  | —                       | 「日本の産業活動の場—日本市場と世界市場—」「経営力・人材育成の課題」に関する参加メンバー間での討議 |
|               | 第4回  | 10/13 | —                       | 「日本の育てるべき産業分野、新しい産業への道」「日本企業の戦い方」に関する参加メンバー間での討議   |
|               | 第5回  | 11/16 | 元東レ経営研究所長<br>依田 直也      | 「メイド イン アメリカ」の道筋                                   |
|               | 第6回  | 12/15 | 東京大学名誉教授<br>山崎 弘郎       | 日本のモノづくり技術の現状と将来                                   |
| 2011年<br>H23年 | 第7回  | 1/19  | DF会員 中塚 晴夫              | 半導体から見た日本の競争力                                      |
|               | 第8回  | 2/16  | 元日立金属<br>渡辺 力蔵          | 日本人の創造性について—文化的・哲学的な見地から検証—                        |
|               | 第9回  | 3/23  | —                       | 緊急討議 「福島原発事故と日本経済の今後」                              |
|               | 第10回 | 4/13  | 元ソニー国際標準化戦略専門家<br>原田 節雄 | 日本の国際標準化の現状                                        |
|               | 第11回 | 5/26  | 丸紅経済研究所代表<br>柴田 明夫      | 日本企業の海外進出戦略                                        |
|               | 第12回 | 6/21  | —                       | 包括討議 「日本のエネルギーの現状と将来」                              |
|               | 第13回 | 8/18  | 日経新聞編集委員<br>関口 和一       | 日本のITの現状と将来                                        |
|               | 第14回 | 9/15  | —                       | 「高齢化社会の課題と対応—日本企業の役割について」に関する参加メンバー間での討議           |
|               | 第15回 | 10/18 | —                       | これまでの議論のまとめ討議(懇話会初の試み)                             |
|               | 第16回 | 11/25 | —                       | これまでの議論のまとめ討議続き(「我々は何をすべきか」を中心に)                   |
| 2012年<br>H24年 | 第17回 | 1/20  | DF会員 飯田孝司、<br>望月直躬、浅野応孝 | 産業動向について検討課題の整理                                    |
|               | 第18回 | 2/27  | DF会員 望月 直躬              | TPPの課題と現状について                                      |
|               | 第19回 | 3/16  | DF会員 酒井 尚平              | TPPと農業問題について                                       |
|               | 第20回 | 4/18  | DF会員 池上 眞平              | 企業の興亡 富士フイルム&EK                                    |
|               | 第21回 | 5/23  | DF会員 飯田 孝司              | 原子力とエネルギー問題                                        |
|               | 第22回 | 6/22  | DF会員 七字 佑介              | 高齢化社会と都市問題                                         |
|               | 第23回 | 7/20  | ヘルスケアリサーチ代表取締役<br>野村 真弓 | 2035年の医療と日本医療の課題                                   |
|               | 第24回 | 8/28  | 東レ水処理部門<br>矢野 保         | 水資源の現状と課題                                          |
|               | 第25回 | 9/28  | 未来農林事業開発研究会<br>松井 武久    | 日本農業の将来について—技術的視点より—                               |

| 年             | 回数   | 日程    | 講師                      | 演題                                  |
|---------------|------|-------|-------------------------|-------------------------------------|
| 2012年<br>H24年 | 第26回 | 10/23 | DF会員 山之内憲夫              | 航空機産業の盛衰                            |
|               | 第27回 | 11/22 | 山形大学工学研究科 立花 和宏         | 電池の現状と将来                            |
|               | 第28回 | 12/20 | DF会員 浅野 応孝              | これまでの実績まとめ報告                        |
| 2013年<br>H25年 | 第29回 | 1/24  | —                       | 2012年までの総括と今後の課題について参加メンバー間で討議      |
|               | 第30回 | 2/25  | DF会員 山崎 雅史              | 電気自動車の将来と課題                         |
|               | 第31回 | 3/28  | DF会員 詫摩 武裕              | 日本のベンチャービジネスの課題                     |
|               | 第32回 | 4/23  | DF会員 望月 直躬              | アベノミクスと新金融政策                        |
|               | 第33回 | 5/16  | 元三菱化学副社長<br>宇野 研一       | イノベーションによる新産業・新市場の創出＝産業競争力懇談会による提言＝ |
|               | 第34回 | 6/24  | 日本メタル経済研究所<br>理事長 千原 宏典 | レアメタル等 日本の現状と課題                     |
|               | 第35回 | 7/19  | DF会員 浅野 応孝              | アベノミクスと日本再興戦略                       |
|               | 第36回 | 10/1  | DF会員 佐賀 治夫              | ITの企業における活用と今後                      |
|               | 第37回 | 11/5  | DF会員 山崎 雅史              | 自動車産業の課題と将来展開                       |
|               | 第38回 | 12/10 | DF会員 宮本 昌幸              | 鉄道事故は語る(事故調査の体験より)                  |
| 2014年<br>H26年 | 第39回 | 1/23  | DF会員 望月 直躬              | 14年の経済見通しとニュースの勘所                   |
|               | 第40回 | 2/19  | DF会員 中西 聡               | 日本が取り組むべきエネルギー資源開発                  |
|               | 第41回 | 3/19  | DF会員 富田 忠道              | ドイツ自動車産業の歴史から学ぶ                     |
|               | 第42回 | 4/15  | DF会員 岩橋 良雄              | ITとは？－SIビジネスの視点から－                  |
|               | 第43回 | 5/22  | DF会員 真弓 博司              | 欧州連合の悩み－民族対立と宥和－                    |
|               | 第44回 | 6/23  | DF会員 野村 裕晟              | 日本企業の海外展開の課題－味の素の経験より－              |
|               | 第45回 | 7/25  | DF会員<br>飯田孝司、浅野応孝       | STAP細胞の課題－iPS細胞、ES細胞等の基本理解－         |
|               | 第46回 | 8/28  | Aiming社長<br>椎葉 忠志       | ゲーム・コンテンツの課題                        |
|               | 第47回 | 9/18  | DF会員 小林 健               | 貴金属の現状と課題－プラチナの仲間たち－                |
|               | 第48回 | 10/15 | DF会員 石館 睦男              | 風力発電と再生可能エネルギーの現状と今後の見通し            |
|               | 第49回 | 11/19 | DF会員 金子 祥三              | コンビニビジネスの現状と課題                      |
|               | 第50回 | 12/11 | 沖電気<br>杉尾 俊之            | 日本におけるEMS事業の成功事例：OKI                |
| 2015年<br>H27年 | 第51回 | 1/29  | DF会員 望月 直躬              | 2015年の経済見通しとニュースの勘所－'14年を振り返って      |

| 年             | 回数   | 日程    | 講師                      | 演題                                             |
|---------------|------|-------|-------------------------|------------------------------------------------|
| 2015年<br>H27年 | 第52回 | 2/19  | DF会員 横井 英昭              | マーケティング3.0とデジタル時代への対応                          |
|               | 第53回 | 4/14  | 仏貿易投資庁<br>グリニヨン、浅野応孝    | グリニヨン:フランスへの日本投資誘致についての取組み<br>浅野応孝:太陽光発電の現状と将来 |
|               | 第54回 | 5/15  | DF会員 布施 和夫              | 電力インフラの現状と課題                                   |
|               | 第55回 | 6/18  | DF会員 若山 正純              | マツダ再生の軌跡を振り返る                                  |
|               | 第56回 | 7/28  | DF会員 山崎 雅史              | 燃料電池車と水素社会                                     |
|               | 第57回 | 8/26  | DF会員 渋谷 和雄              | 南極越冬物語                                         |
|               | 第58回 | 9/9   | DF会員 山岸 隆               | スーパー繊維の現状と将来                                   |
|               | 第59回 | 10/8  | DF会員 藤澤 廣一              | 証券取引の課題と今後                                     |
|               | 第60回 | 11/18 | NRWジャパン社長<br>ゲオルグ・ロエル   | インダストリー4.0 ドイツの取組み                             |
|               | 第61回 | 12/14 | DF会員 取出 恭彦              | 国際ソーシャルビジネスについて                                |
| 2016年<br>H28年 | 第62回 | 1/19  | DF会員 望月 直躬              | 2016年の経済見通しとニュースの勘所                            |
|               | 第63回 | 2/5   | JAXAチーフエンジニア室<br>長 岩田隆敬 | JAXA見学 JAXAの活動の現状と課題                           |
|               | 第64回 | 3/10  | DF会員 伊豆 芳人              | どうなる観光産業の課題と今後                                 |
|               | 第65回 | 4/15  | DF会員 沢井 成美              | 中東を考える(歴史的視点から)                                |
|               | 第66回 | 6/10  | DF会員 宮本 昌幸              | 鉄道とICT                                         |
|               | 第67回 | 7/12  | アールティ社長<br>中川友紀子        | 産業ロボットの現状とアールティの取組み                            |
|               | 第68回 | 8/31  | DF会員 馬越恵美子              | ダイバーシティ・リーダーシップ                                |
|               | 第69回 | 9/15  | DF会員 宮崎 泰雄              | Fintechで変わる金融・社会の変化を考えるー一人の金融マンの視点からー          |
|               | 第70回 | 10/28 | 海上保安庁 専門官<br>大木和隆       | 海上保安庁羽田航空基地見学 海上保安庁の役割について                     |
|               | 第71回 | 11/22 | DF会員 澤田 賢治              | 最近の資源問題と日本鉱業の歴史                                |

## 資料7 「食と農業研究会」勉強会・工場見学実績

敬称略

| 年             | 回数   | 日程       | 講師         | 演題・見学場所他                                      |
|---------------|------|----------|------------|-----------------------------------------------|
| 2009年<br>H21年 | 第1回  | 3/19     | 準備会 (DF本部) | 食と農業研究会発足準備 (酒井尚平提案)                          |
|               | 第2回  | 5/19     | 勉強会 (DF本部) | 農政、食料需給、食の安全、サプライチェーンなどレビュー                   |
|               | 第3回  | 9/14     | 準備会 (DF本部) | 活動方針、「現場見学通じての研究中心」と決める                       |
| 2010年<br>H22年 | 第4回  | 2/22     | 見学会        | 演題「ドレッシング開発の思い出」<br>キューピー仙川工場                 |
|               | 第5回  | 9/6      | 見学会        | 日本ハム下館工場(東洋一)                                 |
|               | 第6回  | 11/15    | 勉強会 (DF本部) | 宮崎県発生の口蹄疫について(植木五郎報告)                         |
| 2011年<br>H23年 | 第7回  | 6/30     | 見学会        | 大田市場(わが国最大の卸売市場)・品川食肉市場                       |
|               | 第8回  | 10/17    | 勉強会 (DF本部) | 「食と農業と原発事故」意見交換                               |
| 2012年<br>H24年 | 第9回  | 2/23     | 見学会        | 日清丸紅飼料(株)鹿島工場・酒悦(福神漬け老舗)茨城工場                  |
|               | 第10回 | 4/19     | 見学会        | わらべや日洋東京工場(イトーヨーカ堂グループの取引先でスーパー・コンビニ向け中食製造会社) |
|               | 第11回 | 11/12    | 見学会        | 有機農業のビオファーム松木とドラゴンファーム                        |
| 2013年<br>H25年 | 第12回 | 2/7      | 見学会        | 石井食品(株)(ミートボール等のチルド食品メーカー)と国分(株)船橋日の出センター     |
|               | 第13回 | 4/11     | 見学会        | 東京築地市場(約750社の仲卸商が集結)                          |
|               | 第14回 | 8/8      | 見学会        | エスフーズ(株)(ロングセラー商品“こてっちゃん”)関東ミートセンター           |
|               | 第15回 | 11/26    | 見学会        | カナエフーズ(キューピーグループ 卵加工品製造)中川原工場                 |
| 2014年<br>H26年 | 第16回 | 3/4      | 見学会        | キッコーマン食品野田工場                                  |
|               | 第17回 | 6/11     | 見学会        | ニチレイフーズ(冷凍食品トップメーカー)船橋工場                      |
|               | 第18回 | 10/23    | 見学会        | 崎陽軒横浜工場(シウマイ生産高日産80万個)                        |
| 2015年<br>H27年 | 第19回 | 2/11     | 見学会        | 味の素川崎工場・資料展示室                                 |
|               | 第20回 | 6/16     | 見学会        | 東京商品取引所―農産物原料の先物取引を学ぶ―                        |
|               | 第21回 | 9/28,29  | 見学会        | (株)六星(石川県一の米農家)と小堀酒造店(白山麓、森の酒造)               |
| 2016年<br>H28年 | 第22回 | 4月25日    | 見学会        | カット野菜 (株)グリーンメッセージ                            |
|               | 第23回 | 6月18日    | 見学会        | 国立農業食品産業技術総合研究機構 筑波ジーンバンク                     |
|               | 第24回 | 10/11-12 | 見学会        | 新潟県十日町市 温泉とらふぐ養殖場と松乃井酒造                       |

資料8 広報活動の実績(主要掲載記事)

敬称略

| 年             | 日付            | 媒体                    | タイトル                                       | 年                               | 日付            | 媒体                               | タイトル                         |
|---------------|---------------|-----------------------|--------------------------------------------|---------------------------------|---------------|----------------------------------|------------------------------|
| 2002年<br>H14年 | 10/17         | 日本経済新聞                | 企業の役員経験者 VBや大学に紹介(最初の広報記事)                 | 2009年<br>H21年                   | 7/14          | 新潟日報                             | 林間遊歩道快適に                     |
|               | 11/15         | 日経産業新聞                | 水野代表理事のコラム                                 | 2010年<br>H22年                   | 1/1           | 関東森林管理局                          | DF会員児玉亨寄稿「DF環境部会の活動について」     |
| 2003年<br>H15年 | 1/6           | 日本経済新聞                | 中高年活用へ試み相次ぐ                                |                                 | 7/20          | 十日町新聞                            | 当間遊歩道をボランティアで整備              |
|               | 1/28号         | 経済界                   | シニアエグゼクティブの活性化は日本再生への近道                    | 2011年<br>H23年                   | 5/8           | 読売新聞                             | DF会員佐々木常夫寄稿「情報媒体の信頼性を考える」    |
|               | 5月号           | TKC                   | 企業の役員経験者の経験・知見を再活用するエグゼクティブ                | 2012年<br>H24年                   | 1/23          | 日本経済新聞                           | 中小企業、高齢者を積極採用                |
|               | 5月号           | 戦略経営者                 | 経営参謀に役員OBを活用する                             |                                 | 7/11          | 二之宮小学校報                          | 夢をはぐむ二之宮小学校(授業支援の会)          |
|               | 10/13号        | FORESIGHT             | 人間邂逅「接待ゴルフ」禁止                              |                                 | 7/20          | 上毛新聞                             | 「働く意味ってなあに」於:二之宮小学校          |
| 11月号          | 財界            | 熱き(?)軍団ディレクトフォース      | 7/21                                       |                                 | 三陸新報          | 科学の世界に歓声 於:気仙沼市立松岩小学校            |                              |
| 2004年<br>H16年 | 11/17号        | 日経ビジネス                | 大学で『模擬取締役会』熱演                              | 9月号                             | (株)サンケイヘルケア   | シニアの力を未来へつなげる 同社刊「Value Aging白書」 |                              |
|               | 1/25          | 東商新聞                  | 中小・ベンチャー企業の経営を支援                           | 11/5                            | 千葉県立国分高校      | DIRECTFORCE 国際理解教育講座             |                              |
|               | 2/1           | 会議所ニュース               | 中小企業のお助け隊 動き出したDIRECTFORCE                 | 12/9                            | 三陸新報          | 「マヨネーズ作りに挑戦」於:気仙沼市立階上小学校         |                              |
|               | 3月号           | ベンチャータイムス             | 中間法人ディレクトフォースのご案内                          | 12/15                           | 気仙沼広報誌        | 「けせんぬま」(広報誌)に理科実験紹介              |                              |
|               | 4/22          | 日刊工業新聞                | マネジメントの玉手箱                                 | 12/22                           | 河北新報          | 「実験で表札出来た」於:気仙沼市立小原木小学校          |                              |
|               | 7/20号         | 経済界                   | 私の駆け出し時代(水野代表理事のインタビュー)                    | 2013年<br>H25年                   | 1/19          | 福島民報                             | 「風車作って発電」於:南相馬市真野小学校、石神小学校   |
|               | 10月号          | ACCJ Journal          | 企業の先輩を活用しよう(英文記事)                          |                                 | 6/29          | 新潟日報モア                           | シニア技術者を先生に 実験教室 於:十日町市松代小学校  |
|               | 10月           | 朝日新聞                  | 学生向け講義 自慢抜き                                |                                 | 7/29          | 化学工業日報                           | DF会員浅野応孝寄稿 理科教育-夢科学・21に寄せて   |
|               | 2005年<br>H17年 | 7月号                   | 週刊世界と日本                                    | 国松幸次氏(勉強会講師)が「シルバーパワー」と題してDFを紹介 | 2014年<br>H26年 | 3/25                             | 日刊工業新聞                       |
| 2007年<br>H19年 |               | 10/12                 | 上毛新聞                                       | 遊歩道整備の汗「やすらぎの森」で                | 2015年<br>H27年 | 5/31                             | 南日本新聞                        |
|               | 2016年<br>H28年 |                       |                                            |                                 | 3/31          | コンパスナビマガジン                       | シニアから子どもたちへ伝えたい 於:小平市なかまちテラス |
| 8/12          |               | 朝日新聞                  | 理科に興味を 元経営者らボランティア                         |                                 |               |                                  |                              |
| 9/9           |               | 静岡新聞                  | ものづくり楽しさを知って                               |                                 |               |                                  |                              |
| 9/13          |               | 伊豆新聞                  | 芳香剤づくりや理科実験                                |                                 |               |                                  |                              |
| 2008年<br>H20年 | 6月            | 竹橋コミュニティプレス           | DF会員大内学講演録「航空の安全と危機管理」                     | 9/18                            | 十日町タイムス       | 理科を好きになってほしい                     |                              |
|               | 7月            | 竹橋コミュニティプレス           | DF会員植木五郎講演録「食品不祥事は何故起こるのか」                 | 2009年<br>H21年                   | 7/8           | 十日町タイムス                          | 未来を担う子どもたちのために               |
|               | 3月            | 竹橋コミュニティプレス           | DF会員松田暁忠講演録「生活習慣病とサプリメント」                  |                                 | 7/10          | 十日町市広報                           | 当間スキー場でブナ林整備ボランティア           |
| 7/8           | 十日町タイムス       | 大手企業役員OBら当間山で森林ボランティア | 注:大学の講座紹介パンフレットや会員の著書紹介並びに掲載期限切れの記事は掲載しない。 |                                 |               |                                  |                              |



2017年8月発刊

一般社団法人 ディレクトフォース

 **DIRECTFORCE**  
Since 2002